

次世代へ紡いだ
70年

川越ロータリークラブ創立 70 周年記念誌

Kawagoe Rotary Club The 70th Anniversary







相原求一郎「厳冬陽淡く」 1992年 川越市立美術館所蔵

厳冬の北海道、雪を被る凍てついた大地と冷気を帯びた空に霞む太陽。相原が74歳の時の作品である。この年に母が逝去。寂静とした心情の中に母を思う心。戦争中、過酷な満州の原野の中で故郷の母を慕う心と重なる。作家の人生観を表現したこの作品は、第56回新制作展において大きな反響を呼んだ。

2020-21年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 相原 茂吉

RI テーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- 1) Is it the TRUTH?
- 2) Is it FAIR to all concerned?
- 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned?



目次

CONTENTS

川越ロータリークラブ創立70周年記念誌

KAWAGOE ROTARY CLUB THE 70TH ANNIVERSARY

(敬称略)

04	R I テーマ、ロータリーの目的、四つのテスト	
06	ご挨拶	
	川越ロータリークラブ 会長	小 高 章
	創立 70 周年記念式典委員長	西 澤 章
08	プログラム ～記念式典・記念講演・記念祝賀会～	
10	記念事業について	
11	祝 辞	
	川越市長	川 合 善 明
	2021-2022年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー	水 村 雅 啓
	東京ロータリークラブ 会長	小 島 陽 一 郎
	台北西北ロータリークラブ 会長	余 仁 方
	若狭ロータリークラブ 会長	藤 本 周 次
16	川越の歴史	
18	川越ロータリークラブ 70 年のあゆみ	
27	座談会	
	第一部…歴史と伝統	
	第二部…川越の経済	
	第三部…若手メンバー	
52	寄稿文	
	1993-1994年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー	今 泉 清 詞
	2011-2012年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー	立 原 雅 夫
	2020-2021年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー	相 原 茂 吉
56	会長・幹事	
61	70 周年に寄せて	
	川越ローターアクトクラブ 会長	島 田 錬
	星野高等学校インターアクトクラブ 顧問	天 野 大 輔・千 葉 健 司
	2021-2022年度 米山記念奨学生	オウ ゲイ セン
64	ロータリアン紀行 ～ 私とロータリー ～	
90	記念式典組織表	
92	会員数の推移	
93	R I テーマ・川越 R C 指針 (10 年間のテーマ)	
94	物故会員	
95	発刊にあたって	
96	編集後記	



< 川越ロータリークラブ認証状 >

次世代へ紡いだ70年

川越ロータリークラブ
会長 小高 章



川越ロータリークラブは、1951年11月27日東京ロータリークラブのスポンサーの基に、埼玉県で最初のロータリークラブとして創立され、この度創立70周年の記念すべき年を迎えることが出来ました。本日は、川越市長川合善明様、東京ロータリークラブ会長小島陽一郎様、第2570地区ガバナー水村雅啓様をはじめ、地区内外のロータリアンの皆様にはご多用の中ご臨席を賜り、ここに70周年記念式典を挙行できますことに心より厚く御礼申し上げます。

姉妹クラブであります、第2650地区若狭ロータリークラブ会長藤本周次様には、遠路ご参加くださいましたこと、併せて御礼申し上げます。

本日の式典に際し、記念講演の講師をお務めいただく第2650地区パストガバナー刀根莊兵衛様（敦賀ロータリークラブ）には、急なお願いにも関わらずご快諾くださり、厚く御礼申し上げます。また、この度の御縁をいただきました、元本庄南ロータリークラブの浅田進様におかれましては、ロータリアンとしての友情に深く感謝申し上げます。

創立以来この川越の地で、70年間活動を続けてこられたのは、初代会長伊藤長三郎氏、幹事石川東洋氏から歴代の会長、幹事、諸先輩が一本、一本の糸を紡いでくれたご努力と、支えてくださったご家族、そして地域

の皆様のご協力の賜物でございます。

我がクラブの先人が紡いだ70年の歴史と伝統を継承し、本年を節目と捉え次の時代を築き上げる第一歩を踏み出す決意でございます。

未だ続く今日のパンデミックは、今までのロータリーを大きく変えようとしています。しかし、コロナによってもたらされたニューノーマル時代にロータリーの価値観を見据えながら、変えるもの、変えないものを見極め、会員の皆様とともに共有していくことが、あらためて肝要ではないかと思います。

ロータリーが一世紀以上に亘り発展してきたのは、人と人とのつながりを大切にし、奉仕の理想という決して揺らぐことのない基本理念をもとに、世界で貢献し続けてきたからであります。困難な時代に於いて、今こそ私たちロータリアンが一つになり、この困難に立ち向かう時期ではないでしょうか。

川越ロータリークラブは、70周年を契機に未来への新たなステージを築く為の第一歩を踏み出す年度として、会員一同鋭意邁進して参ります。ご臨席の皆様方には引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本日ご臨席の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、感謝と御礼のご挨拶といたします。

創立70周年を迎えて

創立70周年記念式典委員長
西澤 堅



1951年11月東京ロータリークラブをスポンサーに埼玉県で初のロータリークラブとして創立されました。本日70周年記念式典を無事に開催できますこと、会員一同心より感謝申し上げます。

未曾有のコロナ禍、人との交流こそ社会の基本という常識が覆され、我々に行動変容が求められています。ロータリーも基本理念を再確認しながら激しく変化する今の社会に柔軟に対応し、持続可能な組織に変わっていく必要があります。国際ロータリー会長シェカール・メータ氏は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」、第2570地区ガバナー水村雅啓氏は「もっと夢を もっと奉仕を」を方針に挙げています。この奉仕の実践こそ混迷する社会の希望の光となるでしょう。

昨年度は相原茂吉氏が当クラブ輩出6人目のガバナー、幹事坂口孝氏とのコンビでコロナ禍、社会的制約のある中、立派に地区運営をされました。

私達は今こそ70年の間先人達が築き上げたクラブの歴史と伝統を肝に銘じ、これまでの日常や行動を見直して行く必要があります。グローバルな視点に立ち、国際ロータリーの改革志向にも気を配りながら、絶えず問題意識を持つことです。特に人道的支援（貧困と格差）、環境問題（特に温暖化対策）、ポリオに代わる感染症対策や情報化社会での非接触による交流促進など。

川越クラブとしてはロータリーの原点に戻り、これから日々変化する社会的背景を考慮しながら、具体的なクラブの生き残りを皆で考えていく。コロナ禍の業種別景気低迷、人口減、組織への参加意欲の欠如、世代間の価値観のずれ等が世の中の潮流となり、クラブの衰退を招かない様、将来計画を策定し、地道に実行しなければならない。現在、戦略計画を検討しているが、将来を見据え、青少年へ奉仕の大切さを教える、クラブの根幹をなす会員の増強（若い世代、女性会員）、ロータリーの認知度向上等、社会へのアピールを強化し（公共イメージの向上）、自ら汗をかくことが必要となろう。自分たちのロータリーではなく、世の中、みんなのロータリーになるために！

川越ロータリーにはこれまで70年間に多くの方々がロータリーの理念に共鳴し、夫々のロータリー観をもって自分の人生を豊かにしようと参加、活動してきました。本日はこの成果が結実したと思っております。このような崇高な志を受け継ぎながら予測しにくい変化の激しい今、ロータリーアンとして一人一人がどう行動すべきか自問自答しながら行動してまいりたいと思います。「これで良い」という事はないという意識を持って。本日ご臨席の皆様方にはこれまで以上のご指導とご厚情を賜ります様、心からお願い申し上げます。



■ 記念式典 ■

司会 山崎共子
佐藤文彦

- 1 | 物故会員追悼
- 2 | 点 鐘 会 長 小 高 章
- 3 | 国歌斉唱 「君が代」
ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」 ソングリーダー 小 城 直 樹
- 4 | 開会挨拶 式典委員長 西 澤 堅
- 5 | 歓迎の言葉 会 長 小 高 章
- 6 | 記念事業発表 実行委員長 石 井 成 人
記念事業目録贈呈 会 長 小 高 章
- 7 | 来賓祝辞 川越市長 川 合 善 明 様
2021-2022年度
国際ロータリー第2570地区ガバナー 水 村 雅 啓 様
東京ロータリークラブ 会長 小 島 陽 一 郎 様
- 8 | 各種表彰 会 長 小 高 章
受賞者代表挨拶
- 9 | 祝電披露
- 10 | 閉会挨拶 実行委員長 石 井 成 人
- 11 | 点 鐘 会 長 小 高 章

功 勞 賞

2020-2021年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 相原茂吉

2020-2021年度 国際ロータリー第2570地区 地区幹事 坂口 孝

皆 出 席 者

	会員名	入会年月日	会員名	入会年月日
50年以上	今 泉 清 詞	昭和40年12月 7 日		
35年以上	馬 場 常 正	昭和58年 7 月12日		
15年以上	吉 崎 秀 夫	平成 6 年 7 月 5 日	西 澤 堅	平成13年 3 月 6 日
	片 山 幸 雄	平成13年 3 月27日	小 高 章	平成17年 9 月 6 日
10年以上	水 村 圭 司	平成17年 7 月 5 日	坂 口 孝	平成13年 3 月27日
	石 井 成 人	平成20年 1 月22日		

■ 記念講演 ■

- 司会 小田麻夕美
- 1 | 開会
 - 2 | 講師紹介 式典副委員長 鈴木健二
 - 3 | 講演 「ロータリーの変化と未来像」 刀根荘兵衛 様
2016-2017年度 国際ロータリー第2650地区ガバナー
所属クラブ 敦賀ロータリークラブ
 - 4 | 謝辞 式典副委員長 岩堀和久
 - 5 | 閉会
諸事連絡

■ 記念祝賀会 ■

- 司会 宅間由美子
小林勇次郎
- 1 | オープニング映像
 - 2 | 川越鳶組合「川越の木遣り」先導により入場 会長・幹事・式典委員長・実行委員長
 - 3 | 開会挨拶 式典副委員長 片山幸雄
 - 4 | 会長挨拶 会長 小高章
 - 5 | 祝辞 2022-2023年度 国際ロータリー第2570地区ガバナー 村田貴紀 様
若狭ロータリークラブ 会長 藤本周次 様
台北西北ロータリークラブ 会長 余仁方 様
(ビデオメッセージ)
 - 6 | 鏡開き
 - 7 | 乾杯 川越商工会議所 会頭 立原雅夫 様
 - 8 | 祝宴
 - 9 | ご来賓・参加クラブ紹介 幹事 吉澤徳安
 - 10 | 記念ゴルフ大会表彰 ゴルフ大会 部会長 坂口孝
 - 11 | アトラクション 川越鳶組合「川越の木遣り・纏振り・梯子乗り」
 - 12 | 中締め 国際ロータリー第2570地区ガバナー補佐 山本庄一 様
 - 13 | 大締め 川越鳶組合
 - 14 | 閉会挨拶 式典副委員長 藤井 潔





記念事業について

70周年記念事業

川越市役所のデジタルサイネージ(電子掲示板)寄贈

70周年記念事業として、川越市の顔とも言える、市役所本庁舎入口の案内所ブース横に設置されている「庁舎内案内板」が老朽化してきましたので、市役所に来た方々が使いやすく、難しい操作の必要もなく、わかりやすい「デジタルサイネージ(電子掲示板)」を寄贈することといたしました。

コロナ感染症の蔓延により、市役所窓口での対面業務の対応も変化し、デジタル化の必要性を考慮し、市役所の担当部署との相談を重ね、「デジタルサイネージ」を寄贈することといたしました。納入後の維持管理や運用に関しては、市役所内で対応できるように、基本ソフトウェアも設定し、未永く使用できるように、市役所を訪れた方が、各部署を素早く確認できるようにわかりやすい表示を、担当の部門とも相談させていただきました。これからのデジタル社会に向けて、是非とも有効に活用していただくことを期待しています。



祝辞

川越市長
川合善明

川越ロータリークラブが、会員の皆様の不断のご努力のもと、記念すべき創立70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、埼玉県下初のロータリークラブとして結成され、1951年から現在に至るまで、「奉仕の理念」のもと、多方面にわたる社会奉仕活動に取り組み、地域社会の発展に尽力してこられました。歴代会長をはじめ、会員の皆様方の熱意とご努力に対し、深甚なる敬意を表する次第でございます。

また、海外姉妹都市への中学生交流団派遣事業、交通安全の啓発活動等、川越市の各種事業に対しましても、長年にわたり多大なるご支援とご協力をいただいていることに、改めて感謝を申し上げます。

さて、本市においては、コロナ禍で1年間の延期を余儀なくされた東京2020オリンピックのゴルフ競技が霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催され、川越の歴史を彩る新たな一幕となりました。そして、昨年、川越駅西口に

開設した「U PLACE」に続き、本川越駅北側には子育て世代を応援する、子育て安心施設「すくすくかわごえ」がオープンしました。

来年は市制施行100周年という節目を迎えます。市民の皆様とともに祝い、先人の築いた歩みに深く感謝するとともに、川越のさらなる発展のため、川越の魅力をより高め、市民一人ひとりに、住むことへの誇りと愛着を持っていただける、「だれもが住み続けたいまち川越」を実現するため、全力で市政に取り組んでまいります。

貴クラブの皆様におかれましては、創立70周年を契機とされまして、会員相互の交流をさらに深められ、変化の時代に即した社会貢献活動にご活躍いただき、引き続き川越の発展にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、川越ロータリークラブのますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。お祝いのことばとさせていただきます。



創立70周年を祝して

2021-2022年度
国際ロータリー第2570地区
ガバナー 水村 雅 啓



川越ロータリークラブの皆様、創立70周年をお迎えになり感慨ひとしおのこととご推察申し上げます。誠におめでとうございます。国際ロータリー第2570地区全会員を代表して、心よりお祝いを申し上げます。

貴クラブは、東京ロータリークラブをスポンサーとして1951年（昭和26年）12月14日、国際ロータリーの承認を受けられました。埼玉県下最初のロータリークラブの誕生でした。時は正に戦後復興期、連合軍の占領下で多くの制約を抱えながらも新たな時代を模索していた時でした。

ロータリーの歴史を振り返りますと、

1949年：日本のRCがRIに復帰。この年度に20クラブが復帰する。

国際協議会で「入りて学び 出でて奉仕せよ」の標語が掲示される。

1950年：第一期のロータリー財団奨学生を送り出す。（アメリカ）

1951年：日本最初のIMが開催される。（サンフランシスコ平和条約締結）

1952年：東京RCが米山記念奨学金制度を提案する。（翌年より実施）
「手に手つないで」が発表される。
日本2地区に分割（第60、61地区）となる。

1953年：2地区分割に対応して「ロータリーの友」が創刊される。

この様に、戦後の日本のロータリーが再び歩み始めたその時に川越ロータリークラブは産声を上げ、日本の復興と地域の発展に全国のロータリークラブと共に歩みを揃えてきたのでした。県下一番のクラブとして創立以来、地域社会のニーズに応え、各種の社会奉仕活動に取り組むとともに、青少年育成のためにローターアクト・クラブ、米山記念奨学会への協力などクラブを挙げて取り組んでこられました。そして、その精神はクラブの充実発展にとどまらず、ガバナーはじめ地区役員を数多く輩出するなど地区の発展にも率先して貢献されてまいりました。ロータリー精神を着実に実践してこられた歴代の会長、幹事様をはじめ会員の皆様の献身的な努力と不断の努力に敬意を表します。

また、折々に貴クラブ重鎮の今泉清詞パストガバナーに接する機会を得ますと、その凛とした佇まいに、これぞ真のロータリアンの姿、と我が身を正す思いにかられます。正に川越ロータリークラブが持つ歴史と伝統から紡ぎだされた風格なのだなと感じます。

私たちは、貴クラブを地区のリーダーとして誇りにしています。これからも存在感を示し、奉仕の理想と親睦友愛の灯を絶やすことなく100周年へ向けて邁進してください。

皆様方のご活躍と貴クラブの益々のご発展を祈念してお祝いの言葉といたします。

川越ロータリークラブ 創立70周年を祝して

東京ロータリークラブ
会長 小島 陽一郎



此の度、川越ロータリークラブが創立70周年を迎えられましたことは誠にめでたく、お慶び申し上げます。

貴クラブが1951年11月27日に創立されるにあたり、特別代表であった先々代柏原孫左衛門会員をはじめ、私ども東京ロータリークラブがスポンサークラブとしてお手伝いさせて頂きましたことを大変光榮に存じております。

小高会長様、石井実行委員長様はじめ川越ロータリークラブの皆様方は、創立70周年という節目の祝賀会を早くから準備され、心待ちにしておられたのではないかと存じます。思いもよらないコロナ感染症の蔓延によって色々対応にご苦勞をなさっておられることと拝察申し上げます。

ご高承のとおり私ども東京ロータリークラブもお陰様で昨年目出度く百周年を迎え、百周年記念祝賀会を催して盛大にお祝いすべく準備しておりましたが、時節柄大幅に規模を縮小することを余儀なくされ、会員とその配偶者のみという内輪の開催とさせていただきました。

ここ最近、コロナの感染状況は落ち着いておりますが、一時は例会の開催さえ危ぶまれる状況で、現在もロータリー活動は様々な制約を受けております。しかし人と人のつなが

りの中から友愛の精神を育み、奉仕の精神を涵養するというロータリーの基本的な理念は決して揺らぐことはないと考えます。実際百年以上前に米国シカゴの一角で誕生したロータリー活動が世界的規模にまで発展したのは、伝統的にRIが人と人のつながりを築く上で少なからず貢献してきたからこそである、と言えることができると思います。また、ロータリー活動が時代の変化に対応するため、RI自身が変化を志向することは当然ですが、いつにおいても奉仕の理想という原点を堅持していくことが大切であると考えます。

貴クラブが創立以来、埼玉県下で最も古い歴史と伝統を有するロータリークラブとして存在感のある活動を続けてこられたのは、私共が平素から敬服をしているところでございます。現下は残念ながらロータリーにとっても困難な時期にありますが、貴クラブは必ずやこの困難を乗り越えられて、さらなる発展に向かって飛躍されることと確信しております。

素晴らしい記念の日を迎えられた貴クラブが70年の歴史と伝統を大切にされながら、さらに充実したロータリー活動に邁進されることを心から祈念申し上げ、粗辞であります。創立70周年のお祝いの言葉と致します。



川越RC創立70周年記念 祝辞

台北西北ロータリークラブ
会長 余 仁方



【原文】

欣逢 貴社創立 70 周年慶，謹代表台北西北區扶輪社全體謹致上最誠摯的祝賀！

貴社創立以來，持續服務鄉里、造福社區；長期捐款 貴國米山獎學會、國際扶輪基金會以進行青少年的栽培及交換學生計畫，更參與海外社會服務、援助活動等等，建樹了許多功績。

值此 貴社創立 70 周年紀念的同時，謹表達我們衷心的敬意！

盼疫情較平緩後，兩社能有適當計劃，攜手共策服務社稷事業，如同 2005~06 年時，本社及其他姊妹社共同協立在柬埔寨金邊郊區建造 546 口抽水幫浦供居民使用，以改善村民之飲水水源及水質。

貴我兩社於 1973 年 1 月締結為姊妹社，將近 50 年了，其間每年的受證紀念慶典，均互相組團前往祝賀，但在這二年因為 COVID-19 疫情的影響下，使得彼此無法互相往來，僅能利用網路來聯絡感情，希望疫情能盡快平緩，恢復過往面對面的交流。

貴社創立 70 周年紀念，在小高會長卓越領導、各位前會長及全體川越 RC 會員協力下，社務及各項服務都會圓滿成功，是川越地區居民的福祉。

最後，敬祝 川越 RC 社運昌隆！社員及賣眷 身體健康！

萬事如意！

【翻譯文】

川越ロータリークラブが創立 70 周年を迎えられましたことを、台北西北区ロータリークラブ会員一同を代表して、心よりお祝い申し上げます。

川越ロータリークラブは、創立以来地域に密着した社会奉仕活動に尽力し、地域社会を支えてられました。また、米山記念奨学事業およびロータリー財団へ寄付し続けてこれられ、若い世代の育成や青少年交換などの青少

年奉仕活動に加えて、海外への国際奉仕活動、支援活動などを積極的に取り組んで、数多くの業績を上げてられました。

創立 70 周年を迎えられるに当たり、この機会に心から敬意を表したいと存じます。

コロナ禍が収束次第、また 2005-06 年度に、当クラブと姉妹クラブ達が協働して、カンボジア・プノンペンで 546 基の井戸を掘り、地区住民の飲料水水源提供および水質改善事業のように、新たな社会奉仕事業を両クラブが共に取り組むことを待望しています。

1973 年に貴クラブとの姉妹クラブ締結以来、50 年に近く歳月を共に歩んで参りました。その間、毎年の周年記念式典には、両クラブがいつもお互いに訪問し、一緒にお祝い致しましたが、昨年と今年は、新型コロナウイルスの影響で訪問ができず、オンラインで連絡の取り合いしかできませんでした。コロナ禍が早く収束できて、過去のような対面で交流できる日々を心待ちにしております。

川越ロータリークラブは創立 70 周年という節目で、小高会長のリーダーシップとパスト会長及び会員の皆さんの全力のサポートで奉仕事業の成功を心から祈念しております。同時、それも川越地域住民の幸せを促進する力になれる所存でございます。

結びに、川越ロータリークラブの益々のご発展と、会員とご家族皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立70周年記念祝辞

若狭ロータリークラブ
会長 藤本周次



川越ロータリークラブの皆様、この度、貴クラブが創立70周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

川越市と小浜市は、寛永11年に、武州川越人が若狭小浜に移ったときからその関係が生まれ、ともに、先人の伝える豊かな遺産の上に個性ある都市として発展してきました。

こうした350余年の歴史の中で両市の紐帯を確認し、経済、文化、観光の交流を進め、もって両市市民相互の理解と親善を図ることは、両市の繁栄に寄与するものとして極めて意義あることから、昭和57年11月30日に姉妹都市締結をされております。

毎年、5月2日と3日には小浜市で「お城祭り」が行われ、川越城主であった酒井忠勝公が、国替えにより若狭國藩主となられたおり、獅子舞の演技者を召し連れられて小浜城に入場された事にはじまり、小浜神社のお祭りの出し物は勇壮な大太鼓や子供みこしの他、福井県無形民俗文化財の指定を受けている「雲浜獅子」が特に有名です。雲浜獅子は、一頭の雌獅子をめぐり2頭の雄獅子が繰り広げる恋の争いを笛の音と勇ましい舞によって描いたものとなっております。

このお祭りには川越市の市長様はじめ観光・経済・文化関係者の皆様方に、小浜においでいただき、小浜城址跡や勇壮な獅子舞を見ていただき、交流を深めていただいております。

このような両市の深い御縁から、若狭ロー

タリークラブにおきましても、平成3年11月12日に、貴クラブと姉妹クラブの本締結をいたしております。

さて、北陸新幹線は2024年春には、東京から敦賀までが開通致します。

また、若狭地方では、北陸新幹線小浜・京都ルートが正式に決定され、敦賀までの開通後、敦賀市から小浜市を経て京都・大阪までのルートの建設が始まる予定となっており、小浜市をはじめ福井県や経済団体は、2030年度末頃までの全線開通予定を目指しております。

この新幹線がまず敦賀まで開通すれば、敦賀から北陸新幹線を利用して大宮駅で下車すれば、川越市がより一層近くなり、貴クラブとも、もっと気軽に交流できるものと思っております。

若狭ロータリークラブも、2022年5月に創立60周年を迎えます。周年事業をきっかけに、あらためて川越ロータリークラブの皆様との絆を再確認し、姉妹クラブとの交流を深めることができれば、大変うれしく光栄に存じます。

結びに、川越ロータリークラブが創立70周年を契機に、ますますご発展されますとともに、川越ロータリークラブの会員および関係者の方々のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。お祝いのご挨拶とさせていただきます。



川越の気風

山田 禎久

今日、川越は関東でも有数の観光地となりました。交通の便が良いことに加え、城下町特有の落ち着きと風格に惹かれて訪れる方も多いことでしょう。太田道真・道灌父子により川越城が築城されたのは長禄元（1457）年。以来川越は関東を代表する城下町として発展を遂げました。さらに遡ると川越地方は平安時代から「三芳野の里」と呼ばれ、はるか京の都でもその名を知られていました。三芳野とは「御」「吉」「野」。神聖で美しい、広い平地を表わすとされています。

台地と川

川越は武蔵野台地の東北端に位置し、西から北に入間川、東は遠く秩父からの荒川が流れ、東京に入っては隅田川となります。さらにその支流である新河岸川・小畔川・赤間川などが台地の三方を廻ります。鎌倉時代には河肥・河越と書かれ、川によって潤された肥沃の土地であるがために「河肥」、またどこから来ても川を越えなければならない地形から「河越」とされたともいわれています。「越えた先に待つ、美しく豊かな町」。それが川越です。

災難を越えて

川を越えてたどり着く町とはいえ、私たちの先祖が越えてきたものは川ばかりではありません。長い歴史の中で幾多の災難を越え、先人たちはそれをバネに繁栄の礎を成したのです。

寛永の大火～寛永15（1638）年正月、城の三割と城下の町屋三百余軒を焼失させた大火。

喜多院再興

喜多町から発した火は喜多院と仙波東照宮へ至ります。精神的な支えである社寺を失ったことによる町民の落胆は相当なものであったでしょう。将軍家光はただちにこの両社寺の復興を命じます。堂宇の再建のために江戸城内から建物を移築する際、資材を江戸から舟で運び込んだのが新河岸川舟運のはじまりとされています。これを機に河岸の整備が進み、後の経済発展を後押ししました。

城下町の整備

大火の直後、城主として川越に転封してきた老中・松平信綱は、疲弊した城下町の復興に力を注ぎます。新たに町割を整備し、今日につながる城下町の基盤を構築したのです。

舟運の拡充

信綱は新河岸川舟運を拡充し、江戸へ運ぶ物資の集散地として川越を発展させます。同時に最新の文化や流行も江戸からいち早く届くようになりました。城下町川越の繁栄はこの舟運を抜きにして語ることはできません。

川越祭

城下町の整備がひと段落した慶安4（1651）年、復興をたしかなものとするため、信綱は総鎮守氷川神社に祭具を寄進し祭礼の執行を奨励します。神社では秋の大祭に合わせ神幸行列を開始、やがてその列の後ろを氏子各町の出し物が随行し、年々賑やかに発展しました。神事を通じて地域の復興と安寧を祈るのみならず、祭礼組織の編成により城下の民衆をまとめ、さらには観光客による経済効果も見通した信綱の優れた政策です。

明治の大火～明治26（1893）年。街の約四割を焼き尽くす被害をもたらした大火。

蔵造りの町並

類焼をまぬかれた店蔵の防火効果を目の当たりにした川越商人たちは、街の復興にあたり挙って蔵造りを採用します。現在の川越の象徴的な魅力とされる蔵の町並は大火の試練を経て造成され、一番街を中心に今もその重厚な軒を連ねています。

鐘撞堂（時の鐘）

焼け落ちた鐘楼の再建にあたり、明治天皇からの御下賜金をはじめ多額の寄付が寄せられます。募財活動に渋沢栄一・高田早苗（読売新聞主筆・早大初代学長・川越選挙区から衆議院議員に選出）が奔走します。また、市外からは横浜の生糸商人たちが大口の寄付をしました。

むすびに

これまで述べたとおり、「越える」という字を地名に持つこの街の人々は、文字どおり数多の困難を乗り越え、今日に繋がる基礎を作り上げました。先人たちは試練に見舞われるたびに前を向き心を合わせ、力強く街を蘇らせたのです。創立70周年を迎える川越ロータリークラブ、そして市制施行100周年を控えた川越市。今回のコロナ禍による苦難は、いっそう力強い未来を届けてくれることでしょうか。私たちには今も、先人たちから受け継いだ川越の気風が脈々と流れているはずですから。



70年のあゆみ

1951~52

会長・伊藤長三郎 幹事・石川東洋

- '51.11.27 ■ 川越ロータリークラブ創立総会開催
会員23名 チャーターメンバー/
水村三郎(既存者)
- '52.4.8 ■ 川越ロータリークラブ認証状伝達式開催

1952~53

会長・伊藤長三郎 幹事・石川東洋

- '52.10 ■ 翌年より会員の誕生祝いとして記念品を贈呈することを決定
- '53.3 ■ 社会奉仕活動として時間励行ポスターを配布
- 川越少年刑務所に図書を送る

1953~54

会長・山崎嘉七 幹事・担木敬吾

- '53.7 ■ 本年度よりテーブル毎に出席競争を実施
- 九州地方水害のため見舞金を送る
- '53.10.9 ■ 川越クラブがスポンサーにて、埼玉県で2番目のクラブ/熊谷ロータリークラブが創立

1954~55

会長・水村善太郎 幹事・松崎仲二 岩沢新衛

- '54.8 ■ クラブ例会場を川越商工会議所に移転
- '54.10 ■ 熊谷ロータリークラブ認証状伝達式
- '55.2 ■ 国際ロータリー創立50周年記念式典挙行
- '55.5 ■ 盲人用英文タイプライターを川越盲学校に寄贈

1955~56

会長・原次郎 幹事・広沢輝雄 岩沢新衛

- '55.7 ■ 本年度よりスマイルボックス委員会設置
- '55.10 ■ 第60地区年次大会開催地、新潟市大火のため中止、急きよ帝国ホテルにて開催
- '55.11.5 ■ 浦和ロータリークラブ認証状伝達式
川越クラブがスポンサー
- '55.12.13 ■ 県下で初めて I G F を川越クラブがホストで開催

1956~57

会長・小杉太郎 幹事・広沢輝雄

- '56.11 ■ 社会奉仕の一端として農村に関係を深めるため種豚の貸与を計画
- '57.4 ■ 次年より全国を5区に分割 当クラブは第355地区となる

1957~58

会長・星野保 幹事・広沢輝雄

- '57.8 ■ テーブルマスター制につき協議する
- '58.5 ■ 第1回 R C 合同、高等学校英語弁論大会開催

1958~59

会長・広沢輝雄 幹事・相原茂吉

- '58.8 ■ 千葉県姉ヶ崎市立捕魚家族会開催47名参加
- '59.5 ■ 第2回県下 R C 合同主催高等学校英語弁論大会開催(ホスト川越 R C)
- '59.6 ■ R I 国際大会ニューヨークにて開催

1959~60

会長・吉崎寅之助 幹事・相原茂吉

- '59.11 ■ ロータリーマラソンを浦和 R C 主催にて行う
- 第5回埼玉県 I G F を開催(川越クラブホスト)
参加クラブ4クラブ、56名参加
- '60.5 ■ 第3回県下 R C 合同主催高等学校弁論大会開催

1960~61

会長・水村三郎 幹事・鈴木咸

- '60.12 ■ 第450回例会につき、明治座観劇および築地治作にて会員家族の懇親会開設
- '61.3 ■ 第355地区より川越クラブは第358地区になる
第358地区は東京、埼玉、千葉、山梨、神奈川県
- '61.5 ■ 国際ロータリー東京大会開催(晴海)
- '61.6.1 ■ 東京大会出席の海外ロータリアンを川越に招待

1961~62

会長・笠間恒一郎 幹事・小谷野章次

- '61.12.9 ■ 川越 R C 創立10周年記念式典開催
- '62.2 ■ 川越クラブバナーを新調
デザインは相原茂吉副会長
- '62.5 ■ 5月例会より例会場を川越商工会議所より埼玉銀行川越支店に移転
- '62.6 ■ 八丈島観光親睦旅行は飛行機欠航のため横浜の万珍楼にて懇親昼食会に変更



70年のあゆみ

1962~63

会長・相原茂吉 幹事・平田高美

- '62.7 ■ 伊藤長三郎バスト会長、地区資金委員ならびに埼玉第2分区代理に就任する
- '63.2 ■ メイクアップデーとして東京RC例会会場帝国ホテルに出席、14名参加
- '63.4 ■ 社会奉仕活動として交通安全教材の信号機を寄贈する
- '63.5 ■ 家族親睦旅行、上野文化会館にてパリ・オペラ座の公演を観る

1963~64

会長・鈴木咸 幹事・清水賢次

- '63.7 ■ 日本インターアクトクラブ誕生(仙台育英学園高校)
- '63.9.26 ■ 第358地区年次大会記念親睦ゴルフ会開催
ホスト川越RC、於霞ヶ関カントリークラブ

1964~65

会長・平田高美 幹事・有吉賢一

- '64.7 ■ 埼玉県下第4分区代理に広沢輝雄バスト会長が就任
- '65.1 ■ インターアクト委員会結成 第1回委員会開催
- '65.2 ■ ロータリー 日本誕生45年

1965~66

会長・栗城至誠 幹事・山崎嘉彦

- '65.7 ■ 埼玉県第4分区代理として相原茂吉バスト会長が就任
- '65.8 ■ RI新プログラムとして“ポールハリス賞”を設定
- '65.11.30 ■ 川越RC第700回例会
- '66.2.6 ■ 川越インターアクトクラブ認証状伝達式

1966~67

会長・小島金三 幹事・間坂宏

- '66.8 ■ 川越インターアクトクラブ会長/福沢純一君、交換学生としてフィリピン親善訪問
- '66.12.10 ■ 川越RC創立15周年記念式典開催
- '67.1.19 ■ 小川RC創立総会(スポンサー川越RC)

1967~68

会長・清水賢次 幹事・藤井豊三

- '67.7 ■ 埼玉県・千葉県は第357地区となる
- '67.10 ■ ビジター登録料の400円を500円に改定
- '68.6.1 ■ 日本最初のローターアクトクラブとして川越RCスポンサーの国際商大ローターアクトクラブ誕生

1968~69

会長・有吉賢一 幹事・加藤寿一

- '68.7 ■ 第357地区ガバナーに広沢輝雄氏就任
- '68.10.19 ~20 ■ 第357地区年次大会開催(ホスト川越RC)
参加クラブ78、参加人数1984名

1969~70

会長・山崎嘉彦 幹事・高山久兵衛

- '69.12.26 ■ 地区大会開催記念像 新制作協会小坂圭二郎氏作の“地球の破れを担うキリスト”の除幕式
- '70.5.9 ■ 親睦観劇会“明治座”参加者75名

1970~71

会長・馬場和造 幹事・横山隆二

- '70.12.8 ■ 会員家族クリスマスパーティを“丸広”にて開催
- '71.5.25 ■ 会員家族親睦旅行
■ 石和温泉常磐ホテルにてクラブ例会開催

1971~72

会長・佐々木文蔵 幹事・名坂弘

- '71.7 ■ 第4分区代理に山崎嘉彦氏就任
- '71.11.25 ■ 川越RC創立20周年記念式典開催
- '72.2.12 ■ 第4分区IGF開催、ホスト川越RC
- '72.3.25 ~26 ■ 第357地区、第358地区合同地区大会開催
川越RC出席率100%にて、出席優秀クラブとして表彰される
- '72.5.10 ■ スイス大使グーハア閣下卓話講師として来日する
- '72.6.22 ■ 上野寿々本にて古典落語を聞く会開催

1972~73

会長・藤井豊三 幹事・田中賢司

- '72.7.11 ■ 本例会よりエレクトーンの伴奏にてロータリーソングを歌う(プレイヤー河辺康子さん)
- '72.12.5 ■ “川越を住みよくするためには”の討論座談会開催
- '73.1.23 ■ ロータリー財団800%クラブになる
- '73.3.1 ■ 川越南RC創立総会(スポンサー川越RC)
- '73.6.20 ■ “会員夫人の集い”を開催 講師松島詩子

1973~74

会長・加藤寿一 幹事・今西定雄

- '73.7 ■ ビジター登録料を800円に変更
- '73.9.25 ■ 姉妹クラブ台北西北RC創立13周年記念式典に出席(6名)
- '74.2 ■ 世界社会奉仕の一環として、第349地区と共同にて南ベトナム難民救済の病院設立のため各会員500円拠出
- '74.6.11 ■ 川越市のかくれたる善行者18名を表彰
- '74.6.22 ■ 埼玉県視力障害者福祉会より停留所に点字時刻表を設置したことにより礼状を受ける

1974~75

会長・高山久兵衛 幹事・松山恒之

- '74.9.28 ■ 川越老人ホームに図書80冊を寄贈
- '74.10.22 ■ 会員親睦旅行、南紀白浜ホテルに1泊の予定サンフラワー号にて出発するも悪天候のため高知に上陸、四国横断、小豆島観光に変更
- '74.11 ■ 川越駅西口に花壇を寄贈 花崗岩の記念碑に山崎喜七会員揮毫
- '75.2.23 ■ 国際ロータリー70周年記念日



70年のあゆみ

1975~76

会長・田中賢司 幹事・馬場常太郎

- '76.1.6 ■ 新年初例会のアトラクションでテナーの近藤英一氏が“オーソレミヨ”他9曲独唱

1976~77

会長・今西定雄 幹事・岩堀徳太郎

- '76.9 ■ ローターリー財団への寄与2600%となりRIよりロータリーファンデーションクラブの称号を受ける
- '76.11.27 ■ 時の鐘に休憩室を造り、川越市に寄贈
- '77.2 ■ 台北高砂族の集会所に活動センターを台北西北RCと姉妹クラブ締結中の日本の5クラブが協力し寄贈
- '77.4.24 ■ ローターアクト岡村誠一君、第2回オーストラリア相互訪問親善派遣団の一人としてオーストラリアに出発

1977~78

会長・横山隆二 幹事・増村禎一

- '77.7 ■ 第357地区ガバナーに相原茂吉氏就任
- '77.11.5 ■ 第357地区年次大会開催 川越市民会館参加者2098人
- '78.2 ■ ローターリー財団特別功労者世界11人の中の1人に廣澤輝雄氏PDG表彰を受ける
- '78.5.14 ■ 国際ロータリー東京大会開催 会員全員出席

1978~79

会長・馬場常太郎 幹事・牛窪栄吉

- '78.8.22 ■ ゆかた例会を行う
- '78.10.31 ■ 川越ローターアクトクラブの「財団法人・交通遺児育英会資金」の街頭募金に援助
- '78.12.19 ■ 川越市に広報車1台と歳末助け合いとして金一封を贈る

1979~80

会長・今泉清詞 幹事・浅井正義

- '79.10 ■ ローターリー財団委員会“財団の壺”を各テーブルに置き寄付の協力を願う
- クラブ会報1400回記念特集号を発行
- '80.2.22 ■ RI創立75周年記念事業として、市内小中学校全校に“アメリカはなみずき”の苗を植樹
- 川越西RC創立総会(スポンサー川越RC)

1980~81

会長・岩堀徳太郎 幹事・竹内孝也

- '80.7 ■ 本年度より会長ノミニ制を実施
- '80.7.8 ■ 山崎喜七会員の米寿の誕生日
- '81.1 ■ 相原パストガバナー国際RI会長代理に選任される
- '81.5.26 ■ ヴォケーショナルガイドブック製作
- '81.6.2 ■ 「安全標語」のたれ幕を消防署に寄贈

1981~82

会長・石川秀夫 幹事・荻原勝彦

- '81.7 ■ 第257地区第7分区分区代理に、今西定雄氏就任する
- '81.11.21 ■ 川越RC創立30周年記念式典開催
- '82.1.5 ■ 山崎嘉正会員入会 親子3代のロータリアン誕生

1982~83

会長・増村禎一 幹事・江原清治

- '82.9.25 ■ 愛々救済院に世界社会奉仕資金として台北西北RCに3年間で100万円を、社会奉仕委員会に贈呈
- '83.3.22 ■ 新河岸川浄化の看板の設置
- '83.3.30 ■ 市内火葬場内に売店を建設

1983~84

会長・牛窪栄吉 幹事・飯野三徳

- '83.11.8 ■ 1600回例会(丸広桜華の間)
- '84.3.1 ■ 学童教育用信号機の贈呈
- '84.4.25 ■ 会員夫人の職場訪問(亀屋芳野台工場)
- '84.5.16 ■ 会員夫人の職場訪問(電信電話局)
- '84.6.26 ■ ミニ山車贈呈(4クラブ合同)

1984~85

会長・浅井正義 幹事・原正次

- '84.11.13 ■ 職場訪問(村井会員工場)
- 川越市の「イキイキ史跡案内地図」の製作

1985~86

会長・荻原勝彦 幹事・石井要

- '85.8.20 ■ 職場訪問(NTT)
- '85.11.4 ■ 第1回ブライダル委員会の若人セミナーとパーティ
- '86.4.27 ■ 第2回ブライダル委員会の若人セミナーとパーティ

1986~87

会長・江原清治 幹事・関谷芳弘

- '86.8.17 ■ インターアクト第257地区定期大会(三峰神社)
- '86.10.13 ■ 姉妹都市セーレムより市長他多数の来川
- '86.11.25 ■ 川越RC創立35周年記念式典開催(於氷川会館)
- '87.4 ■ 旧町名記念碑建立

1987~88

会長・飯野三徳 幹事・牛窪佐太郎

- '87.7 ■ 第257地区第7分区分区代理に、今泉清詞氏就任する
- '87.12.12 ■ 札の辻・道路元標の碑を川越市に寄贈
- 川越RAC創立20周年記念式典の実施
- '87.12 ■ 川越同仁会病院 老人病棟へテレビ寄贈

70年のあゆみ

1988~89

会長・西川眞八 幹事・飯野三徳 矢沢秀雄

- '88 ■ 埼玉が2分割され、川越は第257地区に
- '88.8.29 ■ 川越市内4クラブにて川越中央RCを創立
特別代表牛窪栄吉氏
- '89.5.30 ■ 川越地区消防組合に救急用具を寄贈

1989~90

会長・原正次 幹事・可児一男

- '90.5.8 ■ 川越市立博物館へけやき寄贈
- '90.6 ■ ポートランド国際大会へ、会長以下14名参加

1990~91

会長・石井要 幹事・野原友次郎

- '91.3.7 ■ 川越市へ自動血圧計2基贈呈
- '91.6.4 ■ 例会場移転の決定 川越プリンスホテル
- '91.6.6 ■ 市内5クラブにて小浜RCと姉妹クラブ
仮締結
- '91.6.18 ■ 1世紀にわたる事業継続会員顕彰

1991~92

会長・関谷芳弘 幹事・相川定久

- '91.7 ■ 岩堀徳太郎氏、第1分区代理就任
- '91.10.1 ■ 例会場を川越プリンスホテルへ移転
- '91.11.12 ■ 市内5クラブにて小浜RCと姉妹クラブ
締結式
- 川越RC創立40周年記念式典開催
- '91.12.17 ■ 第2000回記念例会(氷川会館)

1992~93

会長・牛窪佐太郎 幹事・中島秀夫

- '92.10.28 ■ 親睦旅行で長崎ハウステンボスへ
~29
- '93.2.2 ■ 職場訪問(鏡山酒造)
- '93.3.13 ■ 第3480地区年次大会参加
~14
- '93.6.25 ■ 旧町名記念碑建立

1993~94

会長・西川一郎 幹事・伊藤禎二

- '93.7.1 ■ 第2570地区ガバナーに今泉清詞氏就任
- '93.8.1 ■ ロバート・R・バースRI会長が青少年ス
ポーツ大会(川越西RC主催)を見学
- '93.11.13 ■ 第2570地区年次大会開催
~14
(川越市民会館)
- '93.12.12 ■ 第2570地区RAC年次大会・25周年式典

1994~95

会長・可児一男 幹事・馬場弘

- '94.7.1 ■ 第2570地区第1分区代理に石井要氏就任
- '95.3.14 ■ 桜づつみ事業(山田地区)
- '95.4.8 ■ 阪神大震災義援金118万円を2680地区ガ
バナーに託す

1995~96

会長・野原友次郎

- '96.4~6 会長代理・中島秀夫 幹事・石井一
- '96.1.25 ■ 桜づつみ事業(山田地区)
- '96.4.8 ■ 道路横断旗200本を川越市に贈呈
- '96.6 ■ 桜づつみ事業(新河岸川)

1996~97

会長・小川正夫 幹事・栗原辰雄

- '96.7.30 ■ 山田地区桜堤モデル事業完成記念式典
- '96.8.6 ■ 第2222回記念夜間例会開催(丸広百貨店
ビアガーデン)
- '96.9.8 ■ 親睦旅行 熱海、初島クラブ
~9
- '96.11.26 ■ 川越RC創立45周年記念式典開催
(川越プリンスホテル)
- '97.1.27 ■ ボール・ハリス没後50年記念行事
- '97.3.1 ■ IM 新世代会議を川越5クラブ合同
で開催
- '97.3.19 ■ 創立45周年記念事業として、三芳野神社
に紅梅、白梅を植樹
- '97.4.5 ■ 地区大会 陸上自衛隊朝霞駐屯地で開催
- '97.6.15 ■ 国際ロータリー年次大会
~18
グラスゴー(イギリス)で開催

1997~98

会長・中島秀夫 幹事・馬場常正

- '97.8.5 ■ 夜間納涼例会 小江戸ブルワリーで開催
- '97.10.12 ■ 親睦旅行 八幡平、十和田、奥入瀬
~13
- '97.12.13 ■ ファミリー会 中山競馬場
- '97.12.14 ■ RAC年次大会 川越RACのホストで開催
- '98.2.10 ■ IM 川越RCがホストクラブとして、牛窪栄吉分区代理、東昭実行委員長の下、川越5クラブ夜間合同例会形式にて開催
■ 川越RAC39周年記念行事(坂戸市民運動公園)
- 地区大会 深谷市民文化会館
- '98.3.29 ■ 職場訪問(川越警察署新庁舎)
- '98.4.4 ■ 国際ロータリー年次大会
~5
■ インディアナポリス(アメリカ)
- '98.6.9 ■ 一若狭RC創立35周年一
~17

1998~99

会長・伊藤禎二 幹事・井上實

- '98.7.21 ■ 納涼夜間例会 丸広ファミリー食堂
- '98.10.18 ■ 川越祭りに地区米山奨学生21名を招待
元町2丁目の山車に参加
- '98.10.20 ■ 親睦旅行
- '98.11.21 ■ 地区大会
~22
- '98.12.15 ■ クリスマス例会 東京混成合唱団
ゾリステン
- '99.2.10 ■ IM川越平安閣
■ 相原茂吉バスターガバナー 逝去
- '99.5.18 ■ 偲ぶ会として例会を開催
- '99.6.13 ■ 国際ロータリー年次大会
~16
(シンガポール)



70年のあゆみ

1999~2000

会長・馬場弘 幹事・守屋英之

- '99.8.3 ■ 夜間納涼例会 川越プリンスホテル
- '99.9.20 ■ 台北西北RC40周年記念式典
- '99.10.23 ■ 親睦旅行 世界遺産姫路城 歌舞伎と大河ドラマ赤穂の旅
~24
- '00.2.9 ■ IM 川越平安閣 青少年海外体験報告
- '00.3.14 ■ 職場見学会(尚美学園大学)
- '00.4.15 ■ 地区大会 所沢文化会館 ミューズ
~16
- '00.6.4 ■ 国際ロータリー年次大会
~7 プエノスアイレス(アルゼンチン)

2000~01

会長・深田弘治 幹事・阿部好弘

- '00.8.17 ■ 日帰り納涼例会
日本丸ダイニングルーム、浅草寺
- '00.11.20 ■ 川越市内5クラブ合同例会
川越プリンスホテル
- '00.12.14 ■ IM 日本文化を楽しむ集い(東京歌舞伎座)
- '00.12.19 ■ クリスマス例会 川越プリンスホテル
- '01.2.16 ■ IM 川越東武ホテル
- '01.4.18 ■ 日帰り例会 新橋演舞場スーパー歌舞伎
帝国ホテルにて例会
- '01.6.26 ■ 国際ロータリー年次大会
~27

2001~02

会長・栗原辰雄 幹事・立原雅夫

- '01.8.12 ■ インターアクト年次大会開催(主管)
- '01.11.27 ■ 川越RC創立50周年記念式典挙行
(於プリンスホテル)
- アメリカ西セーレムロータリークラブ
友好クラブ締結
- '01.11 ■ 今泉清詞氏ロータリー財団特別功労賞受賞
- '02.6.11 ■ 2500回記念例会
- '02.6 ■ 市内中学校奨学基金送る

2002~03

会長・馬場常正 幹事・大久保敏三

- '02.8.24 ■ 川越市制80周年記念東京六大学野球大会
~26 開催 法政大学優勝
- '02.9.28 ■ 台北西北RC42周年記念式典
~30
- '02.10.8 ■ ファミリー例会 観劇会 帝国劇場「て
るてる坊主の照子さん」、夕食会(品川ブ
プリンスホテル)
- '03.2 ■ 藤井豊三会員RI四大奉仕部門功労賞受賞
- '03.2.25 ■ 川越RAC対話集会
- '03.3.7 ■ 会員奥様方ファミリー会 佐久間旅館
- '03.3.9 ■ RAC年次大会
- '03.4.12 ■ 国際ロータリー第2570地区 地区大会
~13 (尚美学園)
- '03.5.20 ■ 地区大会慰労親睦旅行
~21 (群馬県磯部温泉)
- '03.6 ■ 市内中学校奨学基金送る

2003~04

会長・井上實 幹事・小谷野和博

- '03.6 ■ 地区青少年交換学生リサ・ベス・ゴードン ホスト
- '04.2 ■ 第1グループ都市連合会を主管
(川越プリンスホテル)
- '04.3 ■ ネパール奨学里親制度に協賛
- '04.5 ■ 国際ロータリー第95回大会(関西)に出席
- '04.6 ■ 市内中学校奨学基金送る

2004~05

会長・守屋英之 幹事・落合正治

- '04.7 ■ GSE派遣団員に星野高校武谷氏選出し派遣
- '04.9 ■ 川越プリンスホテルへ事務局移転
- '04.11 ■ 新潟中越地震被災地へ義援金を送る
- '05.2 ■ 川越市民会館に第2570地区がロータ
リー100周年記念碑建立
- '05.3 ■ 100周年記念事業として若狭RC表敬訪
問(市内5クラブで)
- '05.4 ■ 第3310地区(シンガポール・マレーシア)
GSE派遣団員5名受入
- ネパール奨学里親制度に協賛
- '05.6 ■ 市内中学校奨学基金を送る

2005~06

会長・石川昇 幹事・浅海廣

- '05.7 ■ 会報自主制作開始
- 米国オレゴン州友好クラブ 西セー
レムRCを訪問
- '05.9 ■ 台北西北RC創立45周年記念式典に出席
- '06.2 ■ 米山功労クラブ 通算19回目
(米山功労者14名)
- '06.3 ■ ネパール奨学里親支援プロジェクト協力支援
- '06.4 ■ 水村三郎会員「地区超我の奉仕貢献賞」
地区大会特別表彰
- 「会員増強優秀クラブ賞」地区協議会表彰
- '06.5 ■ 台北西北RCマッチンググラウンドに協賛金送金
- '06.6 ■ 市内中学校奨学基金送る

2006~07

会長・阿部好弘 幹事・松本一郎

- '06.7 ■ 地区青少年交換学生・小池遼馬君、ブラ
ジルへ派遣
- 地域密着事業・市内5RCで「小江戸川越
打ち水風情2006」実施
- '06.8 ■ 地区青少年交換学生・エドアルド・ホッテ
君、ブラジルより受入
- '06.9 ■ 台北西北RC46周年記念式典参加
- '06.11 ■ 第18回地区ロータリーアクト年次大会を
東京国際大学にて開催
- 川越RC創立55周年記念式典を川越ブ
プリンスホテルにて開催
- 記念事業として川越市へ防犯パトロー
ルカー1台を寄贈
- '06.12 ■ 米山功労クラブ賞・通算20回目
- '07.4 ■ 地域密着事業・川越プリンスホテルへA
ED1台寄贈
- ネパール奨学里親支援
- '07.6 ■ 市内中学校奨学基金送る



70年のあゆみ

2007~08

会長・立原雅夫 幹事・今泉博

- '07.7 ■ 小江戸川越打ち水風情2007」を市内5クラブ共催で実施
- '07.10 ■ 川越ローターアクトクラブの国際オークション例会に5名の会員が参加し、アクトとの懇親を深める
- 地区日豪青少年相互訪問団員に当クラブ推薦の新井由香さんが選考される
- '07.11 ■ ホームページ委員会より当クラブのホームページが近いうちに開設される
- のことでその概要が発表される
- C L Pにともなう定款、細則の変更および今後の対応について会員の理解を深めるための例会を開催
- '08.1 ■ 立原会長、アメリカのサンフランシスコよりインターネット回線を通じて川越クラブの例会にライブ参加
- '08.4 ■ アメリカケンタッキー州よりG S Eとして5名が来日、ホームステイをして川越市内観光
- '08.6 ■ 新国立劇場にてオペラ「椿姫」鑑賞
- 川越姉妹・友好都市表示モニュメント寄贈
- 市内中学校奨学基金送る

2008~09

会長・大久保敏三 幹事・山崎嘉正

- '08.7 ■ クラブ細則改正によりC L P組織導入
- 星野高校インターアクトクラブの中国四川省大地震チャリティーコンサート支援
- 米山奨学生アシュラフル・エムデイ(バンダラシュ)受入
- '08.10 ■ 川越姉妹・友好都市表示モニュメント完成
- '09.1 ■ 台北西北R C姉妹クラブ締結延長
- '09.2 ■ R A C地区年次大会(於東京国際大学)
- '09.3 ■ 米山功労クラブ表彰22回目
- '09.4 ■ 会員増強クラブ賞受賞
- 「米山学友ホームカミング制度」実施
- 米山奨学生 李美善(大韓民国)受入

2009~10

会長・小谷野和博 幹事・西澤堅

- '09.7 ■ 小江戸川越打ち水風情2009」を市内4クラブ共催で実施
- '09.8 ■ インターアクトクラブ地区年次大会に参加(於狭山ヶ丘高校)
- '09.9 ■ 台北西北R C 49周年記念式典に出席
- '09.10 ■ 川越ローターアクトクラブ、国際オークション例会に参加(於東京国際大学)
- '10.2 ■ ローターアクトクラブ地区年次大会に参加(於東京国際大学)
- 2011~12年度地区ガバナーに立原雅夫氏が決定
- '10.3 ■ 60周年記念の準備として最近の活動状況をDVDにまとめる(I Mにて上映)
- '10.4 ■ 米山奨学生蘭波さん受け入れ
- '10.6 ■ 社会奉仕事業として、川越いもの子作業所に、彫刻「みんなの和」贈呈
- 地区ロータリー財団補助事業として、イスを贈呈
- 市内中学校奨学基金送る

2010~11

会長・浅海廣 幹事・笛木弘治

- '10.7 ■ 「小江戸川越打ち水風情2010」を市内4クラブ共催で実施
- 西川ガバナー・金子ガバナー補佐公式訪問 納涼例会
- '10.8 ■ インターアクトクラブ年次大会に参加(於星野高校)
- 川越R CのH P充実、会報が掲載される
- '10.10 ■ 台北西北R C 50周年記念式典に出席
- '10.11 ■ 親睦ゴルフ大会の実施
- 初の川越市内4 R C合同夜間例会を実施
- '11.2 ■ 川越市内4 R C合同夜間例会を実施
- 毎年の恒例化を約束
- '11.3 ■ 11日に東日本大震災(M9.0)が起こる・義援金を送る 姉妹クラブの台北西北R Cからも義援金が寄せられ、地区へ送ることに
- 震災によりG S E受入中止
- '11.4 ■ 震災により地区大会中止 お花見例会中止
- '11.5 ■ 社会奉仕事業として親愛会(障害者支援施設)に余暇活動推進の為の機材を寄贈



70年のあゆみ

2011~2012

会長・今泉博 幹事・相原茂吉

- '11.9 ■ 立原雅夫第2570地区ガバナー/馬場弘 第1グループガバナー補佐
- '11.10 ■ 台北西北RC創立51周年記念式典に出席
- '11.11.19 ■ 会員夫人懇親会を開催
- '11.11.19 ■ 川越RC60周年記念式典の実施
- '11.11.19~20 ■ 地区大会 馬場弘会員クラブビルダー賞受賞
- '11.11.29 ■ 立原ガバナー公式訪問
- '12.3.13 ■ 第1グループ都市連合会(IM)開催
RIより100%ポールハリスフェロークラブ表彰を受ける
GSEオーストラリアチーム受入
- '12.5 ■ バンコク国際大会へ川越RCより21名参加
- '12.5.26 ■ 姉妹クラブ若狭RC創立50周年記念式典へ5名訪問

2012~2013

会長・山崎嘉正 幹事・石井照典

- '12.8 ■ 青少年交換プログラム
台湾から張喬(JOY)さん受入
- '12.11.27 ■ 創立記念日例会
- '13.2 ■ 日豪青年相互訪問団来川
- '13.3 ■ 熊谷RC60周年式典に出席
- '13.4 ■ 米山奨学生 洪美花(コウミカ)さん受入
- '13.4.20~21 ■ 地区大会で会員増強協力賞・R財団寄付貢献優秀賞を受賞(前年度実績)
- '13.4.30 ■ 3000回記念例会
出席委員会主導でメーカーツアーを敢行
延べ参加人数30名
10月15日 川越中央RC
5月22日 東京RC

2013~2014

会長・西澤堅 幹事・片山幸雄

- '13.7 ■ 事業計画書の改訂
例会に4つのテスト唱和・斉唱、論語朗読を導入
個人担当での卓話実施
- '14.1 ■ 川越市少年サッカー親善大会協賛
- '14.2 ■ 夫人会の開催
- '14.4 ■ 規定審議会に向けて議案検討開始
米山奨学実生 林 鴻さん受入れ
クラブフォーラムの実施
- '14.5 ■ 川越駅西口に川越西・川越中央RC、国際ソロプチミスト埼玉と時計を寄贈
浦和RC60周年記念式典に出席

2014~2015

会長・笛木弘治 幹事・岩堀和久

- '14.7 ■ ホームページ再構築
- '14.10 ■ 2016年規定審議会に向け立法案提出・12月地区大会にて承認「クラブ会員家族の入会金に関する特例」
- '15.1 ■ オリンピック支援協議会の設立
- '15.2 ■ Japanロータリーデー II in台場
C.K.ホアンRI会長と会食
- '15.3 ■ 川越駅西口ふれあい拠点植樹 R財団地区補助金事業
市内4RCとソロプチミスト埼玉
- '15.4 ■ 米山奨学生フォン・シュラーダー、フリデリケさん受入れ
福島親睦旅行(震災復興支援・視察、棚倉町姉妹都市交流)
- '15.6 ■ ネパール地震支援、ガザ事業人道的支援に寄付



70年のあゆみ

2015~2016

会長・相原茂吉 幹事・小高章

- '15.7 ■ 青少年部門を設立(細則の変更)
川越市 オリンピックコンサート2015開催
- '15.9 ■ 台北西北ロータリークラブ55周年式典出席
- '15.12 ■ 社会奉仕事業「小さないのちを大切に」標語板を市内全小学校へ寄贈
家族親睦旅行NHKホールでベートーベン交響曲第9番
- '16.2 ■ 尚美学園大学生を中心に新生川越ロータリークラブ新設
- '16.3 ■ ロータリーの友2016年3月号「わがまちそしてロータリー」に川越RCが特集される
- '16.4 ■ 立原雅夫会員(パストガバナー)が2570地区を代表してRI規定審議会に出席
- '16.5 ■ 熊本地震災害支援2570地区を通じて義援金を送金

2016~2017

会長・石井照典 幹事・水村圭司

- '16.9 ■ 東京RC例会にメーキャップ(65周年招待状持参 11名)
台北西北RC56周年記念式典(65周年招待状持参 10名)
- '16.10 ■ 飢餓救済の為、毎月第1例会昼食の節約を開始
6月に基金30万円を日本国際ボランティアセンター(JVC)パレスチナ現地代表金子由佳さん(2570地区平和フェロー)を通じてガザ地区の子供の栄養改善支援事業に寄付
- '16.11 ■ 「標準RC定款」の改訂に基づき「川越RC細則」を変更
27日川越RC65周年記念式典を実施 3月に記念事業「山崎別邸案内モニュメント」除幕式挙行
- '17.2 ■ 小川RC50周年記念式典に出席
ジェイコムCATVにより川越RC第3172回例会を放映
- '17.3 ■ 川越市新斎場に市内4クラブ共同事業として桜苗木を植樹
- '17.4 ■ 米山奨学生イスカandal・アブドバリさん受入れ
- '17.5 ■ 坂戸RC50周年記念式典に出席

2017~2018

会長・片山幸雄 幹事・坂口孝

- '17.8 ■ 相原茂吉 第1グループガバナー補佐
- '17.8 ■ 九州北部豪雨災害被災者に対し義援金
- '17.10 ■ 川越中央RC創立30周年記念式典に出席
- '18.2 ■ クラブ研修会開催
- '18.3 ■ 第1グループチャリティゴルフコンペ開催
第1グループ都市連合会(1M)開催
台湾東部地震に対し義捐金
- '18.4 ■ 地区大会において前年度会員増強優秀クラブ賞(2位)、
マイロータリー登録者数優秀クラブ賞(2位)受賞
- '18.5 ■ 川越市あけぼの・ひかり児童園へ遊具贈呈

2018~2019

会長・岩堀和久 幹事・石井成人

- '18.8 ■ 青少年交換プログラム
レベッカさん(メキシコ)受入れ(西澤カウンセラー)
工藤由寿さん(メキシコ)派遣
てらこや事業(R財団補助金)協賛 10・12月 段ボールハウス応援
- '18.11 ■ 小江戸川越ハーフマラソン 4RC共同「エンドポリオ」キャンペーン実施
RI第1ゾーン 2017-18年度ロータリーカード・ベストクラブ賞 受賞
- '19.3 ■ 日豪青少年相互訪問 岩堀悠樹さん派遣
- '19.4 ■ 米山奨学生 ファン・ティ・トウイーさん(ベトナム)受入れ(山本カウンセラー)
- '19.4.7~8 ■ 親睦旅行(金沢)
- '19.4.13 ■ 地区大会 会員増強優秀クラブ表彰(半期1位 6名)
- '19.5.11 ■ 社会奉仕活動「0歳からのコンサート・母の日コンサート」実施
- '19.6.1~5 ■ 国際大会参加(ドイツ・ハンブルグ)



会長・藤井潔 幹事・西川孝博

- '19.7 ■ 相原茂吉ガバナーエレクト
- '19.7 ■ ミャンマー共和国「疾病予防と治療」支援プロジェクト(R財団グローバル補助金事業)立ち上げ。ミャンマー大使館訪問 2020年4月補助金申請承認
東京2020オリンピック・ゴルフ競技記念モニュメント制作事業(川越4RC共同社会奉仕連絡協議会)計画開始
- '19.8 ■ 武蔵てらこや事業支援(9.10.11月)
- '19.9 ■ 米山梅吉記念館訪問
台北西北RC59周年記念式典参加
- '19.10 ■ 台風19号関東地方中心に被害甚大
- '19.11 ■ 小江戸川越ハーフマラソン 4RC「エンドポリオ」キャンペーン実施
- '20.2 ■ 川越RAC復活(会長 奥村康崇さん 東京国際大学)
新型コロナウイルス パンデミック(世界的大流行)勃発
- '20.3.3 ■ 第3315回例会を最後に新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大により以降6月第2週まで例会中止
- '20.3.19 ■ 第1G IM(中止)
- '20.4 ■ 米山奨学生ドゥアン・ミー・リンさん(ベトナム)受入れ
- '20.4.6 ■ 親睦旅行(中止)
- '20.4.18~19 ■ 地区大会(中止)
- '20.4.26 ■ 地区研修・協議会(中止)
- '20.5 ■ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため川越市にマスク1万枚を寄贈
- '20.6.5~9 ■ 国際大会(ホノルル)(中止)

会長・鈴木健二 幹事・高橋徹治

- '20.8 ■ 相原茂吉ガバナー
- '20.8 ■ ロータアクト例会再開
- '20.9 ■ ミャンマー大使館 グローバル補助金115台のシリンジポンプ贈呈に対する感謝の盾寄贈式
- '20.10 ■ 地区大会チャリティーゴルフ・川越RC親睦ゴルフ
- '20.11 ■ 地区大会1日開催 於:ウエスタ川越
- '20.12 ■ 4つのテスト携帯カード配布
- '21.1~3 ■ 例会休会 1/7~3/21緊急事態宣言による
- '21.1 ■ 台北西北RC60周年記念式典 ZOOM配信観覧
- '21.2 ■ 会報カラー化
- '21.3 ■ 相原ガバナー公式訪問
第1G IM(中止)
- '21.4 ■ 米山奨学生受入 王艺璇:オウ ゲイセン
- '21.5 ■ 親睦ゴルフ
- '21.6 ■ 台北国際大会 バーチャル開催

座談会

第一部 歴史と伝統 ————— P28

日 時 2021年9月7日
会 場 埼玉りそな銀行 旧川越支店2F 貴賓室 (旧頭取室)
司 会 片山幸雄
出席者 長島 威、伊藤禎二、馬場常正、小杉國武

第二部 川越の経済 ————— P38

日 時 2021年8月31日
会 場 埼玉りそな銀行 旧川越支店2F 貴賓室 (旧頭取室)
司 会 岩堀 和久
出席者 馬場 弘、立原雅夫、藤倉省一、糸原恒久、小谷野和博、原 敏成

第三部 若手メンバー ————— P47

日 時 2021年8月24日
会 場 料亭「山屋」
司 会 栗原雄一
出席者 京野弘一、栗原雄一、山口滝太、山崎共子、松山 潤、島村 拓史、高橋 哲彦

第一部

日付 2021年9月7日

場所 埼玉りそな銀行
旧川越支店2F貴賓室
(旧頭取室)

コーディネーター 片山幸雄

サポート 西澤 堅



司会 本日の座談会は、川越クラブの大ベテラン、そして重鎮の方々より貴重なご意見をいただきます。どうぞよろしく願いいたします。私片山がコーディネーターとして進行役を務めさせていただきます。なお、サポート役として西澤委員長にも出席いただきました。

人会した頃の様子、雰囲気は

司会 5つのテーマに沿って進めようと思っておりますが、まずは最初に、皆さんが人会した頃の様子、雰囲気をお話しいただければと思います。なお、今日の4人の方は、皆さん昭和50年代後半の人会ということでございます。どうでしょう、伊藤さん。

伊藤 私は昭和58年、1983年に入会しました。父が昭和40年に亡くなりましたので、その直後から先輩方から入会しないかと言わ



れたのですが、仕事等があってもロータリーができる状態ではありませんでした。当時増村会長がうちの向かい側でしたので、増村さんと吉崎さんが見えまして、増村さんが、「もうじき俺の年度が終わるんだよ。その間に入ってくれよ」と言われまして、入会いたしました。確か4月か5月頃だったと思いますので、増村年度は2、3カ月しかありませんでした。当時、この3階へ来ますと、あの頃は100人以上いたと思いますが、皆さん入口で一礼して入っていました。ずいぶんきちんとしているんだなと思いました。親睦委員の方がビジター、それから新入の私どもに対して、席とか食事には非常に気を使っていたので、新人で緊張していますので、その辺は大変助かりました。周りを見てもう全部父の友人くらいの大先輩ばかりで。ただ、幸いなことに、ほとんど父の関係ですが、3分の2くらいの先輩に私は面識がありましたので、比較的その点については気楽でした。後で入った方に聞くと、もう半年くらい飯食った気がしなかったよ、砂を噛むようだったよ、なんていうことを言われていましたけど、私の場合はそれほど緊張はしませんでした。席も、この3階の四角いテーブルで、距離も近かったので、皆さんといろいろな話ことができましたし、SAAの配慮で席が2月おきくらいに変わりましたので、いろいろな方とお話できました。

司会 ありがとうございます。次、馬場さん

お願いいたします。

馬場 私は牛窪さんの年度のときに入会させてもらいました。入会するにあたって、例会場へ来たときに、もう川越市内のそうそうたる人たちが大勢いるので、なんか気後れがしたという感じがします。面識があった人は本当に何名もいなかったものですから、非常に緊張していた気がします。ですけど、先輩からいろいろ声をかけていただいて、例会は気楽に出てこいと。それで、いろいろなことを勉強しないと駄目だよという話をされました。私が入る頃は、わざわざ自宅まで来てくれて、いろいろロータリーの話をお聞きしました。ロータリーに入ったら必ず出席するよというのを言われましたが、父親が入っていたものから、火曜日に例会に行くというのはいちの家族はみんな知っていたから、「行きな、行きな」と言われて出席したような記憶があります。例会や親睦の集まりに行くと、あいさつをして、いろいろな話をして、気楽に声をかけていただいて、ロータリーになじめたのかなという気がします。今では一番古い方になってきてしまったけど、入会したときには年齢では若い方から5本の指に入る年齢だったんです。もう入会して今年で38年になるのかな。ロータリーに入って、例会に行くたびにいろいろな人にお会いして、そして気楽に声をかけていただいたり、また仲良くなって、「今度はこういうことをするけど、どうだい？ 出てこないか？」とかって声をかけていただくことは非常に助かりました。ですから、ロータリーというのはやっぱり出席することによっていろいろ毎週お会いして、いろいろな話をお聞きするということができるというのは、ロータリーに入った一番の恵まれたことではないかなと私は今思っています。

司会 4人の中で、小杉さんが年齢的には一番お若いんですけど、逆にロータリー歴が一番長い。ということは、入会年度が早かった。小杉さん、よろしくお願いいたします。

小杉 私は昭和55年に入会いたしました、若干36歳でした。私は今泉パストガバナー



が会長のときに入会いたしました。紹介者が廣澤輝雄パストガバナーと、先代の相原茂吉パストガバナーお2人、そうそうたるメンバーで恐れ

多かったです。おやじがあまり体調が良くなかったので、お前が今度入っていけということで入会させていただきました。最初の例会の前日に相原さんからお電話をいただきまして、新入会員が最初に例会に出るときは紹介者と一緒に行くのが慣例だということで、「明日車で迎えに行くから」と言うのですが、恐れ多くて、私は本当にお断りしたんだけど、どうしてもお迎えに上がりますからということで、次の日お迎えに来ていただきました。もちろん私の家内もおやじもおふくろも総出で門のところまで出まして最敬礼でした。我が家から例会場まではたかだか数分なんですけども、それこそ1時間以上車に乗っているような感じで、すごく緊張しながら着きました。例会場では食事が出ますけども、その日の食事がカツレツだかなんだかよく覚えていないんですけども、フォークとナイフを使う食事で、ともかく手が震えて、本当みっともない、みんなに聞こえるんじゃないかと思うほどカチカチ音がして、食べた心地はしませんでした。あいさつもしなさいということで、たぶんしたと思うんですけども、何をしゃべったか覚えてないんです。ただ、誰か知り合いの方に、歴史と伝統のあるという言葉を一言入れなさいって忠告されたような記憶が薄々あって、それを言ったような気がしないでもないです。今は歴史と伝統なんていう言葉は言う必要がなくて、会員の皆さん個人個人の考えでお話しするのがいい



んじゃないかなと私なんかは思います。それと、一番厳しかったのは、入会してその年、その前からかもしれないけども、川越クラブ全体で出席率が100パーセントなんですよね。1年間100パーセントですよ。たぶん、2、3年続いたんじゃないかと思うんですけども、とにかく欠席はできないということだけは頭にありました。ただ、出席できないときもあって、当時川越南クラブがありまして、必ずそこへ行ってメーカーキャップして、出席率100パーセントを心がけました。とにかく1人休むと誰が休んだということになりますので、ましてや若造の私なんかは休んだりなんかしたら本当ににらまれちゃうと思ひまして、そういう面で、出席だけはもう本当に一生懸命いたしました。ただ、だんだん慣れてくると、やはり大変素晴らしい先輩方がいらっやして、いろいろなことを教えてくださいるので、大変人生経験にもなりましたし、本当にクラブに入れて良かったなというふうに今では思っております。

司会 ありがとうございます。長島さん、よろしいでしょうか。

長島 前のお二方がお話ししたのと同じことなのですが、私もその頃は真面目に仕事をしております、出前を一生懸命行っていましたので、会員の半分は出前の方々のお得意さんで、まいどというのが出ちゃうような感じでした。特に入会して半年くらい後に、「寿司届けられるか？」と言うから、「はい。まあ



せいぜい30人前くらいだったら」と、寿司とちらし寿司を分けて届けたりして。それもありませんでしたので、例会の時間というのは、半分従業員と一緒に出

前をしたりしていましたので、これから例会ですという最初のゴングはあんまり聞いたことがないような気がいたします。

一番記念に思っているのは、今現在蔵造りの町並みとして観光地化しているこの町並みでございますね。その当初つくったというか、県の基準と一緒にもらった。最初は3軒くらいだったけど、年間5軒という枠組みがございまして、5年間続けて25軒、それなりに町並みに合わせた蔵造り風の建物が増えてきました。それが今現在につながって、観光地化になっているというのが、当時の活動でございました。

川越クラブの会員であることに誇りを感じた時は

司会 どうもありがとうございました。それでは次に、川越クラブの会員であることに誇りを感じた時はありましたか、どんな時でしょうか。

伊藤 入って何年かしてから、委員長、あるいは副委員長等をやって、地区のセミナー等に出ることが結構あったんです。その時に、必ず川越クラブは最初に指されるよと。確かに一番最初に、「これこれについてどうですか？ じゃあ川越クラブの伊藤さん」って来る。ああ、これがやっぱり古いクラブのあれなのかなと。ですから、セミナーに行くときは最初に指されますので、何を言うか、セミナーの内容をちょっと頭に入れて行ったものです。川越クラブさんということで、どんなところへ行っても、まず最初どうぞというのがあって、誇りではありませんけれども、それだけの伝統があるんだなという感じはしました。

馬場 伊藤さんがお話をされましたけど、私もやっぱり入会してある程度年数が過ぎてくると、役をやるようになって、地区の方の集まりに行くと、必ず一番最初、「川越さん、ご意見いかがでしょうか」と言われる。ですから、行く前にいろいろ準備をしていかないと、そこへ行って戸惑うことが多いんじゃないかなと思ったんです。ですから、やっぱり川越クラブは埼玉県でも一番古いというので、皆さんが一目を置い



て、集まりやなんかがあっても話をされるので、非常に緊張するということもおかしいんですけど、そういうことが多かったような記憶があります。

司会 小杉さん、いかがですか。

小杉 私は川越クラブの会員であるということと同時に、ロータリアンということに誇りを持つことができたということがありました。それは個人的な話なのですが、今からもう27、8年前に、家内とオーストラリアに旅行に行ったことがありまして、夜ホテルから予約を取ってもらって、レストランで食事をしたんですけど、手荷物を忘れてきてしまったんです。翌朝になって、そういえばカメラ等が入っている手荷物を忘れてきちゃったなと思って、そのレストランが開店する夜の6時頃受け取りに行ったのですが、そのとき向こうのスタッフに事情を言ったら、「身分証明書はないのか」と言われまして、ちょうどパスポートを持っていかなかったんです、そのときに。スタッフは、それじゃあ渡せないということで、頑として話がわからなかったのですが、そこに、オーナーらしき方が出てきて、そのスタッフと話した後、私のところへ来て、私のこの（ロータリーの）バッジを見たんですよね。そしたら「あ、お前ロータリアンか」ということで、スタッフの人に、「返してあげなさい」と無事返してもらったことがあるんです。残念ながら日本では、ロータリアンだということ、すごく信頼されたり、そういうことってほとんど感じたことがなかったのですが、やはり海外でロータリアンというのが大変素晴らしい人になっているというイメージが強いんだと思

ました。それで私は本当にロータリアンになって良かったなというふうに思えたということです。川越クラブの会員としてではないのですが、ロータリアンとしてそういう誇りを持つことができました。

司会 ありがとうございます。長島さんは地区の役員で、世界遺産登録推進委員会の副委員長を2期ですか、3期ですか。そのこともよろしければお話しいただければ。

長島 全体では3期3年だと思うのですが、役をいただいたのは2期です。埼玉新聞の相談役の方ですとか、いろいろなお偉い方々が、相談役、顧問役になっておりまして、その方も含まれて、当時行田の古墳を、国の指定にならないかという運動を主にしておりました。その視察ということで、境の大仙古墳のところを2カ所ほど回りました。大仙の方が仁徳陵の古墳ということではなかったかな。その辺をやると、調べられないところはみんな宮内庁が関与していて、入りきれないんです。そんなことで、大仙古墳を外側からですけども、ぐるんと一回り周って視察したことがございます。その運動をどんどんつなぎまして、世界遺産に登録されました。他地区のロータリーの方々とお話をすると、まず真っ先に「川越ロータリーさんは」と言われまして、一目置かれるというか、そんなことは私ら若造にとってはないことだったんですけど。これは申し訳ないという形で、「皆さんお先にどうぞ一言」なんていうことが何度かございました。こういうのが川越ロータリークラブの会員であるということの誇りだったのかなと思います。

あとは友情と修練。私はもう年齢が80歳に近くなってきましたので、終活ということで、どうしたら今現在の方々の、特に3年未満の若い方々、40代から50代前半の方々、この方々の前任地のお話などを聞いて、友情と修練を深めたいと思っております。

会長や役員に就いて困ったりしたことは

司会 ありがとうございます。次は、会長



や役員に就いて困ったりしたこと、ですが、平成14年、川越ロータリーから牛窪栄吉ガバナー。その年度の会長が馬場さんです。そのお話がありましたらお伺いしたいと思います。

馬場 私が会長になる直前になって、牛窪栄吉さんがガバナーを、地区の方でいないのでやるというのを振ってはいたような。もう7月から年度が始まるんですけど、前の年の10月頃になって急にそういう話が出て、戸惑いました。ですから、ガバナーが出てたときの会長というのはどんなことをやったらいいのかというのを、先輩の人に聞いて、いろいろ、そのときに伊藤さんが地区幹事をやってくれて、地区大会のときには幹事さんが地区大会の実行委員長か何かをやってくれたんじゃないかな。そういう意味で、皆さんがいろいろ役割を分担してやっていただいているから、私もたまたまそのとき会長という役ですけど、本当にそんなに苦労しないですよとか、皆さんがやってくれたので助かりました。ですから、やっぱりロータリーの友情と言うか、そういうのに恵まれているんじゃないかなと私は思いました。

司会 そのときの地区幹事が伊藤さんだったというお話が出たんですけど、伊藤さんいかがでしょうか。

伊藤 牛窪さんがガバナーノミニーになりました。ですから、ガバナー年度の前の年の2月くらいだったでしょうか。牛窪さんから呼ばれて、俺がガバナーをやるからお前地区幹事をやってくれと。地区幹事は私も見ていましたので、これはもうとてもじゃないけどできることじゃないと思ってお断りしたんですけども、その後再三、今泉パストガバナー、それから川越高校の先輩の所沢のガバナーになった人、幼稚園をやってる先輩たちが、例会日に来て待っていましたね。口説かれて。かなり長いこと迷ったのですが、もうとても断れないということでやりました。そのときは馬場さんが会長で、牛窪さんというのはもうなんでもかんでも全部知っていますので、非常に意見が鋭く出てくるんです。すると、地区の部門委員長あたりから反発が出

まして、私のところへポンポン跳ね返ってくるんです。ただ、牛窪さん、かなり押しが強かったんで、何かというと、私、後ろへ隠れているとなんとか頭の上を風が過ぎていくなという気がしました。一番大変だったのはやっぱり地区大会ですね。可児くんが実行委員長、大会幹事が阿部さんだったかな。できるだけ手づくりでやるということなので、何度も何度も夜遅くまで、時には9時10時頃までやり方について相談して、決まったことを翌日牛窪さんに伝えますと、「それは駄目だ。こうしろ」と言われる。それをの地区大会の皆さんに伝えると、相当反発が来しました。私が牛窪さんに「偉い方なんだから、実行委員会にお任せして、どうしてもしょうがないときだけ言ってくださいよ。皆さんが一生懸命どうやったらいいかということをやっているんだから」と言ったんですけど、わかったと言ってもまたすぐ、一生懸命決めたことが翌日になるとひっくり返っちゃうというのが。それでも皆さんが大変協力していただいて、私としては成功に終わったと考えていますので、牛窪さんの年度に対してはいろいろありましたけれども、地区大会が一番印象に残っています。

司会 ありがとうございます。今馬場さんと伊藤さんは、牛窪ガバナー年度のお話だったんですけど、本題の会長役員に就いて困ったりしたことはということでは、小杉さん、いかがですか？

小杉 私は会長も幹事もやっていないんですけども、今は五大部門という、五つの部門に分かれて、その下に委員会があるんですけど、昔は社会奉仕、クラブ奉仕、職業奉仕、国際奉仕の四大奉仕ということで、その四大奉仕の理事は何回かやらせていただきました。職業奉仕の委員長を仰せつかったときに、職場訪問というのをやりまして、鏡山の竹内会員のところで職場訪問をさせていただきました。酒蔵とか、いろいろ見学させていただいた後に、利き酒をやらせてくれるということで、みんなで作ったんですけど、利き酒のやり方がわからなくて、けっこう飲んでいる

人がいて、後で竹内さんに、「酒屋に見学に来るのになんで車で来させるんだ」と怒られたことがありました。

それから、もう一つ大変だったのは、会報委員会。私が入会してすぐに、「ロータリーを知るためにしばらく会報委員会に入れ」ということで、3年間会報委員会をいたしました。今と同じように、テープで録音をして、それを原稿に起こしていたんですけども、その当時は卓話も全部原稿に起こさなくてはいけなくて、時々専門用語が出てきて、よくわからなくて、何回テープを聞き直しても意味がわからなくて、結局しょうがなく平仮名で書いたんです。平仮名で書いて、原稿を印刷屋へ出して、出来上がったらちゃんと漢字で返ってきて、あ、こういうことなのかということがありました。会報委員会はその後4年目から委員長を仰せつかったのですが、ガバナーの公式訪問も、今と違って各委員が全部しゃべるわけです。全委員会が。そうすると、かなりの量なんですけども、それも次の週の火曜日までに印刷を仕上げなきゃいけないということで、火曜日の夜かかって、水曜日の明け方くらいまでかかって、聞きながら、全部原稿を起こして提出したことがありました。そうやって出して、けっこう先輩方に、ここはこうじゃなかったよというふうに注意を受けたことがありまして、やっぱり先輩は物事をよく知っているし、よく会報なんかも見ている人が多いんだというふうに、すごくありがたく、また感心したことがありました。

司会 小杉さん、私もその体験、まったく同じです。では長島さん。

長島 退官した父の遺言ではないのですが、ロータリーのお役は受けるなよということを言われていました。私は副会長を1回やっただけで、他の大きなお役はやっておりません。ですから、お役の方の組織のことについてはお話がないのでございますが、その内の思い出に残る委員会が米山です。これはまだ入って3、4年目くらいですから、まだ40代の中間くらいだったかな。まだ青年会議所の気分が残っているような時代でございまして、当

時米山梅吉さんのお墓もうが一種の慣例化しております、そこに行くのが1泊旅行だったんです。伊豆に泊まったり、箱根に泊まったり



という形で。それで、1回目の伊豆のときに、夕食が終わった後に懇親会になって。学生が10人ちょっといるところなのでございますけど、お2方が論争を始めまして。ウイグル地区の方と、北京の方。どういうことかという、なんとなく今のジェノサイドのウイグル論争、あれの芽ではなかったかと思うのですが、漢人、中国人の北京の方、女性だったのですが、そういうことにはあまり関心がなくて、常識的なお話しかしなかったんですけど、それにウイグルの方が噛みつきまして、非常に、そんなこと話し合いじゃ、論争じゃ大変だよというので、こっちはただなだめるだけという感じだったのですが、それが非常に記憶に残りまして、自分も少し勉強しなくちゃというので、ロータリーの友の委員を次の年度、おやじの遺言に反して手を上げました。

己の人生でロータリーの功罪は

司会 ありがとうございます。次は己の人生でロータリーの存在が、ご自身の評価、そしてご子息の評判ということがあると思います。私、思い出しますのは、特にご子息の評判ということを考えてときに、今泉清詞会員の言葉で、息子の入会がないじゃないかと。評価が高けりゃもっと自分の息子をロータリーに入らせたっていいじゃないかと、こういうことを何度も聞いてきております。そんなこともありますけども、長いロータリー歴の中で良かったとか、悪かったとか、お考えが



あると思いますので、お伺いしたいと思いません。

伊藤 今片山さんがおっしゃった、今泉さんが、お亡くなりになったりして退会された会員の息子さんの入会がないじゃないかということがありました。私が見ていて、偏見かもしれませんが、一生懸命、会長、あるいはクラブ幹事、それから部門委員長をやった方の息子さんが案外入らないと。それを見ていると、仕事に差し支えたのかなと。本当は一番入っていただきたい方に、そういう方が、はっと思っただけでも何人かいらっやいます。お父さんが社長で、息子さんが専務、あるいは常務で、一緒に仕事をやっているときに、ロータリーで仕事をつぶしたのを見て、あれはとてもできないと思ったのかわかりませんが、そんなことで、やはり家族との理解とか、そういうものがやっぱり大事なんだなと、そんなふうに思いました。本当は、そうすると、息子さんが入ってくだされば、旅行とか、クリスマス会とか来た方もいらっやるので、雰囲気が一番よくわかっているわけなのですが、そのへんがちょっと残念だなというふうに思いました。

今泉さんはよく言われていましたけど、いいことは、普段はトップクラスの企業の方で、秘書室を通じてアポを取らなきゃお会いできないというような方が、例会へ行きますとすぐつないで、ちょっと雑談もできると。これはすごいことでした。仮に電話をかけても、「川越ロータリーの誰々です」と言うにつないでいただけると。そのへんは大変、ロータリアンとしての、それからいろいろな皆さんお仕事を持っている、仕事についても、いいんではないかなと思っています。

司会 ありがとうございます。馬場さん、お願いいたします。

馬場 私、ロータリーに入会させていただいて、1年くらいしたときに、赤心堂の市川先生に、「お前、ゴルフやらないのか」と言われて、「やるんなら一緒に行ってやるよ」と言われて、一番最初、本当のゴルフを始めたときに連れて行っていただいた記憶があるん

です。それで、そのときに、ゴルフというのは非常に歩いて、疲れて、容易じゃないから、こういうゴルフをするのはもう金輪際やめようかなと思ったんですよ。ですけど、帰るときに、「今日はだいぶ疲れたようだから、夜少し慰労してやるから出てこい」と言われて、食事を誘われたのを記憶しています。あと加藤寿一さんに誘われて、商工会議所のゴルフに行ったとき、たまたまホールインワンが生まれて、楽しい思い出ができました。あと牛窪さんとは夫婦でよく食事に行こうとか、旅行に行こうかと、けっこう旅行に行く機会に恵まれました。やっぱりロータリーに入ったから、いろいろと誘っていただいたり、そういう機会がめぐってきたのかなと思っています。

ロータリーに入って苦労した点というのは、毎週火曜日というのはきつくて、火曜日の12時半からというのは決まっていたから、それはもう必ず行くようには心がけていて、出席できなかったときには、よく南クラブとか西クラブへ行った記憶がございます。ロータリーへ入ってから、いろいろと恵まれて、楽しい思い出も思い出の中にたくさんあります。やっぱりロータリーへ入ったことによって、人生というのがそういうふうにも恵まれて、豊かになってきたのかなという気がします。

司会 ありがとうございます。小杉さん、お願いします。

小杉 私も歯科医師会という狭い社会で仕事をして、あるいは生活をしてきたものですから、ロータリークラブに入れていただいたことによって、普通ならお付き合いできないような方々とお付き合いしたり、知人、友人がたくさんできたりとかということで、大変私としては財産として残っております。それから、卓話等々で、やはり多くの知識を得ることができました。ほとんど、私なんかも、自分の仕事のことの勉強しかしていませんので、やはりいろいろな方の面白い話を聞かせてもらっています。先日小高会長が、出席は義務じゃなくて権利だとおっしゃっていましたが、まさに私も権利だと思って、毎回卓話は楽しみに、自分の財産になるものだなと

思って、聞かせていただいております。
 それから、もう一つは、奉仕活動ができたということ。我々の業界でも、災害等々があれば寄付金を募って義捐したりとか、その程度はやりますけども、やっぱりロータリーのよう
 に人との交流、例えば若い人材を海外から呼んで、こちらからも派遣してという交流とか、あるいはかつてやっていたけど、フィリピンの井戸掘りとか、普通我々の業界ではできないような、そういう奉仕活動がたくさんありまして、お金だけじゃなくて、やっぱり心
 の問題とか、そういう奉仕活動もありまして、私はそういう面では、歯科医師会の中で生活をしていたらそういうことは一切
 できなかったんじゃないかなと思っていますので、そういう面では自分の財産としてこれからも持ち続けていきたいなと思
 っております。
司会 ありがとうございます。続きまして、長島さん。

長島 例会以外のことで今小杉さんから奉仕ということが出ましたけども、ロータリーの森の草取りですかね。これはずいぶんと、今の石井さん
 から誘われてよく行きました。それと、私はこの一番街の商店会長をずっとやっておったのですが、このロータリークラブ
 でやったことで、打ち水というイベントが毎夏ございまして、それは非常に良い、川越に合った風情だなと思
 っております。いつの間にか中止になってしまっていて、それが一つ、地域の奉仕活動の中の柱として残念な
 ことでございました。

川越クラブの将来像を想う

司会 ありがとうございます。最後になります。川越クラブの将来像を。それでは小杉さん、お願いいたします。

小杉 将来像ということではないんですけど、今私、ロータリークラブに出席させてもらって感じていることは、ロータリーは出席をずいぶん重視
 しておりますし、それから、数を重視しております。数は力なりということはいえますけれども、私、見ていま
 して、やはり入会されてもほとんどロータリー

に出てこない方もいらっしゃいますし、ロータリーはなんぞやということも知らない方も
 いらっしゃいます。もちろん入会して早々にオリエンテーションを行って、勉強会をされているようなので、それなりには多少ある
 と思いますけども、やはり入会する前にロータリーについて、もう少し知ってほしい。そのためにはロータリークラブをもう少しア
 ピールする場がほしいと思っています。川越でも、周りにいる人で、ロータリーはどういうことをやっているんだということ
 を知らない人がたくさんいらっしゃるの、やはりロータリーがどういうものであるかということを知って、ロータリー
 クラブに入りたい。やはり入っても辞めちゃうし、欠席がちな人がずいぶんこのところいるんじゃないかと思
 っております。ですから、紹介するにしても、やはり紹介者がしっかりとロータリーとはなんぞやということ
 を知らしめて入会してもらって、ここにいらっしゃる皆さま方みたいに長くロータリーにとどまって、奉仕活動
 にご尽力いただける人に入ってもらいたいなというふうに思っています。今はなんでもかんでも、熊谷と上だ下だとか、そんな
 ことを言っていることがちょっとおかしいかなと、私なんかは思っております。

もう一つ、奉仕活動の問題としては、ポリオなんかもずいぶんもう世界的にやって、終息に近いというふう
 に聞いておりますけれども、今後は環境問題でしょうか。川越クラブだけではできませんし、日本だけでもできない
 ので、世界的な規模でやらなきゃいけないんですけど、何年前のRIの会長も言っていました。地球温暖化とか、プラスチック
 の問題とか、いろいろあって、それが原因でいろいろ大変なことになっているところもあるわけですから、やはり10年、20年、30年、40年、
 ずっと長いスパンで、これからは環境問題について、RIのロータリーがみんないろいろなその点について考えていかなければ
 いけない。その中で、川越ロータリーはどういうことができるのかということを考えながら、今後やっていくことも大事なのかなと



思います。

司会 ありがとうございます。長島さん、お願いします。

長島 この間100人目、もう1人でございます、なんていう形で、ロータリーの会員のことでおっしゃっていましたが、本を見ると、牛窪栄吉年度の前後10年間は104、5人から108人くらいと、ほとんど100人を超えていたんですね。それから、分かれて、南ロータリークラブができたりして減ったのではないかと考えておりますけれども、やはり今4ロータリーというのがある、非常に川越だけが100人というのも難しいかなという時代かなと思いました。

これからのロータリーという形でいうと、京都のロータリークラブで会員の方とお話ししたことが非常に頭に残っておりまして、京都の方が、よそから来た方を非常に大事に、特に東京と同じで、京都に一流、全国区からの支店長をなされた方が、やはり支店長として京都に入るという方が非常に多くございまして。そういった方々を、転石会議というような、京都では言うんでございます。川の流れの石の転がりのように転がって、非常に知識を深めてというようなことで、そういう方々のお話を聞こうじゃないかというのがございました。先ほども、卓話というお話が出ましたけれども、そういった方々の卓話を、転石会議の方々、いろいろな上場企業でも、大企業の方々の前任地、土地柄でありますとか、土地の歴史であるとか、そういったお話を主にしてもらってお話を聞くのも楽しいかなというふうに思いました。友情と修練という形の中の一環として、そういうふうな方々を卓話の講師にお招きするというのも一つの案かなとは思いました。

司会 ありがとうございます。馬場さん、お願いします。

馬場 私も入って、ずっと見てきて、あんまり会員の増強増強で数が多くなってきているのがあるのかなと。先輩に、川越クラブもある程度の人数が適正なんじゃないかという話を聞いたこともあるんです。ですから、やっ

ぱり入会していただく人に、川越クラブをこれから背負って立つようなというとおかしいんですけど、ある程度ロータリーについての知識を持っていただいて、真剣に会員として毎日の日々を送れるような人に入っていた方がいいんじゃないかなという気がしているんです。ただ会員だけというのではなく、やっぱりロータリーというのは自分を磨いて、職業を磨いて、そして奉仕をするというのがロータリーの精神じゃないかなと思っておりますから、会員になる人を推薦する人にも、その人の人柄をよく理解していただいて、人選していただいて、推薦いただけるのがいいんじゃないかなと私は思っています。

司会 ありがとうございます。最後になりますが、伊藤さん、お願いします。

伊藤 出席のことが出ましたけれども、ほとんど出ただけでない方も何人かいらっしゃいます。やはり人数が多いのはいいことですが、一番大事なのはやはり質かなと。それは、特に出席は義務でもあり、権利でもあるのですが、これはやはり推薦した方が、「何しろ出席だけはしてくれよ」ということはぜひ強く言って、出ただけじゃなかったら推薦者の方が、「義理でもいいから俺の顔を立ててもらって出ろよ」とか、そのへんを言っていただければいいかなと。出席しないで会費を払って食事をしなければ、経済的には一番いいんですけど、そういうものではありませんので、そのへんもやはり、推薦者は推薦者の責任を感じていただきたいと思っています。

将来像といいますか、いろいろなことでやっていただきたいのは、今年はコロナがありまして、例会もできませんでしたので、いろいろな会員同士の交流もないし、旅行もできないしということですが、我々が出席するためには家族の理解が必要ですので、ファミリー会をぜひやっていただけたらなと思います。一番印象に残ったのが、やっぱり遊ぶことなんですよ。旅行とか、ゴルフとか、特に1泊旅行なんかで、宴会をやって、そこで泊まって、一緒にお酒を飲んだり、いろいろな話をするというのは、炉辺会合以上にすごい。できる

よくなったらぜひやっていただきたいなど。それから、さっき職場訪問の話が出ていましたが、これが会員の方がどんなことをやっているのかというのが、非常によくわかりました。思い出すのは、おせんべいの工場や靴をつくっている、ヤマムラさんだったかな。靴のかかとをつくっている工場や、今の鏡山さんも行きました。そういう、職場を見せていただいて、そこでみんなで、社員食堂でお弁当を食べて、このへんも大変親睦、お互いわかり合ういい機会じゃなかったかなと思っています。できましたら、ファミリー会は今年入りましたけれども、職場訪問等もできたらいいなど、そんなふうには思っています。これは全然違う話ですが、例会というのは、本来は会長が全部仕切るもので、SAが司会をやって進行するものじゃありませんので、今年の小高さんは、小高会長が全部仕切ってやったと。これは大変いいことだなと、それが私は本来の姿だろうと思っています。

司会 ありがとうございます。これをもち

まして、一応テーマ五つ終わりました。想定した以上に、豊富な内容のお話が出まして、さすがだなと。それから、皆さんのお話の中で、歴史と伝統。そこの高みのところにある目標だったのですが、お話の中に随所にその部分を、その言葉の中に感ずることができたのではなかろうかと。もっと言いますと、今日の座談会の皆さんは、存在自体が歴史と伝統ではなかろうかなということでございます。西澤さん、総括をお願いいたします。

西澤 歴史と伝統と格式のある素晴らしい建物の中で重鎮の方のお話が聞けて勉強になりました。

ロータリーが人生に彩りを与えている事が良くわかりました。

貴重なお話ありがとうございました。



埼玉銀行と川越ロータリー

元埼玉銀行職員

堀尾泰崇会員のお母様 堀尾和枝様

この度は、川越ロータリークラブが創立70周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

私が埼玉銀行に入行して最初の仕事は、川越ロータリークラブの会場の準備でした。

座席の配列はもちろん、テーブルの湯飲みの位置、おしぼりの位置、お懐紙の位置等すべて細かく決められていました。お茶とおしぼりは開会の3分前にお出することも決まりです。緊張のあまり手が震えてお茶をこぼしてしまいそうになったこともありました。

そのような時は、先輩から「ここに居らっしゃる川越ロータリーの方々には、川越の上層の方々ですから絶対に失礼があつてはいけません」と、それはそれは、きつく言われたものです。

そして毎週お出されるお菓子を亀屋さんに買いに行くのも私の仕事でした。当時の亀屋さんの奥様にかわいがって頂いたのが、大変うれしかったのを思い出します。お上品でお優しい方でした。

未筆ではございますが、川越ロータリークラブの一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念申し上げます。



第二部

目付 2021年8月31日
場所 埼玉りそな銀行
旧川越支店2F 貴賓室
(旧頭取室)

コーディネーター 岩堀和久
サポート 石井成人
野溝 守



馬場 弘 立原 雅夫 藤倉 省一 糸原 恒久 小谷野 和博 原 敏成 岩堀 和久

テーマ「越えていこう、川越」・ ロータリークラブとSDGs

司会 本日の座談会は、我がクラブのベテラン会員の方々に川越の社会、経済、そして町づくりの変化について語っていただくという内容です。変化ということですので、現在、過去や未来について話していただくことになるかと思えます。皆様には、二つのテーマについてお話しいただきます。一つ目は「越えていこう、川越」について、二つ目はロータリークラブとSDGsについてお聞かせください。よろしくお願いいたします。

越えていこう、川越

司会 まず、「越えていこう、川越」から入りたいと思います。「越えていこう、川越」の活動は、小江戸観光協会によって発案され、川越市や商工会議所の協賛を得て1,500枚ものポスターが作られました。今日も皆様の後方に、各企業様、埼玉りそな、商工会議所、観光協会のポスターを飾らせていただいております。『越えていこうの「越」という字は、まさに苦難を越えていくということ』とは、氷川神社の山田宮司のお言葉ですが、川越はこれからどのように苦難を越えていくのか、皆様のお考えをお聞かせください。それではまず、この活動を発案いただきました小江戸観光協会の糸原様に、「越えていこう、川越」

のポスターについて、またその反響等についてお話ししたいと思います。

糸原 このポスターですが、昨年、小江戸観光協会の副会長である氷川神社の山田宮司から提案がありまして、役員会で諮ったところやってみようじゃないかということになりました。今以上に落ち込んでいる、そんな世相の中だったのでございますが、商工会議所の立原さんをはじめ、多くの方からご協力が得られました。半分不安はありましたけれど、一度スタートしてみますとたいへんな反響で、多くの企業や個人様にご参加いただき、今日のような明るい雰囲気運動として認知されるようになりました。自分の会社やお店の独自のポスターを制作できる。そこに同じロゴを入れて、川越が一丸となってこの状況を脱する。そういった大きな力がみんなにあるのだと。将来は必ずまた新たな発展の道を辿れるのだという希望を持ってもらうことができましたようでございます。

司会 ありがとうございます。振り返りますと、2011年に東日本大震災が起り、当時ガバナーエレクトとして対応された立原会頭におこしいただいていただいております。今年度、相原（茂吉）ガバナーもコロナの影響をたいへん受けたわけですが、10年前を振り返りまして立原

さんにお話ししたいと思っています。

立原 2011年は、3.11、東北の大災害があったわけですが、ロータリーにとってもやはり日本中でそうした波を受けて、苦難の1年間でした。当時、小谷野さんに地区幹事をやってもらっていたんですけど、確かにロータリーがいろんなことを考えさせられた時代ですね。



今年はコロナで、今度は世界レベルですけども、オリンピックもそうですけど、ロータリーを含めた多くの組織で、あの時と同じようにいろん

なことを考えさせられた1年であったということですね。「越えていこう、川越」のポスターを眺めながらこれずっとありますけど、今、デジタルの時代に、これはどちらかというとアナログなんでね。これがまたいいわびさびを持っているんだよね。[笑声] 山田君もそうかもしれないけど、このデジタルの時代に、これがやけに新鮮に見える時がある。だから、これはこれで面白い。スローガンが一つだということが、すごく大きなメリットを出しているんだよね。写真は違っていても目的は一つだよというコンセプトで進めていて、アナログの新しいかたちだと思っています。

司会 当時、小谷野さんには地区幹事として頑張っていたわけですが、当時を振り返って思い出を語っていただければと思います。

小谷野 私は地区幹事としてお手伝いをする立場でありましたので、3.11の時、先頭に立ってロータリーとしての対応をされたのは立原さんでした。立原さんは見事にリーダーシップを発揮され、地区内をまとめ、被災された方々の支援を実行されたということを感じています。

司会 ありがとうございます。先日、武州ガスの原さんから「越えていこうは、今だ」というご発言をいただきました。原さんとしてはいかがですか。

原 このポスターを作り始めた時、本当にいい言葉を使っているなと思いました。いろいろところでこのポスターを見る機会があったんですけど、皆さん本当にデザインがいいんですね。それはやっぱり各会社さんが、本気でそういうことを考えて対応されたということかなと感じております。まだ新型コロナウイルス感染症が収まっていない状況なんですけれども、川越という街は、その中でも何とか越えていける感じがありますので、やっぱり力強い街なんだなと思っております。いろんな人がいて、リーダーシップを取れる人がいて、川越という街は成り立っているんで、そういう人材が豊富というところが川越の強さなのかなというような気がしております。

司会 馬場さんは、30年前の「川越蔵の会」の立ち上げ時から街づくりの活動に携わってこられました。いろいろなお苦勞があったと思います。過去を振り返って、少しお話しただければと思います。

馬場 そうですね。当時は私も若かったですし、いろんな会や市の行事のほとんどは、父親ぐらいの年代の人が牛耳っていて発言ができなかった。だから、若い人たちがいろんな意見を言える場所を作ろうじゃないかと。1人や2人じゃ駄目だから何人か集まって、いろんな考えを行政とかへ進言していこうということから、昭和58年に「蔵の会」が始まったんだと思います。(あの頃の私たちが「蔵の会」をつくったように)今、この「越えていこう、川越」が出てきた。ロータリーとすれば、これに負けじと何か考えた方がいいんじゃないかな。「みんなで越える川越」とかね。いろんな団体がこういうことを考えていけばいい。今、川越には、原さんのように優秀な人材がたくさんおりますから。川越は、すぐ伝統だ、文化だと言いますが、その伝統や文化が町づくりに十分生かされていないと思います。川越の伝統をどういうふうに生か



して町づくりをやっていったらよいかをもっと考えてもいいんじゃないかなと。特にロータリーは。皆さん、そういう人がいますから。

司会 今、馬場さんから「みんなで越える川越」と話されたように、先々を見渡して、どんな言葉がロータリーから発信されるか楽しみでございます。藤倉さんの会社は、「安全・親切・夢空間」という素晴らしいスローガンをお持ちでして、その辺について語っていただければと思います。

藤倉 私の会社のモットーと言うのですかね。「安全・親切・夢空間」。これは仕事柄、まず安全だと。サービス業ですから、お客様に対して親切に。そして、楽しい場所を提



供するという意味で夢空間を会社のポリシー〔方針〕として掲げました。川越は古い街ですから、いろんな歴史や伝統がある。先ほど馬場さんが

話されたように、古いものを現代にマッチした形にしてこの街を盛り上げようと、私も一生懸命やっております。川越は、火災にも遭ったし、いろんな疫病とか。これまでの経験から、川越は絶対越えられると。そういう意味合いも込められているのではないかと考えております。

司会 川越は観光の街でありますので、そういう意味では、藤倉さんの会社は、川越の経済を支えてこられたといっても過言ではないと思います。そうしたプライドについてもお聞かせください。

藤倉 あまりプライドはないですが。〔笑声〕川越の街に恩恵を受けているというのが正直なところです。川越まつりが2年連続開催できませんでしたが、来年は市制100周年なの

で、この川越の街を盛り上げるためにも盛大にやっていただければ、観光も非常に盛り上がっていくんじゃないかと思っています。川越にはいろんな行事がありますけれども、それらを皆さんと協力して盛り上げながら、大勢の観光客に、楽しい空間を求めて川越に来てもらいたいと思っております。

司会 ありがとうございます。今年はコロナで暗い話題が多いのですけれども、川越としては、霞ヶ関カンツリー倶楽部でオリンピックゴルフが男女ともに開かれて、素晴らしかったと思います。その点につきまして、立原さんにお話しいただければと思います。

立原 いろんなことが話題になりましたし、今後の課題もいっぱい残ったオリンピックだったと思います。話題でいきますと、オリンピックフラッグ。川越商工会議所がオリンピック組織委員会と交渉しまして、日本で初めてこの旗を商店街で使用することを認めていただきました。今までは公共的施設にしか貼れなかったものを商店街に貼れるようにした点で画期的なことです。この旗を川越が貼ると、翌週にはもう丸の内に貼ってありまして、その後北海道から沖縄までどこの街にも貼られていて。これについては川越商工会議所も表彰状をいただきまして、とてもうれしく思ったんですね。残念なのは、無観客ということでした。ただ、テレビ中継では、霞ヶ関がとてもきれいに映っていたし、川越という地名が何度もテロップで紹介されて、世界の人たちに川越のことを思い出してもらえるコマースベースができたんじゃないかなと思います。この経験をオリンピックレガシーとして川越の街にどうやって残せるかということを会議所でも検討していきたいし、ロータリーの皆さんにも協力いただいてレガシーを作っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

司会 小谷野さんの「僕は川越のど真ん中で商売してきたんだ。」という言葉が、とても良いと思うのですが、商人としての誇りを持ちながら、長く川越を見つめてこられた小谷野家として、お話しいただければと思います。

小谷野 今日は、奇しくもこの座談会が、埼玉そな銀行の旧川越支店の支店長室で開催されるということで、本当に光栄に思います。明治6年、渋沢栄一の勧めにより川越の豪商たちが国立銀行設立を請願、出資をして、明治11年に八十五銀行を設立したとのこと。その豪商の1人が亀屋の山崎豊さんです。そうした中で、この建物ができて100年ちょっと経つわけです。昔はここが本店の貴賓室で、この部屋に渋沢栄一の自筆の扁額がかかっていたんです。「順理則裕 [りにしたがえば

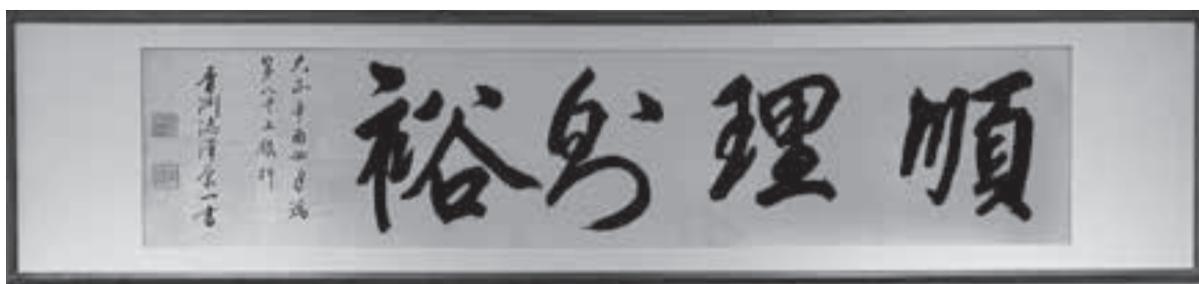


すなわちゆたかなり]]と書かれていて、渋沢栄一の座右の銘だと言われています。この言葉は、川越商人の生き方そのものを表している言葉だと思っています。ただ欲だけで、自分が儲ければよいという考えで商売をしている人は、川越商人の中にはいないんじゃないかと思っています。街のため、国のため、社会のために役に立つことで、その見返りとして利益がいただけるという利他の精神にも置き換えら

れると思います。川越の豪商と言われた方々は、自分のことだけではなくて、お金を出して道普請など街づくりに積極的に関わってこられたと聞いております。そういう中で、私自身もこの蔵の街で生まれ育ち、この建物も昔から非常に愛着を持たせていただいたし、川越ロータリークラブは、この建物の3階の会議室が例会場になっておりまして、そこで入会式をさせていただいたと。ロータリーが70年前に設立されたときには、川越の有力者が集まって、ここで発足したわけで、そういう歴史を積み重ねて今日があるということ。先人のそうした思いを引き継いで、これからも川越で一生懸命やっていきたいと思っていますし、息子にもそういうことを伝えて、これからも川越の街で一生懸命生きていってもらいたいと思っています。

司会 ありがとうございます。ロータリークラブの会場がこちらにあったというお話がありました。そのことについて思い出をお聞かせください。

馬場 私が入会する時、当時の石川会長に、「100人になるから、馬場さん入ってよ」と言われて入った記憶があるんですよ。それからこの3階でずっとやっていて、だんだん人数が増えてきて、床が落ちこちるんじゃないかと心配する声があちこちから出てきて、それで、プリンスホテルに移ったんです。100人が乗っかっていつ潰れるか分からないと、あの時はみんな心配していたんですね。



渋沢栄一の自筆「順理則裕」



立原 私は小谷野さんと一緒に入会させてもらったんだけど、当時はお弁当が3種類なんですよ。鰻とすしとうどん、そばですかね。それで好きなものを持っていくんですよ。いつも最初になくなるのが鰻で。出席率も当時はかなり良くて、80人くらいはいたかね。やっぱり休むとばれちゃう。会場が適当な広さだったので、すごくいろんな話のできたのを覚えています。

司会 今のようなネット社会じゃないので、逆にコミュニケーションが重要視されたんですね。武州ガスさんにもいろんな歴史があるかと思います。お爺さまやお父様の時代を踏まえて、原さんの歴史観をいただけるとありがたいです。

原 会社の歴史をお話ししますと、設立が大正15年、1926年で、川越の街の歴史からすれば、まだ新しい会社ということになります。今、渋沢栄一のテレビドラマがやっているんですけど、渋沢翁の晩年80歳ぐらいの時、何を一生懸命やっていたかという日米関係を良くしようというのをやっていたわけですね。晩年って大正時代ですかね。もうその頃からアメリカと日本の関係は悪くなっていて、それを何とかしようと頑張ったんですけど、結局戦争になっちゃったんです。うちは何とか戦争を乗り越えて、その後、熱量変更というガスの種類を変えるのをやりました。今はもう脱炭素社会ということになって、これからガス会社はどう変わっていったらいいんだというところに来ているわけで、いろんなことが起こるんだなあと感じています。立原さんのお話にもありましたが、川越は世界に認知されたかと思えますし、その歴史は残るわけで、その中で世界と繋がっていくということが大事だと思います。そういったことをこれまでもやってきましたけども、これからもやっていくことが必要なのかなと、うちの会社の歴史を思い出させていただいた中で感じました。

ロータリークラブとSDGs

司会 新たな若手の活躍を期待する中で、サステナブル、SDGsというテーマに移って

いきたいと思います。小谷野さんのご子息は35歳でフカワビジネスの社長になられたのですが、実は小谷野さんご自身もそのくらいの年齢で事業を継がれたとお聞きしました。ご子息も是非ロータリークラブに参加していただきたいのですが、そのことについてお話しいただければと思います。

小谷野 父親もロータリアンでしたから、子どもの頃からクリスマスパーティーとかで引っ張ってこられて、こちらの3階の例会場で楽しいひと時を過ごした経験があるわけですね。岩堀さんが会長の頃、いろんなパーティーに「子どもも連れてこい」という呼びかけがありましたね。あれは非常によかったと思います。息子も仕事が忙しいとか〔笑声〕、本人にとっては迷惑だったかもしれませんが、無理やり引っ張ってきて、現役のロータリアンの方と交流をさせていただいて、ロータリーに対する理解が深まったんじゃないかと思っています。息子自身も、子どもの頃からフカワの跡継ぎとして育ててきた中で、いずれはフカワを継ぐのだという心構えは、小さい頃からあったんじゃないかと思っています。いずれは息子もロータリーでお世話になりますが、まだまだ親父が現役でおりますので。〔笑声〕私の場合は、親父が亡くなったのが42歳の頃で、その後お誘いを受けてロータリーに入会させていただきました。ロータリーの考え方は、親父から引き継がれ、非常に自然な形でロータリーに飛び込むことができました。息子も、息子次第ではありますが、私がいなくなったら、私の遺志を継いでロータリー活動をしてくれるんじゃないかと。ロータリーを代々受け継ぐということも、ひとつのサステナブルなんじゃないかと思えますので、そういう形でロータリーや商売、川越が続いていくことを願っています。

司会 私の場合は、馬場さんから、ロータリーというのは親子で背中を見合いながら入らなくちゃ駄目なんだというお言葉で入らせていただきました。ロータリーでは親父の姿を元気うちに見せるというのが大切だと思います。馬場さんのご子息は今、設計事務所

としても活躍されています。馬場さんは氷川神社の責任役員という立場におられるわけですが、氷川神社についてお話しいただきたいと思います。

馬場 氷川神社とのつながりは、今の禎久さんのおじいさん、勝久さんが宮司だった頃からうちの親父と付き合いがありまして。続いで春久さんともありまして、自然と氷川神社とのつながりが深くなりました。先ほどお祭りの話が出ていましたけど、ここ2年間やっていないので、来年はできればちょうど

14、15、16が金、土、日なので3日間できるんじゃないかと。〔笑声〕子どもの頃は3日間というのが何回もありましたからね。やっぱり川越ま



つりですからね。来年の市政100周年に向けて、そういうこともありじゃないかという新しい考え方が出てきていますから。また、持続可能な開発という点では、氷川神社は、神社の森のどんぐりの実を拾って子どもたちに分けて、自分の家で育ててもらった苗木で森を大きくしようという活動に取り組んでいます。

司会 山田宮司もロータリークラブに入っているわけですが、今、大改革をされて、お父さんが造られた建物を壊して、新しいスタイルの鎮守の森も作りながら、直会殿などという新しい施設も作られました。ご息がその設計に携わっておられるわけですが、材料のことも含めまして、なかなか難しさもあったと思うんですけども。

馬場 今、コロナ禍ですから、たいへんな時代かな。経済に関して、文化に関してこれからどういう方向に動くのか。新しい時代

の流れに敏感にアンテナを張り巡らせながら、若い人たちに考えてもらえばいいかな。ちょうど川越ロータリークラブも70周年というよい機会ですから。小高会長がいますから。ここには会議所の会頭も、観光協会の会長も、それから法人会の会長もいますから、いろいろな考え方ができるんじゃないですかね。

司会 今、観光協会として、サステナブルの取り組みについて、いろいろな角度から考えられていらっしゃるからお聞きしたんですけど、何かご披露いただけますか。

象原 観光のデータとかいろいろな数字をよく見ているんですけど、川越に3回または4回来たことがあると回答した人が70%くらいいるんですね。リピーターですね。満足度ということだと、「普通」、「満足」、「とても満足」を足し合わせると96%。「たいしたことない」という否定的な意見はほとんどないですね。昨今は、若い人が増えていますね。昔は、落ち着いた風情のある川越に行ってみようというお年寄りやご夫婦で来られる中高年が多い時期がありましたけど。今はやはり、歴史、伝統、江戸文化といいますか、そういうものに若い人が非常に目を向ける大きな流れが出てきています。40代までが、令和1年、令和2年と、50%から60%に増えています。そういう意味で、コロナの時期が過ぎますと、もっとあからさまに若い人の集まる古都というような新しいイメージ、皆様が期待していたようなことが将来に向かって出てくるんじゃないかと思

います。そこに、古い街ではあるけれども、オリンピックという大きな注目イベントのゴルフの会場になったというモダンな



イメージが付加されましたので、今、情報のレガシー、大きなものが残りつつあると思っております。市制施行100周年が来年でございますので、そういうタイミングもよろしゅうございますし、本当に「越えていこう、川越」、この考え方が具現化していく。そうなる日は近い、そろそろやってくると私は確信しております。

馬場 2020年に民間調査会が行った幸福度や満足度を加えたSDGsの調査で、川越が全国1位だったという。これってたいへんなことですよ。2位が金沢でしょう。あんまり取り上げられていないから、これ、もうちょっとアピールして。それにロータリーがどう乗っかるかなんですよ。〔笑声〕

司会 そういう意味では、やっぱりロータリーでSDGsを語らなくちゃならない。立原さん、ちょっとお話しただけないでしょうか。

立原 ロータリーの財団では、1930年ごろには既に、世界で良いことをしようといって、財団にお金を集めるシステムを作って、いろいろなところに補助金を出すルールを作ってきたわけですよ。ロータリー財団の6つの重点分野には、世界の水を守ったり、識字率を上げたり、疾病予防や母子の保健のこととか、そういうことをロータリーは先手を打ってやってきたわけですね。SDGsの17の開発目標との対比でいうと、ロータリーの活動はみんなその中に入っちゃうわけですよ。だから最近も世界のロータリーの会長さんは、国連を意識して、SDGsを有効利用してロータリーを盛り上げていこうという方向にどんどん変わっています。200以上の国に120万人の会員がいるわけですから、この組織をまとめれば国連に対しても大きな力になるということで。一方、実はロータリーはどんどん減っていて、この地区でも会員が10人以下のクラブが幾つもあって、存続が難しいクラブも出てきているわけですね。そう考えると、川越は、埼玉県で最初にできたロータリークラブですから、どんどんチャレンジしていいと思うんだね。失敗してもいいから、ロータリー

の新しい形を探っていくというか、是非そういうことをやっていただきたいと思っております。

司会 ありがとうございます。SDGsというと、切り離せないのは環境問題だと思うのですが、原さんは、カーボンニュートラルに関し、かなり以前から素晴らしい活動をされています。SDGsと絡めてお話しいただければと思います。

原 うちの会社も、SDGsという言葉がない時から、いや、うちだけじゃなくて、きっと日本中、SDGsという言葉ができる前から、皆さん一生懸命そうしたことに取り組んでこられた気がします。特に私どもは、カーボンニュートラルというか、脱炭素というか、そういう世界が今目指すべき世界だということ言われているので、本当に悩ましい課題です。それをどう克服していくか、それこそ越えていくかという話なんですけど。〔笑声〕もちろん業界としてやっていかなきゃいけないことはいろいろ考えられていますので、それがうまくいけばよいという部分もあるんですけど、業界だけに頼っていてうまくいかなかった場合は、私どもも成り立たなくなっちゃうので、何かできることはないかというのは考えていかなきゃいけないんです。だけど、今の仕事を変えていくというのはなかなか難しいと感じています。脱炭素社会。特に日本の場合は、2030年に温室効果ガス、2013年度比46%削減というのが目標になっていますので、そこに私どもが少しでもお役に立てればという思いで取り組んでいます。ただ、お客様や街の人々にどういうことをお伝えしたらよいかというのを、まだこれから考えなくちゃいけないところがあって、その部分でもいろいろ越えていかなきゃいけないことがあるなという感じなんです。

司会 先だって会社にお伺いした時、ご息といろんなお話をしました。原さんから見たご息のことをお話しいただければと。親って、こういう場じゃないと、なかなかせがれのことをしゃべってくれないので、本音で語っていただければ。〔笑声〕

原 そうですね。具体的にどうしようとかこうしようとか考えたことがなかったんですけど、やっぱりみんなから頼られる存在になれるかどうかというのが問題かと。そうなるためにどうするかというのは、私がどうのこうの言ってなれるものではないので、何とも難しいところなんですけど。ただ、業界内の会社で勉強して、その経験というのは、だんだん生きてくるんじゃないかなという気がいたします。



そういうところに行ってきたから、会社のこともある程度分かると思いますし。私どもの会社はある意味難しいというか、家業という感じ

でもなくて、跡取りという言葉が使えるかどうか。会社には入ったけれど、やっぱり実力がないと、どうなるかは私にも何とも言えないかなという気がします。

司会 藤倉さんのご息子は、金融機関に勤められて、今は会社に入られて。お聞きすると、お爺様が会社に導かれたと伺いました。カーボンニュートラルの対応とご息子の話をお聞かせください。

藤倉 そうですね。私の息子は、私の取引のある会社の試験を辞退して、関係ないところに就職しました。父は長生きで、おかげさまで97歳まで。私のことが心配で、孫には非常に期待をしていたそうで。[笑声]「俺がいなくなったら、親父は駄目になっちゃうかもしれないから、是非こっちへ来い」と。後々息子に聞いたら、半分半分で、勤めたところの方が良かったのか、輸送関係にはそれほど魅力がなかったみたいなんです。しかしながら、そういうところで長い経験をさせていただきまして、会社に入りましたら、やはり視点が

違うんですね。我々は平面なんですけど、彼は斜めや横から、立体で見るわけですね。我々の業種の欠点とか、足りないところがたくさん見えるわけですね。私には当たり前なのが彼としては当たり前じゃない。若い人の考えで、いろいろな改革をしてもらって今があるということなんです。おかげ様で息子もやっと今年、JCに入りました。やはり地元の交流が非常に役に立っているようで、いろんな形で楽しくやっているようです。SDGsについては、我々は、排出ガスによる公害を減らすということがまず一番なんですけど、原さんの武州ガスさんには、20年近くお世話になっているんですが、全国的にも非常に珍しく早くに天然ガスを取り入れ、今でも継続して利用させていただいております。それから、私どもが地域ナンバーワンになるためには何が必要かということ。まず、新しい無公害車ができたら、すぐそれを購入して同業者に差をつける。新しい会社ですから、これからもそういう勢いで進めていきたいなど。ただ、最近では、息子の力が8割で、父親の言うことが2割ぐらいで。[笑声] ある意味よかったです。いろいろ考えて、失敗もあるかもしれませんが、やはりチャレンジはしてもらいたい、そう思っております。

司会 素晴らしいお言葉をいただきまして、ありがとうございます。立原さんもお嬢様たちが頑張っているようなんですけど。

立原 うちの娘2人で、長女はインテリアデザインの会社を起こして、今都内でやっているんですけど、生意気に、紀尾井町なんか住んでね、何かすごいマンションに住んでいるけど。今は、ディズニールランドの仕事などを一生懸命やっています。それで、東京JCの方に入って、昨年は何か世田谷JCの会長をやっていて、ご飯が食べられない子どもたちに食べ物を届ける仕組みづくりとかをやっています。相変わらず親父と同じで、のめり込むと結構行っちゃう方なので、抑えろと言っているんだけどなかなか抑えられない。[笑声] そんなことで、とりあえず立派に会社も利益を出していて、すごくうれしく



思っております。下の子はいよいよ立原電機を継ぎたいということで、女の子なんですけど、意欲的に今やり出して、まだまだ。彼女も一時、東電の子会社にいたものですから、全く知らないわけではないんですが、原さんと同じで、電気もガスもエネルギーですから。東電は3.11で、いろいろあったんですけど、今は自立して、従業員の給料も戻ってきて、結構頑張っているんですね。ですから、また電力会社もだんだん忙しくなってきた、いろんな動きが出てきて、電気を計るメーターも、これから新しいモデルチェンジが出てきそうで。そういう意味で、みんなやる気出してくれているんで、ありがたいなと思ってやっています。

司会 それでは最後に、「越えていこう、川越」を最初に起案されました糸原さんに、本日の締めのお話をお願いします。

糸原 コロナで異常な状態の中での運動だったんですが、川越の方々の進取の気性というようなものが発掘できた気がします。これがもし誰も乗ってくれなかったら、うちの声掛けだけで終わっていたんですね。ところが、たくさんの企業や個人様が、「それだ」ということで乗かって、協力し、人を連れて来てくれました。やはり川越人の潜在的な力と

いいですか、必ずいい状況を呼び込もうという気鋭、プライドといいますか。この運動をやってみて、あからさまにそれを感じた次第です。こういう言い方はちょっと生意気ですけど、伝統と文化に裏付けられた川越が、観光都市として、また更に人々を導くような精神的なリーダーシップを取れる街になっていく。そういう方向を目指していきたいと思えます。それにはまず、理念が高くないと、物事というのは継続しないと思えます。どうせこの辺だろうと思っていたら、それで終わっちゃいますね。まず意識の高さ、理念の高さ。これが行動に結びつく非常に重要なファクターだと思っております。そうして、期せずして、「越えていこう、川越」で、川越の地と人々には、この高い理念と気鋭が存在するという、嬉しい確証を得たような気がいたしました。

司会 「越えていこう、川越」、「ロータリークラブとSDGs」という話題でお話しいただいてまいりました。川越ロータリークラブは、「歴史と伝統の川越」と言われるとおり、先輩方のこれまでのご活躍に深く敬意を表するとともに、我々現役も、いろんな苦難を乗り越えていきたいと考えております。



第三部

日付 2021年 8月24日

場所 料亭「山屋」

コーディネーター 栗原雄一

サポート 高橋哲彦



テーマ 川越ロータリークラブに入会して 感じていること

栗原 本日は大変お忙しい中、ありがとうございます。私が担当します若手・中堅のメンバー



の方の座談会で、本日のメンバーは、松山会員、島村会員、山崎会員、京野会員、山口滝太会員、そして私と、サポートの方で高橋哲彦会員ということで進めさせていただきます。まず入会して感じていることをお話し下さい。

山口 私は入会して11年目になります。入会した当初35歳でした。入会したとき、父の関係もありましたので、JCの方とか、小さい頃からよくお世話になった方が多かったので、入会式が終わって、周りのお顔を見たら、皆さん昔から知っている方々でしたので、すっと入ってはいけたのですが、年齢差もあり、当初は正直右も左もわからずというのがかなりありました。翌年、立原ガバナー年度、川越ロータリークラ

ブ60周年のときに立原ガバナーの副幹事をさせていただきました。それまで他のロータリークラブには一度も行ったことがありませんでしたが、立原さんのお供として他のロータリーの活動ですとか、ロータリーはこういうことをしているのだなということをごそこで知り全体感が少しずつ見えてきた、というのが私のロータリーに入ってからスタートだったというふうには感じております。

栗原 では京野会員お願いします。

京野 二つ気付いたことがあります。一つは自分の職業の存在意義を考えるようになり、職能を社会のニーズの解決に役立てることが奉仕に



つながっているのかということ。もう一つは、素晴らしい方々との出会いの宝庫を得たということです。この自分が社会の役に立っているということの喜びと、



仲間との出会いから得られる心の財産という、無形の価値というものに気付けたというのが、ロータリーに入って一番意味があったと実感しています。

栗原 ありがとうございます。では、山崎会員。

山崎 私が最初にロータリーに入らせていただくことになったのは、女性会員をもう1人というか、当時お1人じゃあいけないからという



ことで、急遽交代した、みたいな感じで入ったので、自らなんとなく入ってしまったという感じです。実際入会させていただいて、家族会員で、ロータリーの

家族としては参加したことがあったけれど、会員として参加するということは初めてだったので、意外と新鮮に感じました、ロータリーに対して。ロータリーというのは、私が高校に行っていたときにロータリー財団の留学生が来ていて、ロータリーにも留学に行かせてというのがあったので、意外と身近に感じられる存在であったということがあります。山崎に嫁いでロータリーのクリスマス会に最初に参加したのが最初の思い出なのですが、そのときにこれがロータリーなんだという風に思って、なかなか、何なんだろうというのはなかったので、良かったなとは思っていました。やはり地域に根ざして奉仕活動を行っているからこそ、色々な人と知り合いになり、奉仕の輪が広がっていくのだと思いました。

栗原 ありがとうございます。次に島村会員をお願いします。

島村 入会して奉仕ということをまず考えたときに、偽善者っぽいというか、かしこまるところがあったのかなと自分の中で感じておりましたが、やはり仕事を通じてというわけではないのですが、それ自体がもう奉仕的な考え

方というのを学ばせてもらったというか、気付かせてもらって、改めて仕事に対する考え方、向き合い方がすごく変わったなというのは一つあります。あと、僕、生まれも育ちも川越ではあるのですが、父が他県から来て創業して、川越に永住したというような形なので、古くから川越でご商売をやられている方たちとは川越に対する向き合い方というのは少し違うのかも知れませんが、ロータリーについて少し敷居が高い気がしましたが、入会してみたらそんなに感じなく、お話する機会が増え印象が変わりました。

栗原 では松山会員をお願いします。

松山 入会7年目くらいです。思うのは、世の中には様々な組織がある中で、役員でもないのに週に1回顔を合わせるという、すごく高い頻度で集まる会はないと思います。加えてコロナ前には、昼間の例会以外に、炉辺会合とかゴルフ会とか若手の会とか、昼間とは違った、オフ会的な、突っ込んだ話ができる場があるというのはロータリーのすごい特徴だと思います。昨年度拡大の委員長を初めてやりまして、地区の会合に出席しました。2570地区の拡大担当者の席を並べての話し合いで、やはり川越は歴史と伝統ということで、誇りを持つべきだし、周りもそういう敬意を払ってくれているし、そういう気構えで僕も地区会合に気合を入れて臨みました。色々な話を聞くと、川越が抜きん出て会員数90名を超えていて、スケールの違いを感じました。様々な立場の人に色々な機会を与えるという点で、数は力ということを強く感じました。あと最近感じることは、私も入った頃は近い年代って殆どいなかったのですが、最近特に若い方が入ってきたので、これは大きな活性化だし、同世代の



人たちと立場を越えて話せる機会が増えていいと思います。

栗原 それでは、今の活動についてお聞きします。今の活動で勉強になっている点など聞かせてください。松山会員からお願いします。

松山 奉仕関連の話なのかな。ロータリーの五大奉仕、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕がありますけども、物事には目的と手段という関係があると思います。硬い話の憲法でいえば、自由主義のために民主主義がある。主従関係があるんです、優劣関係が。そういうことで考えれば、シカゴでロータリー創設したポール・ハリスが生涯付き合える仲間をつくっていく、お互い刺激し合って、職業倫理を持って高潔にやっというのが元々の目的だったから、やはり自らの成長のためというのが一番の目的だと私は捉えています。それを達成する手段が、この五大奉仕だと思うんです。クラブのためを考える、国際的なことを考える、結局職業も世代も全然バラバラな人たちが、共通の議論（話題）のベースをつくらなとお互いの考えを知り得ることができないので、色々な、この5種類のカードを使って、お互いの意見を交わして、この人はこういうことを考えるんだということを学ぶというのが位置付けかなと個人的には考えています。最終的にはお互い刺激し合って、自らが成長していくために、五大奉仕という五つのカードを使って、人の考えに触れ、勉強するというのかなと個人的には思っています。

栗原 ありがとうございます。参考になります。

島村 僕は今年、2570地区の奨学・平和フェローの方に出させていただいてまして、財団という仕組みも、何も正直わからない状態で行って、少しずつ勉強させていただきながら、今取り組んでおります。彼らはロータリーを愛しているというか、好きで、ロータリーのためにしてあげたいとかっていう気持ちが芽生えているという、そういうのをすごく目の当たりにします。そんな時にすごい活動をしているだなあというのを改めて実感させてもらったのと同時に、そういう彼らに恥じないような行動を僕らもしていかなきゃいけないと思いました。今年もコロ

ナでなかなか開催できないですけど、オンラインというか、ネットワークを駆使して、活動しております。この間中東の学友生で、今国連の関係の仕事に就いて



いる方が、オンラインで講師というか、現状の話聞いて勉強させてもらう機会があるのですが、本当に世界に各国にそういうロータリーで培った若い子たちが今世界に本当活躍していて、そういう人たちとも身近につながって、いろいろな勉強をさせていただけるというのは、今いいタイミングでやらせていただいたのと、正直本当に感謝しているんです。

栗原 山崎会員はいかがですか？

山崎 私、今会員増強をやらせていただいておりますが、どのように増強活動をしたらいいのか、なかなか難しいです。しかし、松山さんが会員増強委員長の際に最初に1人だけ、五十嵐さんを推薦させていただきました。元々飯能が実家ですけど、飯能の古い知り合いから突然に電話がかかってきて、「五十嵐君を入れさせたいと思っているからよろしく」と言われて、私もロータリーに入会したばかりで訳もわからず、その知り合いに「入会したね」と言われて、「ああ、そうです」と言ったら、そういうことになりました。あと、他の会員がおっしゃっていたんですけど、今会社を辞めて創業する人に対しても、軌道に乗ってロータリーに入ってくださると、ロータリーに色々な人が集まるといいのかなって思います。そういう点では、JC出身の方、支店長さんたちとかも、入っていらっやると良いかなと思います。

京野 米山記念奨学事業は私にとってすごくやりがいがあって、面白いなと感じています。奨学金の支給を通じて、ロータリアンと留学生、日本とそれぞれの母国を繋いでいます。一般



の奨学金制度と大きく違うところは、カウンセラー制度が根付いていることだと思います。私は今年カウンセラーをやらせていただいておりますが、クラブのメンバー全員で米山奨学生を迎え入れ、応援し、一緒に活動できるような体制を築き上げて、1年間でどれだけしっかり育てていけるか挑戦したいと思っていたのですが、コロナでだいぶ活動が制限されてしまっています。米山奨学生の皆さんが未来への大きな夢を持って、国際的にリーダーシップを発揮され、日本との懸け橋になっていただくための活動は、まさに青少年奉仕といえるでしょう。米山奨学事業は、日本に対する想いを持ってくれる優秀な人材を育てているわけですから、未来への危機管理の一環として、世界と心の通った連帯という意味においても、必要不可欠な事業なんじゃないかなと思っています。そうすると国際奉仕にもつながっていく。

栗原 それでは山口会員、お願いします。

山口 私、今年度職業・社会奉仕委員会をさせていただいています。今年度、献血活動ということで、社会奉仕というのは基本的にはその地域に必要とされているものを吸い上げて、それを奉仕活動とするということがその意味合いの文言だと思います。社会奉仕も、職業奉仕の職業があった上に成り立っていて、自身の職業ではなかなか手は出せないけれども、いろいろな職業が集まることによって地域に貢献できるという流れだったと思います。今回自分たちで動こうというところで、献血活動ということになりました。やはり今後は川越ロータリーといえば、こういうことを自分たちで汗水垂らしながら地域に貢献している、地域のために奉仕をしているのだという何かやはりあったほうがいいのではないかと私



は思っているのです。川越ロータリーといえばこれだよねという事業があってもいいかなという気持ちはあります。自分たちで行動することによっての社会貢献、社会奉仕というところが、今後できたらなとは思いますが、今年度でそういうことを、私が委員長でいろいろ考えなければいけない立場だったと思うのですが、継続的にそういう事が考えられればいいかなとは考えております。

栗原 最後の質問にいきたいと思います。今後どのような活動とか、こういう感じで、活動だけじゃなくてもいいのですが、今後どのような形でやっていきたいのかなというのを聞かせていただいて、またそれをまとめさせて締めさせてもらえれば思っているのですが。山崎会員いかがですか。

山崎 今年は会員増強というところにありますので、今年は一生懸命増強して、できたら衛星クラブの方を考えられたらいいんじゃないかなと思っています。1年では全然無理だと思うのですが、女性会員を増やすというときには、金銭的な問題とかもあるかもしれないので、最初のうち、衛星クラブに入らせていただいて、本会員になっていただくというのでもいいのではという声もいただいたりしたので、そういったのを研究していきたいなと思います。

京野 出会えていない仲間や、地域社会に留まらない多種多様な世界が待っていると思うので、そんな機会の扉をどんどん開けて、繋がりを持ちたいなとも思います。川越ロータリークラブで非常に貴重だと思うのが、先程から話題に出ている、転勤によって数年間しかいられないアクティブ会員と呼ばれている方々の存在です。我々はどうしても職種や所属といった属性で寄り集まってしまうところがあると思うんです。変な求心力が生まれて来たりして、社会から見た組織としてはつまらなくなってしまふ。そこで弱い紐帯の強みとして、関係性の弱かった会員が常に新陳代謝して入会してくれるのは、組織に新しい価値創造をもたらしてくれると思っているんです。その弱いネットワークは、強いネットワーク同士のブリッジ役となって、相互にすごく有益な情報を運んでくれるし、

それらは自分やクラブにとってとても価値が高いことが多いので、それこそアクティブにつながるべきです。

栗原 島村さん。

島村 もう少しで2年目が終わるところでして、長い目で考えればゆっくり、この歴史と伝統という川越ロータリークラブを将来にもつないでいく、継承していかなければいけない立場になったときに、しっかりと手と手じゃないですけど、取り合って、みんなで助けていけるような仲間づくりをしていきたいなということ。正直、川越といっても広い川越。川越ってもっと色々な地域やエリアがあります。私は入って間もないので、エリア的なこととか、地域的なこととか、川越にある他のクラブの組織的なこととかよくわからないのですが、広い意味で川越を盛り上げていけるような努力をしていきたいと考えております。

山口 ロータリーについてまだまだ勉強はもちろん必要なのです。皆さんがおっしゃるようないろいろなことを、他の業種の方のお話だとか、そういうのを聞く機会って、正直今になってしまうとあまりないので、本当にこういう機会というのはすごく私にもありがたいですし、病院としての事業を新しくするためにどうしたいとかっていう知識にもなりますし、自分自身の成長にももちろんつながると思っています。なので、うまくは言えませんが、やはり機関紙のロータリーの友にある「友」というのが、私の中で今後大事にしていくところなのかなと。それを、いい出会いの場をここまで提供くださったので、それを今後の自分のさっきの成長につなげていける場にしたいなとは感じております。

栗原 最後に松山さん。

松山 この組織の魅力というのは多様性です。他の団体とも違うという人たちがいるからこそ魅力があるのだと思います。そのためには、川越ロータリーが魅力を持ち続けなくちゃいけないし、川越に住んでいない方もロータリーに入ってほしいという意味では、川

越という商圈、街自体が魅力を持ち続けなくてはならない。そのために、今我々の世代は、ロータリー、そして川越に魅力を持たせるために頑張っていかななくちゃいけないなと思います。今年70周年なので、今から10年前というと、2011年、東日本大震災の年です。その震災の年にも記念誌をつくり対談しております。10年あれば何が起きるかわからないのですが、これから10年、当然このメンバーがロータリーにそのまま属していることが前提ですけど、10年後にまたこのメンバーで対談ができたなら面白いな、と感じました。

栗原 皆様からのご意見をお聞きして高橋さんいかがでしょうか。

高橋 ロータリーについては勉強中ですが、基本は会員相互の親睦だと考えているので、新入会員の方に積極的に声をかけて、例会に行きやすい雰囲気作りは大事だと思います。

炉辺会合やゴルフ等の親睦にも参加していただきたいです。

その上で、ロータリーの活動と五大奉仕をしっかり研修して高潔な会員集団であれば素晴らしいと思います。





1993-1994年度
国際ロータリー第2570地区
ガバナー
今泉清詞

川越RC創立70周年を祝い 更なる前進を求めて

川越 RC 創立 70 周年記念誌の発刊誠におめでとうございます。

茲に改めて輝かしい歴史と伝統を誇るクラブの歴史を顧みる時、先輩各位の偉大な奉仕活動の積重ねの実態が明らかになり深甚な敬意と感謝の誠を捧げる次第であります。

ロータリー会員は各々誠の心を持って家族や社会に奉仕する事が任務であります。顧みてその目的が立派に果されているか否か検討する機会でもあります。

クラブ創立以来多くの会員各位が夫々の分野で立派な奉仕活動を実施されておりますが、この機会に全てを公開して頂き参考事項として一般会員に普及して頂けるよう期待しております。



川越RC 70周年によせて・ 変化するシカゴRI

創立70周年、おめでとうございます。
1920年の東京RCの発足からおよそ30年後の1951年、日本で68番目のRCとして発足いたしました。その頃は、日本でTV普及したところで力道山のプロレス放送は記憶に残っています。

世界は、IT技術の発達により多くのことが変わりました。

世界のロータリーも、最近は大きく変わろうとしています。

ロータリー活動の基本的な概念は、変わらないもののその意義と目的は変化しているものと思われる。かつては、先進国が大国的・経済的優位性もあった頃は、それらの国々のロータリー活動が先導して貧困や不自由な生活、環境、健康向上問題などを解決するべく活動をしていました。しかし最近ではかつての後進国であった国も立派に経済成長を果たし、国力、経済的発展等によりロータリー活動に積極的に参加し、R価値観も変化が生じてきています。

私がガバナーを務めた2011年、当時のR



2011-2012年度
国際ロータリー第2570地区
ガバナー
立原 雅夫

I会長はカルヤン・バネルジー氏は、インドからの選出でした。そしてその後2016年にRI規定審議会に当地区の代表としてシカゴ会議に参加をいたしました。その会議でも、やはりR例会のあり方、会員資格、会費の基本的バランス等の変化を感じた事を思い出します。予想通り、新興国の発言も強く、その勢いも感じたしだいです。

その後のシカゴのRI・R財団の活動やルール改定を見ているとその変化を感じます。R財団の掲げる「世界でよいことをしよう！」の合言葉に環境、健康などの世界テーマも、今では国連のSDGsに参加するようになり、ある意味ではその役目も達成したとも考えられます。

またRIと各クラブへの関係も変化をし始めています。次回の2022規定審議会で変えようとしています。いわゆる「SRF」問題です。

今後のRIの活動に、注目してください。





川越RC70周年によせて



2020-2021年度
国際ロータリー第2570地区
ガバナー
相原 茂吉

川越 RC は創立 70 周年を迎えました。初代の伊藤長三郎会長・石川東洋幹事から始まり歴代の会長・幹事が順番に襷を受け取りながら、遂に 70 人目、小高章会長・吉澤徳安幹事の時、記念すべき節目を迎えました。おめでとうございます。正に歴史と伝統の我がクラブです。

私は 2005 年に入会させて頂きました。あっという間の 16 年です。その間いろいろな事が走馬灯のように思い出されますが、中でもはっきりと脳裏に焼き付いている場面がいくつかあります。

2011 年立原雅夫ガバナーの時の事です。今泉博会長、私は幹事を務めました。この年は川越 RC60 周年と重なりましたが、11 月の地区大会で、3 月 11 日に起きた東日本大震災の模様を「絆」をテーマに映像で流したのです。悲惨な状況や救助の自衛隊、ボランティア、また必死に頑張る被災者の様子など、非常に胸がつまされる思いが致しました。この年から Rotary では希望の風基金が始まりましたが、今更のように被災者に対する支援を継続してまいりたいと思います。

2015 年、クラブ会長を拝命し、幹事は小高章さんをお願いしました。自分の会長年度でもっとも思い出に残るのは 12 月に N 響の第 9 コンサートを企画し、多くの会員と共に代々木の NHK ホールに聞きに行った事です。コンサートは勿論の事、終演後、みんなで第 9 の余韻が残る中、寒い夜空の下、ぞろぞろと帰りのバスまで一緒に歩いた光景が何故か鮮明に脳に残っています。多くの会員が奥さん同伴で本当に懐かしい 1 ページです。

2017 年には細井ガバナーの下、第 1 グループガバナー補佐を務めました。この年のトロントの世界大会に細井ガバナー達と同行。大会前

にエバンストンのポールハリスの家やお墓参り。シカゴの RI 本部などに立ち寄りしました。RI 本部ビルには、ロータリー発祥の部屋であるユニティビル 711 号室が再現されており、感慨無量の思いでした。その頃からいつの間にかロータリーに染まっている自分がおりました。

そして遂に 2020 年度、川越 RC では 6 人目のガバナーを務めさせて頂きました。この事は私の人生にとって一生の宝物であります。自分だけの器量では到底ありえないような多くの出会いがありました。2019 年 12 月川越プリンス 9F で、皆さんに盛大な壮行会を開いて頂きましたサンディエゴの国際協議会。1 月成田を出発、世界中のガバナーエレクト 530 人とその同伴者が一同に集い、7 月からのガバナー就任に向けて 1 週間の缶詰め研修を受けたこと。振り返ると本当に充実した楽しい 7 日間でした。日本全国 34 地区の同期のガバナーとも昵懇になることができ、まさに Rotary opens Opportunities! でした。

第 2570 地区の公式訪問は、全てのクラブで身に余る歓迎を受け、恐縮と同時にガバナーの地位と責任を身に染みて感じました。そして 11 月 3 日の地区大会。コロナ禍において、初めてリモートを駆使したハイブリッド方式での開催です。川越 RC 実行委員の皆さんを中心に、多くの方々が誠心誠意盛り上げて下さり、地区内外から「素晴らしい地区大会だったね」と絶賛されました。そして何よりも嬉しいのが「さすがに川越さんだね」と言われたことです。この地区大会をきっかけに川越 RC の雰囲気ガラッと変わったような気がしました。大会成功の達成感・一体感によって、新しい会員同士も本当に仲良くなりました。そして川越 RC が再び地区のリーダークラブとしての道を歩む決意

を、皆で共有したような気がしたのです。正に「それでこそロータリー」です。

加えて、地区大会でRI 会長代理を引き受けて下さった高崎 RC の田中久夫 PDG は 1 年で自クラブのメンバーを 51 人も純増したカリスマ会長ですが、今でも時々ゴルフをご一緒する大切な友達になりました。

ガバナーに指名されたとき初めは「自分には荷が重すぎる」「億劫」の気持ち以外の何物でもありませんでした。しかし、1 年間、皆様のご協力により何とかその責務をこなした今、大きな安堵感と何故か一抹のさみしさが同居しています。コロナ禍により、計画していた多くの事が実現出来なかった悔しさ・残念さもあるかもしれません。しかし、その反面ガバナーの職務はやりがいがあり、大変充実していたからだったからだと思います。連日のように自分がどこかで必要とされていた事、こういった貴重な経験は二度とないでしょう。川越 RC が作った神輿に乗らせて頂き、本当に多くの出会いがありました。感謝の気持ちでいっぱいです。

ガバナーとしての卓話・スピーチについて、私はガバナーエレクトの時クラブの重鎮今泉清詞さんに、ガバナーはどういう事を話したらよいのか尋ねました。その時今泉さんはこう答えられました。「相原さんね、ガバナーは自分自身の経験や思うことを自然体で話すことが大切だよ。教科書から引っ張ってきたような知識をしゃべっても、なんの意味もないよ。」

そこで私は亡父が平素より私に話してくれたことをテーマとする事としました。“仲間作り”であります。幸い父の残した多くの資料が随分と参考になりました。絵描きである父の人生観を主なテーマとした 25 分の DVD「ガバナー相原茂吉の想い」を制作したのです。この DVD

は公式訪問前に地区内の各クラブ例会で放映をお願いした事もあり、それなりに評価された実感がありました。父は常々「ロータリーの目的は奉仕の理念の下、多くの仲間をつくることだと思う」と言っておりました。確かに仲間、とくに価値観が共有できる仲間は大切です。そこで私は次の事をガバナーとして繰り返し、話してきました。

「ロータリアンの皆さんは地域のリーダーと称される人達の集団で、そうでない人と比較して、それなりの達成感や満足感はあるでしょう。しかし同時に背負っている責任・悩み・心配事はそうでない人にくらべると各段に大きいと思います。だからこそ価値観が共有できると思います。価値観の共有できる友達・仲間を増やすことは人生の幸せ・豊さに繋がります。奉仕の理念の下、友達をたくさん作りましょう。」

最後に、川越 RC に入会して最もうれしかった事、それは娘の麻里が今泉さんの長男喜章君に嫁いだ事です。帝国ホテルで開催された結婚式では、多くの川越 RC のメンバーにご臨席を頂き、祝福して頂きました。本当にありがとうございました。今娘は本当に幸せそうです。今泉清詞さんを尊敬し、本当に懇意にさせて頂いた亡父も、草場の陰でさぞかし喜んでいる事と思います。

これからロータリーも時代の変遷と共に、そのシステムが変わってくるでしょう。会員も代わり変わっていきます。しかしながら、「奉仕の理念」そして「価値観を共有できる仲間」は不変です。これからも、襷を引き継ぎながら、川越 RC が一層発展する事、そして会員の皆様の益々の幸せを心より祈念し、私の挨拶とさせていただきます。



歴史と伝統は伊達じゃない

2016-2017年度

会長 石井照典 / 幹事 水村圭司

5年前、リオデジャネイロでのオリンピック閉会式でマリオに扮した安倍首相が「次回2020年は東京で」と宣言したことが思い出される。そして今年、コロナ禍で一年延期して開催された「2020東京」も変則ながらどうにか幕を閉じた。片や遠国、片やコロナ禍と理由は異なるものの、どちらもテレビ観戦を余儀なくされたが、それなりに心躍らせて見入った。

5年前に戻る。2016年は川越RC創立65周年に当り、その舵取りを石井・水村の老々コンビで請負うこととなった。もとより不安だらけの船出ではあったが、結果的には先輩方の温かい導きと、若いメンバーの力強い後押しによって、どうかその責務を果すことができたことに改めて感謝の思いを強くしている。



この年度のテーマを「感謝をかたちに」とした。それは今、私たちが社会から受けている有形無形の恩恵と、しかも奉仕の出来る立場にあることに感謝し、その思いを形にして社会に還元してゆくことが私たちの務めと考えたからに他ならない。

その実践として「ロータリーの友」等で飢餓に直面している難民の実状を知り、毎月一回例会時の食事予算を半減してその差額をパレスチナ・ガザ地区への食糧支援に当てることとした。その狙いは、この事業が単なる「施し」ではなく「分かち合い」だという思いを関係者全員で共有して欲しいと願ったからであり、その委は先方にも正しく伝わったものと確信している。



さて、65周年記念式典は限られた予算内で質素にとの条件付きではあったが、小谷野式典委員長のもと、控え目ながらもいかにも川越らしい格調ある式典であったと自負している。又記念事業は笛木委員長の企画により、国登録記念物に指定されながら位置的に分かりにくい「旧山崎家別邸」(当クラブ山崎嘉正会員より市に寄贈)のモニュメントの案内板を設置して市に寄贈した。これら一連の周年事業を完遂できたのは偏に坂口実行委員長の手腕による処であり、只々感謝の他はない。



それにしても、川越RCの歴史の重みという物を改めて納得した。大きな事業になる程全員が一丸となってしっかりと結果を残す。今更ながらそんなクラブの一員であることに感謝の念を禁じ得ない。

70周年が更なる100年への確かで大きな一歩となることを信じてやまない。

ガバナー公式訪問とロータリーソング

2017-2018 年度

会長 片山 幸雄 / 幹事 坂口 孝

川越ロータリークラブの新年度は、年度第一例会、ガバナー補佐訪問例会、そしてガバナー公式訪問例会で幕を開ける。2017-18年度のガバナーは細井保雄氏（行田さくらRC）で、就任にあたりロータリーの2つのモットー「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の重要性を説かれると共に、19項目に及ぶ地区目標を掲げ各クラブにその対応を要請された。



それと同時に「ロータリーとは何ですか？」のサブタイトルを伴ったロータリーソング『ロータリーを他人に告げる歌』をご自身で作詞、作曲され、これをCD化、地区内各クラブ等に広く配布された。

ロータリーを他人に告げる歌 作詞／作曲 細井保雄

会員仲良く	自己研鑽
仕事を磨いて	社会奉仕
若人育成	国際奉仕
人類仲良く	世界平和

調性は二長調、4拍子で16小節からなるオーソドックスな楽曲である。「この歌詞には、ロータリーの五大奉仕が全て」と、入っていると細井ガバナーがおっしゃっていることが印象深い。公式訪問例会でこの曲を斉唱するかどうか大変迷っていたが、ガバナーに対する敬意を表することになるとの助言も頂き、ガバナー公式訪問前週の例会で急遽短いレッスンを試み、何とか斉唱できるようになり細井ガバナーに披露することができた。



2018～2019年度の活動を振り返って

2018-2019年度

会長 岩堀和久 / 幹事 石井成人



我々の年度は、自由闊達なロータリークラブライフを過ごすことができました。

写真を通じてその一コマを紹介いたします。



"Be The Inspiration" パリー・ラシンRI会長 お互いに刺激し合えるロータリーメンバーになろう

【ロータリーカードの活用】 0.3%がポリオ撲滅活動 川越RC表彰される



<パリー・ラシンRI会長との記念ショット>

【青少年交換留学生】メキシコよりダイアナ・レベッカ、日本より工藤由寿



【2570地区 茂木 正ガバナー】
パラオ、ペリリュー島 追悼



【会員増強】86名でスタート
初の女性会員誕生



【モットー 岩堀年度】
「家族で参加、ロータリー」[90分間を楽しく有意義に]



【台湾 西北RC】 周年行事



小江戸ハーフマラソンでエンドポリオを
プレス しあわせの呼吸 J-COMデイリーニュース参加



【ポリオ撲滅】2017年
あとわずか ナイジェリア セロ



【国際大会参加】2019年6月
ドイツ ハンブルク



【日豪青年相互訪問】2018年1月11日～25日
豪州より ロン君来日



五輪ゴルフ会場霞ヶ関CCにて



ダンボールハウスをつくらう!



論語塾



【川越市少年の翼】



【少年サッカー応援】



【2020五輪醸成】



【てらこや活動】



【星野高校インターアクト】



【4RC合同打ち水】



【新日本フィル・アウトリーチ】



人と人、組織と組織の輪を広げ、 世のため、人のためになることをしよう

2019-2020年度

会長 藤井 潔 / 幹事 西川 孝博

70年前の11月27日、川越ロータリークラブは誕生しました。

奇しくも年は異なりますが私の誕生日です。タイトルは私の会長年度のテーマです。私は稀ですが幹事経験せずに会長を務めました。会員歴12年間で最も印象的なのはやはり会長年度です。会長就任にあたり最初の大仕事は、幹事、理事、役員、委員長のお願いでした。まずは幹事ですが、同業者の西川会員に恐る恐るお願いしたところ、快く二つ返事でご承諾いただいたことです。これには全く感謝しております。さて年度中の主な事項は

■ 相原茂吉ガバナーエレクトの誕生

■ ミャンマー共和国へグローバル補助金を活用して医療機器の寄贈

■ 川越 RC が日本で最初に結成したローターアクトクラブはしばらく休眠状態でしたが復活できたこと

■ そして何と申しても「COVID-19」です。

2019年新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより年度末4ヶ月は様々な行事、例会は中止を余儀なくされ苦難の時でした。地区大会、ハワイでの国際大会の中止。そんな中で東京2020オリンピックゴルフ競技が霞ヶ関カンツリー倶楽部において行われたことを記念して

市内4RCの共同事業モニュメント制作を企画し、コロナ禍のためゴルフとともに1年延期となりましたが、本年10月、川越市役所庁舎正面玄関脇に建立することができたことは誠に喜ばしいことであります。4RCの皆様、そして協賛いただいた多くの団体の皆様に心から感謝申し上げる次第です。



70周年に寄せてひと言

歴史と伝統の川越ロータリークラブと言われますが、そのことに甘んじることなくこれからもより多くの地域社会への奉仕活動を行い、公共イメージの向上に努めていきたいと思っております。80周年、100周年へ今後ますますの発展を祈ります。



2020-2021年度を振り返って

2020-2021年度

会長 鈴木健二 / 幹事 高橋徹治

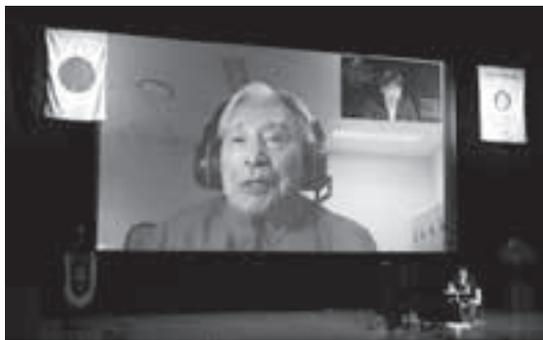
「楽しもうロータリーのつながりを！」という年度テーマを掲げスタート致しましたが、新型コロナウイルス感染拡大が続き、まさにコロナ禍、東京オリンピックも1年延期という前代未聞の1年でした。

しかしながら、高橋幹事をはじめ役員の皆様、会員の皆様のご支援のお蔭で、7割近くの例会を開催することができ、つながり・親睦を深められたと思っております。

また、この様な情勢にも関わらず、7名の新入会員を迎えられました事は、先人の皆様が築き上げた川越ロータリークラブの见えないつながりの深さを痛感致しました。

そして何といてもガバナー輩出年度であり、相原ガバナーご指南のもと、コロナ禍の中、幸いにも地区大会が開催でき成功裡に終わることができました。この地区大会の準備・運営を通じて、ここぞという時の川越ロータリークラブの底力、結束、つながりを強く感じた年度でもありました。

この70周年にあたり改めて歴史と伝統のある川越ロータリークラブの発展を心より願っております。



川越ローターアクトクラブ

会長 島田 錬 (東京国際大学)

まず初めに歴史と伝統を誇る川越ロータリークラブが創立 70 年を迎えるという記念すべき年度に、川越ローターアクトクラブの一員として活動できています事を誠に光栄と感じております。また、創立 70 周年という節目の年にあたり、これまで川越ロータリークラブの歴史を築いて来られた諸先輩方の思いを繋いでいくと共に、後世に残せるものを作り上げていけるよう円滑なクラブ運営に努めてまいります。

今年度の川越ロータリークラブのテーマ「Go! One Step Further!」(もう一歩踏み出そう)にもあるように、私たち川越ローターアクトクラブは一人ひとりがリーダーシップを持ち奉仕を通じて社会に貢献したいと考えておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、なかなか私たちの思うようには進みませんでした。大学がオンライン授業に切り替わったことで、対面で会うことができず、当初はコミュニケーションがうまく図れていませんでした。また、ボランティアへの参加や外での活動も制限されてしまったことで、形として残るような活動をするのが難しくなっていました。しかし、スポンサーである川越ロータリークラブの方々の温かいご支援があり、まずはクラブの組織づくりから見直そうと会員全員が前を向いて活動することができました。現在では、クラブとしての基本方針も固まり、月 2 回、オンラインサービス Zoom にて例会を行っております。例会では、感染症の収束後の活動に向けて意見交換などを行っております。6 月には坂戸ローターアクトクラブ(城西大学ローターアクトクラブ)との合同例会も実現するなど、他クラブとの交流、意見交換を通して、良い刺激を頂く事ができ、有意義な時間を過ごすことができております。

また、ボランティア活動への参加制限が緩和されたことで、川越観光協会主催の伝統和芸鑑賞会での準備、会場設営、受付等のボランティアに参加させていただくことができました。

7 月には霞ヶ関カンツリー倶楽部で東京オリンピックのゴルフ競技が開催されていた期間に、ウェスタ川越での献血活動に参加させていただきました。献血活動への参加はクラブとして初めてでしたので、多くの方々にご協力頂くことができ、ボランティアのやりがいを改めて実感することができました。

このように多くの方々のご尽力により私たちの活動が支えられております。今後も制限のある中での活動にはなりますが、活動できる環境に感謝し、少しずつ前に進んで参りますので、ご指導、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



創立70周年を祝して

星野高等学校インターアクトクラブ

顧問 天野大輔・千葉健司

日頃より星野高等学校インターアクトクラブには温かいご支援を頂戴し、部員一同感謝申し上げます。インターアクトクラブには、本校の社会福祉部、吹奏楽部ウインドオーケストラ・マーチングバンド、そしてバトン部が参加しております。普段のボランティア活動は社会福祉部が中心となって活動し、吹奏楽部やバトン部は音楽や演技を通してチャリティ活動などを行っております。

インターアクトクラブの活動を少し報告したいと思います。ここ2年間は新型コロナウイルスの蔓延により、多くのボランティア活動の中止や自粛をせざるを得ない状況となってしまいました。本来であれば、多くの方々と触れ合いながら、ボランティア活動をしていきたいのですが、それが許されない状況下で何かできることはないか模索し続ける日々でありました。そのような中で、学校でできる活動として社会福祉部の部員全員で雑巾縫いを行いました。普段は縫いものをしていない生徒も多いので、最初は苦戦している様子もありましたが、それでも各々が懸命に作業して合計100枚もの雑巾を仕上げることができました。この雑巾は「いもの子作業所」に寄付いたしました。また、本校のわきを流れている赤間川の清掃活動を定期的に行っております。この活動は20年以上にわたって行っており、埼玉県が推進している「川の国応援団」にも認定されています。

コロナ禍以前の活動としては、川越駅で行う「あしなが募金活動」、7月には吹奏楽部ウインドオーケストラ・マーチングバンドとバトン部が本校の講堂で開催する「災害救済チャリティコンサート」、8月には霞ヶ関カントリー倶楽部で行われる「川越手をつなぐ育成会」主催のレクリエーション大会のお手伝いなどを行っていました。しかし、昨年度、今年度ともに中止になっております。

ここ数年、生徒の意識も向上し、自ら進んでボランティア活動に参加する生徒が増えてきています。インターアクトクラブの活動を通して生徒自身も変わっていく姿を見ると、ボランティアの意義を感じております。今後もまだまだ予断を許さない状況ではありますが、少しでも社会貢献ができるよう考えていきたいと思っております。今後ともご支援ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



学校のわきを流れる赤間川の清掃活動を定期的に行っています。ライラデーにてロータリーの方々とSDGsについて考えました。

「米山奨学生の生活で得たもの」について

2021-2022年度 米山記念奨学生

オウ ゲイセン

ロータリー米山記念奨学会の川越ロータリークラブにてお世話になっているオウ ゲイセンと申します。カウンセラーは京野 弘一さんです。

私は2018年7月、留学のため日本にまいりました。現在早稲田大学大学院で、環境エネルギー研究科に所属しております。現在取り組んでいる研究は、一般家庭を対象として、ZEH (Net Zero Energy House) に対応したコジェネレーションシステムの構成を検討し、数理計画法を用いた最適運用計画によって、年間光熱費や一次エネルギー利用効率の比較分析をするという内容です。また、市販吸着式冷凍機についての調査を行うとともに、既存の一般家庭用のコジェネレーションシステムへの適用性についての解析もしております。

2021年4月に、私は正式にロータリー米山記念奨学会の奨学生の一員になりました。川越ロータリークラブの皆様と一緒に、毎月の例会を通じて、歴史と伝統のあるクラブの魅力を感じながら、お互いに文化交流と親睦を深められることを楽しんでおります。

私は、川越ロータリークラブの奨学生になることができるとても幸せです。不思議なことにこちらでお世話になってから、自分の夢がひとつずつ実現していくのです。最初面接時に、「将来の夢は何ですか？」と聞かれ、私は「卒業後、日本で人々の安全・安心な生活を支えるエネルギー業界で働きたいです。東京電力に入りたいです。」と回答しました。その結果、4月下旬に、東京電力とのジョブマッチングを成立させることができました。来年の春に入社した暁には、私は日本で学んだ強みを生かし、中日の異文化交流と、トップレベルでの技術交流に貢献したいという目標を掲げながら、東京電力の一員として、国民の生活を守りたいと考えております。

そしてさらに実現した夢は、7月下旬に石井さんと京野さんと私で川越散策をする機会があり、その日人生で初めて浴衣を着られたことです。まずは川越まつり会館を訪ね、まつりの長い歴史と、そこに携わる方々の姿に魅力を感じました。また、館内の大型スクリーンでまつりの賑やかな雰囲気再現されていたのを観て、来年是非山車を曳かせていただき、お祭りの熱気を実感したいと思いました。さらに菓子屋横丁まで歩き、途中いくつかの川越らしい風景の中で綺麗な写真を撮って頂き、すごく楽しかったです。その後に蔵里に初めての落語を聴きに行きました。残念ながら私には内容と笑うところが全然理解できず、改めて日本語の奥深さと難しさを感じました。そして、この日は小川さんと坂口さんのお店でご馳走になりました。

これまで、米山奨学会で出会った人々の優しさが私の心を豊かにしてくれました。これからも、私はロータリー米山奨学生として、様々な奉仕活動に積極的に参加しながら、ロータリーの精神を広げられるよう異文化交流に尽力し、感謝の気持ちを持ちながら、常に前向きに生きていこうと思っております。将来はどこに行っても、米山奨学会と川越ロータリークラブの皆様との「絆」を大切に、このご縁が末永く続くように願っております。



ロータリーマン紀行





埼玉糧穀株式会社 代表取締役社長

相原 茂吉

ロータリアン紀行

今泉家と相原家とのお付き合いが始まったのは1960年頃です。弊社で扱う飼料を、鶴ヶ島の今泉牧場に買って頂いたのがきっかけです。それから50年後2代目同士、今泉博さんがクラブ会長、私が幹事の時です。3代目今泉喜章君に私の長女麻里が嫁ぎました。帝国ホテルの結婚式では川越ロータリーの多くの方にご出席を頂き、感慨無量の想いでした。今娘は本当に幸せそうです。ロータリーに感謝でいっぱいです。



水戸証券株式会社 川越支店 支店長

青柳 英史

I ♥ KAWAGOE

私にとって、川越は憧れの地です。鶴ヶ島営業所の頃から、「いつか川越に支店をつくりたい」という夢に向かって邁進してきました。そして、昨年5月7日、川越支店を脇田本町に出店できました。

さらに念願の「歴史と伝統ある格式高い」川越ロータリークラブに入会することができました！

昨年は、例会やウェスタ川越での地区大会など多くの事業を通じ、毎回、誰かと親睦が深まってゆき、川越愛がどんどん大きくなってゆく、そんなロータリーライフです。



ヤマタ産業株式会社 会長

阿部 好弘

ENJOY ROTARY

40歳で入会して早30年が過ぎた。小生1951年10月生まれで川越RCとは何か不思議な縁を感じつつRCの奉仕活動に参加してきました。入会まもない頃RCは紳士の道場であると聞かされ、その言葉が胸に突き刺さる思いをした事を覚えています。先輩方の見識と後ろ姿を見させて頂く事により、今の自分があるのはRCのお蔭と感謝しています。倫理観を持ってもっと他人の為に尽くせるロータリアンを目指し、紳士の道場で学びながらロータリーをエンジョイしたいです。



飯能信用金庫 川越支店 支店長

天野 博章

入会して感じた事

仕事柄多くの企業の経営者とお会いしますが、大半の方は自らの利益を優先に考えられていると思います。一方ロータリーの方々は自分だけの利益だけではなく、「共存・共栄」という意識を持ちながら事業を行われているように感じました。この度新規に入会させていただきましたが、お互いが相手の良いところを尊重し合い、吸収し、高め合っている場だと知りましたので、自らの人格向上に向け、これからも学ばせていただきたいと思っています。





五十嵐 昭洋

小江戸鏡山酒造株式会社 専務取締役

繋ぐ歴史と伝統の 川越ロータリー

全世界で長引くコロナウイルスによる甚大な被害と影響を被る最中の2021年3月に、歴史と伝統の川越ロータリークラブに人会の御承諾をいただきました。私の生業である酒類業界は先の見えない苦境に喘いでおりましたが、諸先輩方の常にポジティブで前に進んでいかれる行動力と厳しい状況の中でも仲間を敬う心配りを肌で感じ感銘を受けております。「ロータリーは機会の扉を開く」とあるように己を啓発し社会に貢献できる人に私はなりたい。



池袋 賢一

医療法人社団誠弘会池袋病院 理事長・院長

おきることはなんでもおきる

東日本大震災の時も、「おきうることは何でもおきる」と思い知らされた。新型コロナウイルスも2003年のSARS、2012年のMERSを考えれば必全の流行なのだろう。次は、何度も警鐘がならされている高病原性インフルエンザが控えている。感染症の流行がこれほど社会経済に影響を与えることは机上では理解できていても、いざ目のあたりにするとおろおろするばかりである。これからも、冷静に理解し、判断し、予測し、備えていこう。



昭和工業株式会社 代表取締役

石井 成人

米山記念奨学会との出会い

早いもので、入会して13年が経過しました（2008年1月立原年度入会）。岩堀年度には幹事も経験させていただきました。中でも、米山記念奨学会とは、約半分の7年間関わってきました。米山記念奨学事業は日本独自の事業で、母国と日本の懸け橋となる人材の育成という、留学生との交流は大変刺激になりました。多くの役職を経験しましたが、まだまだ分からないことばかりです。しっかりと学んでいきたいと思う今日この頃です。



石井 照典

成田山川越別院 主監

良き朋友と共に

川越赴任が2000年春、その夏には歴史と伝統ある川越RCに入会を許され、以来21年間いつもロータリーと共にあったと思っています。右も左も解らなかった私には、多くの善き朋友との出会いこそ何よりも縁に恵まれたことと感謝するばかりです。その間65周年には会長年度として、貴重な経験をもさせて頂きました。今ある自分は正に恩の結晶です。そのご恩返しもできぬ俤、来春には越前の地で隠居の予定となりました。永年のご教導ありがとうございました。



株式会社川越サンキョウ 代表取締役

石川 恭也

私とロータリー

ロータリー活動で有意義に感じることは、入会した当時、福登美での炉辺は旨い料理と気のしれた仲間との戯れと、ふれあいが心地よく時間も忘れるほど楽しいばかりでした。委員会の役割分担、ゴルフの集い等が奉仕活動につながる事はとても嬉しく思います。私は元来、内気な性格で、人の上にとって物事を見極める事が苦手ですが、その事に卓越した能力の持ち主が仲間沢山いるので、不住せず楽しく過ごせています。私をロータリーに誘ってくれた友人に一言。

私のロータリー人生は最高です。



埼玉縣信用金庫 川越支店 執行役員 支店長

石崎 篤史

歯車の一本として頑張ります！

この度は『川越ロータリークラブ創立70周年』誠におめでとうございます。

改めて『歴史と伝統のある川越ロータリークラブ』に入会させていただいたことに感謝いたします。

私自身ロータリークラブの活動は今回初めてでありまして、まずはロータリーの『奉仕の理念』に基づき、人のためになることを歯車の一本として活動していく所存であります。そのためには出来る限り例会に出席をし、クラブメンバーと親交していきたいと思っております。



伊藤 禎二

老いの懐古

昭和58年に入会して38年、70周年の過半数を在席した事になる。

当時の年度計画書を開くと、会員数105名全員の顔写真が載っている。

殆んどの顔に記憶があり、話し声さえ耳に残っているが、現会員で私の入会時に在席していた諸氏は6名のみだ。

そして、コロナ禍で休会中の近頃は「ヤア」と手を振り合う事もなく、ビール飲みながらテレビのニュースに悪態づくだけの情けなさだが、記念式典の頃にはどうなっているだろうか。



坂彦商事株式会社 社長

井上 寛

緑の川越よ、永遠に

結婚によって今の川越に移転しましたが、東京に比べて、緑の多さ、人柄のおだやかさには、東京近郊にこんな所があったのかと思いました。

私の人生の半分以上は、川越で暮らすことになりましたが、本当に素晴らしい人生を過したことになり、感謝の半生です。これは東京に生まれ育った人でないと理解できないと思いますが、都市開発もよろしいが、いつ迄も川越の良さを失うことなく、今後もロータリアンとして見守りたいと思います。





株式会社 今泉 取締役会長
今泉 清詞

機会の生かし方によって運命は左右される

昭和40年12月先代の相原茂吉、小杉太郎両氏により川越ロータリークラブへ入会の推薦がありました。当時の私はロータリーに関する知識や関心が一切ありませんでしたのでご辞退申し上げておりましたが、両氏の熱心なご説明と強い説得を受けた結果入会させて頂きました。案の定会員各位は何れも地域で有名な名士で、その一挙一動が総て目新しく大いに参考になりました。この貴重な機会を授けて下さった故相原茂吉、小杉太郎両氏に深甚な敬意と感謝の意を表します。



今泉 博

一般社団法人 霞ヶ関カンツリー倶楽部 総支配人

私とロータリー

ロータリークラブに入会して40数年が経った。

多くの出会いがあり、また別れもあったが、毎週1回例会に出席し、仲間と挨拶を交わし、昼食をとり、親しい友人と歓談をするというこの何気ない日常のお昼のひと時が、自分にとって心にゆとりをもたらず貴重な時間である。

最近仕事の関係で欠席しがちであるが、これからも元気に出席できるように健康に留意して、末永くロータリアンとして頑張っていけたらと願っている。



岩堀建設工業株式会社 代表取締役社長
岩堀 和久

家族とは

会員増強が必達のロータリークラブにとって、自らの息子、孫に託すのは大切なこと。父とクラブライフを2年余り一緒に過ごせたことは、私にとって幸せでした。父のロータリー手帳を見るにつけ、いかにロータリークラブを愛していたかが分かります。私の息子も日豪青年相互訪問プログラムに参加させて頂き、ありがたかったです。これからは会員の方々が親子で参加できる企画を作り上げていきたいと思えます。



小川 修一郎

株式会社 小川菊 代表取締役

ロータリアンとして

還暦からの遅い入会となってしまいましたが、地元愛に溢れている皆様とご縁を頂き、歴史と伝統に誇る川越ロータリークラブに入会させて頂いた事にとっても感謝しております。今の社会情勢だからこそ、四つのテスト、五大奉仕を学び身につけて実践する事が、自分を救う有意義な過ごし方の手だてになるのではないかと思います。

入会3年目となり、皆様とお話する機会も増え親しみも増し、例会も楽しませて頂いております。これからは皆様と協力しながら成長できるように、活動させて頂きたいと思えます。



小田 麻夕美

川越プリンスホテル 支配人

私とロータリー

私は2年半前に川越へ赴任を機に入会させて頂きました。川越RCでは初めての女性会員ということで不安でいっぱいでしたが、会員の皆様からいつも温かく声をかけてくださり、また地区大会をはじめ貴重な経験をさせて頂いています。初めての入会が川越RCで本当に良かったと感謝しております。創立70周年を迎えるにあたり、人との出会いを大切にしながら川越RC発展のために楽しみながら過ごしてまいりたいと思います。



小高 章

日商建設株式会社 代表取締役

私とロータリー

平成17年9月に、(故)牛窪佐太郎さんと元会員の町田伊勢男さんの推薦で入会しました。早16年が経ち、この間にロータリアンとして貴重な経験をさせて頂きましたこと、多くの方と出会い、素晴らしい仲間ができたことは、私にとって宝であります。

この記念すべき年に、私が第71代の会長として壇上に立っている姿を誰が想像した事でしょうか。故人も驚いていることと思います。創立以来、諸先輩が築き上げてくださった歴史と伝統を未来永劫続けて行く為に、より一層の努力を重ねてまいります。



落合 正治

落合商事株式会社 代表取締役

あゝ30年

「あゝ30年なんと長い間ロータリークラブにお世話になっているのだろう」入会のきっかけは、相原求一朗先生に川越ロータリークラブは今年40周年なので40才の人を入会勧奨しているので入会しませんか?と言われ「はい」の一言で入会した。当時は、埼玉りそな銀行川越支店で例会をしていた。昼食は鰻、寿司、天ぷら蕎麦の3点であった。美味しかったなあ!

今年70才を迎え、川越ロータリークラブ70周年、いつまで在籍していただけるだろうか?鬼籍に入った人達を思いおこすこのごろである。



小原 祥三郎

医療法人康正会病院 事務局長

私とロータリー

70周年おめでとうございます。昭和26年に創立されたその時代背景を鑑みると、改めて川越ロータリークラブの「歴史」と『伝統』と言う言葉の重さを再認識いたします。この記念すべき年に在籍出来るということに感謝を申し上げます。諸先輩方が築き上げたクラブを、次の100周年へ引き継ぐべき責任を感じ身の引き締まる思いがいたします。改めて、「70周年おめでとう」。





株式会社 ジエイコム埼玉・東日本 東上・川越局 局長
柏倉 猛

ロータリーでやりたい事

伝統と歴史のある川越ロータリーの会員となり2年目となりました。

コロナ禍のため大きなイベントもできませんでしたが、“何をしたい”“何ができるのか”と考える時間ができました。

今後はリアルとDXを駆使して、川越をより良い街にしたい。良い街の定義はたくさんありますが（観光収入増・住みたい街ランキング1位等々）、先輩ロータリアンにご指導いただき、ロータリー活動を通じてたくさんの挑戦をしたいと思います。



株式会社 三井住友銀行 川越志木エリア エリア支店長
片倉 正樹

私とロータリー

2021年4月。人事異動により川越に参りました。前任者より引継ぎを受けた際に「一番大事な引継ぎは、このロータリーです。」との話。私自身、もちろんロータリーというものは知っていましたが、敷居の高いもので、まさか自分がロータリアンになれるとは思っておりませんでした。実際にロータリーに参加してみると、色々な世代、色々なお仕事をされている方々とお会いでき、しかも皆さんが本当に楽しい方ばかりで大変有意義な時間を過ごさせて頂いています。



株式会社 片山製作所 代表取締役
片山 幸雄

ポール・ハリスの本音

シカゴで産声をあげたロータリーだが、創立者ポールハリスは遅まきながら3代目会長に就く。ところが会員の反発が強く任期途中で辞任に追い込まれる。彼が提唱した社会奉仕が理解されなかったからだ。そこにAFシェルドンが加入し職業奉仕の理念を展開、ロータリーは存続の危機を免れる。10年も経つとシェルドンの理念も色褪せて社会奉仕（超我の奉仕）が台頭する。ピューリタニズムが染み込んだポールハリスは、心の中で好機到来とほくそ笑んでいたに違いない。



損害保険ジャパン株式会社 埼玉支店長
木澤 薫

川越ロータリークラブへ入会して

この度は川越ロータリークラブ創立70周年、誠にありがとうございます。

さて、このような記念すべき年に新入会員となった私には歴史と伝統ある本ロータリークラブを語れるほどのキャリアはありませんが、大所帯にも関わらず、大変友好的な雰囲気のもと、皆さまが生き生きと活動され、新会員も快く迎えていただいた姿勢に感銘を受けております。ご縁あり、この川越の地に赴任し、皆さまと出会えたことを大いに満喫したいと思います。よろしく申し上げます！



株式会社第一建築設計事務所 代表取締役

京野 弘一

70周年はハミングで

例会でのロータリーソング歌唱の意義は、クラブの雰囲気と和ませることが目的であるらしく、大切な親睦行事です。現在歌われているロータリーソングは公募により選ばれたようで、古関裕而氏が作曲された「日も風も星も」という曲もありますが、「我らの生業」の2番では職業奉仕としての倫理観と協力を唱えており、通して読むと素晴らしい歌詞です。1番だけでなく、そのすべての歌詞で成り立つ文学なのでしょう。「手に手つないで」は2番まで、「それでこそロータリー」は3番までであり、どちらも素敵な歌詞です。川越ロータリークラブは生伴奏なので、一度通して歌ってみるのも良いと思います。



宗教法人蓮馨寺 代表役員

栗原 恒久

素晴らしき心よ永遠に

平成6年に父の後継でメンバーとなり、爾来各業種を代表する方々との親交を喜びとしております。当時から2校の大学で教鞭をとり、仏教研究所の役務、更に現在は総本山の役員や埼玉県佛教会副会長なども拝命、忙しい毎日を送っておりますが、どの組織にも同業でロータリーのメンバーがおられ、協力を頂く中に責務を奉行致しております。社会に奉仕するロータリーの精神を全国規模で体感しつつ、正に歓喜感涙する日々であります。



株式会社光エンジニアリング 会長

栗林 茂

私とロータリー

川越ロータリークラブに入会させて頂き20年近くが経過しました。私の場合出張が多く、余りクラブの活動に参加出来ない事が多かったのですが、丁度10年前の川越ロータリークラブ設立60周年で尚且つ立原さんがガバナーの時、OnToバンコクの地区委員長を仰せつかり世界大会に参加した事が一番の思い出です。それと姉妹クラブの台北西北クラブの毎年の交流に参加させて頂き沢山の友人が出来た事です。貴重な経験をさせて頂いたと思っています。最近はコロナ禍、海外には行けませんが、ひとついい事は例会を欠席する事が少なく成りました。これからも宜しくお願いします。



三光建設株式会社 代表取締役

栗原 雄一

入会して今感じること

川越ロータリークラブに入会させて頂き感謝申し上げます。入会して5年目になりました。最近感じている事は、ロータリー活動を通じて、より多くの仲間と懇親を深め、先輩からの歴史と智慧をお聞きしながら勉強出来る環境に喜びを感じている日々です。自分自身の変化の可能性を信じて引き続き努力致します。また、活動を通じて父の思い出に寄り添う事となり人生の2倍の楽しみとなりました。





高口邦輔

私とロータリー

社会奉仕団体！ こんなもの、私とどう関係があるのか？ 入会するまでは、全く関心が無かった。ところが所沢市で、音楽療法士の養成学校を立ち上げた時に、「地域の情報」を知りたくて、所沢商工会議所を尋ねました。その折に、ロータリークラブの話が出て、地域の経営者が多く、参考になると思いますよという話でした。2・3日して、「所沢中央ロータリークラブ」の会長と幹事さんがお見えになり、ロータリアンの一員となった。



野村證券株式会社 川越支店 支店長

小城直樹

変化し続ける街、川越！

私は転勤で川越に来ました。川越と言えば、北条氏康を有名にした河越夜戦、太田道灌築城の川越城本丸御殿、徳川ゆかりのお寺等々、歴史好きにはたまらない街です。予想以上に歴史が色濃く残っている街において、最も驚いたことは歴史と伝統あるクラブでありながらも転勤族の私を快く受け入れてくれたことです。歴史と伝統の街でありながらも異文化を受け入れ、変化しながらも成長し続ける川越、そんな川越が私は大好きです！



小杉歯科医院

小杉國武

私とロータリー

昭和55年、今泉清詞会長年度に36歳で入会して以来、早いもので41年が経ってしまい、今年は夫婦揃って喜寿を迎えました。

川越RC発足から2～3年の頃、RCのクリスマス例会がありました。私がまだ小学3年生の頃に家族的なクリスマスで子どもも多く参加していました。トンガリ帽子を被り、クラッカーを鳴らし、首にはレイを掛け、我々子どもが喜ぶ食事やプレゼントがあり、子ども心の記憶として楽しく、アットホームなクリスマスだったと今でも思い出します。

会員だけでなく、子どもも含めた家族も一員であるRCは奉仕と共に楽しいクラブライフも出来るのではないだろうか。



川越唐棧を着た社員と一緒に。右端が私です。

株式会社ピーアンドディコンサルティング ゼネラルマネージャー

小橋誠

川越の食文化発信拠点

昨年6月に、新しい川越文化の創造・発信拠点として、複合施設『U PLACE』を開業しました。地元COEDOビールの工場併設レストランや、丸広百貨店が手掛ける埼玉県産食のセレクトショップをはじめ、地元屈指の人気を誇る飲食店が新業態でご出店いただいております。また、週末には、正面広場にて、ファーマーズマーケットを開催し、地元農家様の朝採れ野菜の販売をしています。これらの施設やイベント活動により、地元川越の食文化の発信に努めてまいります。



並木造園株式会社 代表取締役

左端が私です。

小林 勇次郎

未知との遭遇

今までの私は、仕事関係と地元地域ぐらいの世界に居ました。

数年前にある方との出会いから、色々なご縁が繋がり、川越ロータリークラブに入会させて頂ける事になりました。

何という事でしょう！クラブの錚々たるメンバーは！

恐縮しながらも話しかけると、皆さん気さくに話してくれます。その話の面白いこと！私の知らない世界がどんどん広がっていきます。冒険に出発した様なワクワクが止まらない。



株式会社 フカワビジネス 代表取締役会長

小谷野 和博

蔵の街に生きる

私は昭和25年川越の蔵造りの街で生まれました。ほぼ川越ロータリークラブの歴史と同じ年月を歩んでまいりました。私の71年の人生の中で多くの試練に直面いたしました。それを乗り越えることができたのは、ロータリーの目的の一つである「職業奉仕」の理念でした。これはロータリアンであった父の教えでもありました。それを息子に伝え、これからも蔵の街で生きていきます。息子もいずれその息子に伝えていくことでしょう。



論語素読会の様子

養壽院 代表役員

金剛 清輝

てらこや事業

ロータリークラブには私共の事業所で開催してきた小学生向けの論語の素読会（寺子屋論語塾）にご支援をいただきました。加えて、素読会の運営を委ねている学生団体の武蔵てらこやに対してもご支援をいただいております。学生が素読会にレクとこども食堂をパッケージにしたことで多くの子どもたちが参加するようになりました。コロナ禍で論語塾は休止していますが、学生は独自の企画で活動を再開する準備をしています。全面的に再開できる日を心待ちにしています。



株式会社共同エースト 代表取締役

齊藤 智

私とロータリー

川越ロータリークラブに入会して、約7年半になりますが、未だにロータリークラブの本質は解らず、勉強中です。ロータリーの最終目標は、数年前ガバナーがおっしゃっていましたが、世界平和だそうです。私の場合は、今のところ、楽しく飲む機会を多く作り、体の許す限り参加して、多く仲間を作ることです。今は、新型コロナの影響で炉辺会合等飲食を伴いませんが、このパンデミックが終焉し、楽しく本音でロータリーが語り合える日が来ることを、心待ちにしています。乾杯！





齋藤 充

私とロータリー

創立70周年おめでとうございます。歴史と伝統ある川越ロータリークラブに入会させていただき5年が経ちました。私が感じている事は、川越ロータリークラブの会員であるからこそ知り合うことができた先輩方々や友人、知人ができたことです。この事は私にとって大切な財産です。これからも宜しくお願い致します。



坂口 孝

私とロータリー

川越ロータリークラブが70周年を迎える。私が入会したのは川越ロータリークラブが50周年を迎える前年度であったので、早いもので入会20年を経過したことになる。

「ロータリーという学校は、入学があっても、卒業はない学校」と言われています。これからのロータリーライフを謳歌したいと思います。

株式会社 福登美
取締役会長



佐藤 秀旺

私とロータリー

縁あって秋田から東京、川越へと移り住み、トラック運送事業を設立したその時は35歳。40歳でトラック協会の役員、理事を25年間勤め上げ、これからのんびりできると思っていたその頃に福登美の社長坂口さんから「ロータリークラブに入らないか」と誘われて入会しました。

ロータリークラブに理解のない自分。四つのテストの「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」この言葉をよく理解しながらロータリー活動が続けていきたいと思い、その中でロータリーアクト委員会、国際奉仕委員会委員長を経験させて頂く機会もいただきました。

これからも先輩方からの助言・ご指導を頂きながらロータリー活動が続けていきたいと思っています。

佐藤運輸株式会社
代表取締役



佐藤 文彦

ロータリーと私

川越ロータリークラブに入会をさせて頂き2年半が経過いたしました。お陰さまでロータリークラブの諸先輩方ならびに地域の皆さまに大変温かくご指導を賜り、日々充実したロータリーならびに川越ライフをエンジョイしております。日々の業務や、様々な困難に遭遇した際には、言行は「これに照らしてから」4つのテストを自答自問し物事の判断基準とするよう心がけて実践しています。より自分ごと化し、さらにクラブの一員として川越の発展に貢献してまいります。

明治安田生命保険相互会社
川越支社 支社長



六三四堂印刷株式会社 代表取締役

佐藤 道晴

出逢いに感謝

川越ロータリークラブに入会させて頂き、もうすぐ2年になります。この間あらゆる業界の方々と知り合い、交友範囲も広くなり、知らない業界について知識が広がり、自分にとっては多くの収穫がありました。仕事で出られない時もありますが、今後は、毎週の例会で楽しく勉強させていただきながら、一会員として地域に貢献出来るよう目指したいと思います。



沢建工業株式会社 代表取締役

沢田 通

ロータリーに入会して

2021年に入会させていただき、コロナの中例会のみの参加でしたが、最近は炉辺や例会以外の活動も増えてきました。メンバーの皆さんとの交流も増え、少しずつロータリーの楽しさや精神を学んでいます。70周年を迎えましたが、おそらく体験するであろう100周年までの30年間、様々なことを経験し、人に町に貢献すると共にロータリーの先輩方のように自己の成長にも取り組んでいこうと思います。長いロータリー人生を楽しんでいきます。



塩野 貴一

祝 創立70周年

新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大により、街を行く人や社会生活において、ほとんどの人がマスク姿という今までにない日常になった2021年の夏。いろいろな活動が制限され様変わりしています。このような状況の中で記念すべき年にわたる歴史と伝統を有し、奉仕の理念を推奨し続ける当クラブの一員であることに、私は今喜びと誇りを感じます。

70周年おめでとうございます。



島村ハウス工業株式会社 代表取締役

島村 拓史

私とロータリー

この歴史と伝統ある川越ロータリークラブに入会して早いもので約2年が過ぎようとしています。右も左もわからず入会したての私をととても心温かくメンバーに迎え入れてくれたことを今でも鮮明に覚えております。

そしてゴルフを始めたのもこの川越ロータリークラブに入会してからでした(笑)

これからも川越ロータリークラブのため、地域発展のためより一層努めて参ります。今後ともゴルフ共々ご指導ご鞭撻賜り、末永きお付き合いのほど宜しくお願いいたします。





須賀昭夫写真事務所 代表
須賀 昭夫

写真

長い間、色々な形で写真に携わってきた人生ですが、写真を通じて伝えたいことはまだまだ沢山あります。現在やらせて頂いている大事な仕事を全力で頑張った後は、残された時間で世界中を周り、笑顔の写真、幸せなシーンの写真など、人間の素晴らしさを表す作品を発表していきたいと思っています。そして人生の最後には、私が生を受けた地球という星を宇宙から撮影したいと思っています。それが写真家を目指した時からの目標であり、私の人生の目的だと思っています。



株式会社カワモク 代表取締役社長
鈴木 健二

私とロータリー

今は亡きロータリアンの父に連れられ家族行事等に参加させて頂いた数々の思い出。それを胸に抱き入会させて頂いてから20年。そのDNAを継ぎ、歩んだ息子達も無事社会人となりました。そして会長を拝命された2020年、前回の東京オリンピック生まれの私が、名誉ある聖火ランナーをも務めさせて頂きました。先人たちに繋いでいただいた見えないバトンを次世代に繋いでいく使命を感じながら。



鈴木 壮夫

私とロータリー

平成27年、西澤さん、水村さんのご紹介で入会致しました。商社マンとして長年仕事をしてきましたが、定年後縁あって川越でそば店を開業いたしました。ロータリークラブでは、各種委員会も経験させていただきました。中でも米山奨学生のカウンセラーとして一年間、アブ君の担当を致しました。卒業後は無事に、化粧品会社の研究所に就職しましたが、その後独立して自動車販売会社を立ち上げ、今ではロータリアンになることを目指して頑張っています。



株式会社住谷 代表取締役
住谷 治男

まだまだ入会3年未満

川越ロータリークラブ70周年おめでとうございます。70周年という記念の年に会員として在籍させて頂いている事に感謝致します。私は、入会2年目に出席委員会委員長、3年目に会員増強・選考委員会委員長をさせて頂きました。両委員会ともに委員会メンバーに支えられて、楽しく充実した委員会活動ができました。

これからもっとロータリークラブを学んで、そして好きになって、一緒に活動できる仲間を増やしていきたいと思っています。



医療法人社団 関心会 関本記念病院 理事長 院長
関本 幹雄

私とロータリー

医師になって50年近くになりますが、これまで交流があったのはほとんどが医療関係者でした。しかしRCに入会し、今までほとんどが知らなかった他の職業で活躍されている方々と知り合えたことは、私にとってまさに新しい世界が開いた感をもちました。会員となって14年ですが、このRCという新たな世界を得たことにより、その綱領である奉仕の理念を胸に、微力ではありますが活動していきたいと思っています。



SMBC日興証券株式会社 川越支店 支店長
千賀 恒広

私とロータリー

私自身のロータリーとの出会いは、2014年に弊社において盛岡支店長を拝命し、赴任した先の盛岡東RCへ加入させて頂いたのが始まりでした。その後調布支店時代には、東京調布RCでお世話になり、現在の川越RCで通算8年目となります。特に川越RCにおいては会員数も100名規模であり、歴史と伝統のあるRCでもあり、良い緊張感を持って常に例会に参加させて頂いている事を感謝しております。



有
限
会
社
立
ち
華
葬
祭
メ
モ
リ
ア
ル
ホ
ー
ル
統
括
部
長

高橋 哲彦

私とロータリー

私は、川越ロータリークラブに入会させて頂き5年間が経過しました。入会して良かった事は、地域のリーダーの方々とお知り合いになり親睦を深められた事と、ロータリーの五大奉仕を学ばせて頂けている事です。現在は、クラブ奉仕でSAAとして日々クラブ運営に尽力致しております。他社・他人の為に全力で尽くす利他の気持ちもロータリー活動の中で学ばせて頂きました。職業人として、仕事を通して地域に貢献出来るように今後も努めて参ります。



株式会社 メモリード 顧問
高橋 徹治

私とロータリー

平成26年11月28日に川越ロータリークラブに入会させて頂き7年になります。親睦委員長・出席委員長・青少年奉仕部門委員長などを務めさせて頂き、ロータリー活動をエンジョイしていましたところに、鈴木会長年度で若輩者ではありましたが幹事を務めました。途中肩の負傷・コロナによる例会休会と波乱万丈な1年でしたが、諸先輩方のご指導を得て何とか終えることが出来ました。この7年間で沢山のひとと出会い多くの経験させて頂き大変勉強になりました。これからもロータリーライフを楽しみます。





株式会社 高山 代表取締役

高山 大輔

ロータリー活動についてと近況

2018年に川越ロータリークラブに入会させていただきましたが、仕事の都合でなかなか参加できず、申し訳なく思っています。コロナウイルスで色々な事がままならない状況ですが、状況が良くなりましたら参加したいと思います。

減量目的で始めたジョギングも、今ではフルマラソンを挑戦できるまでになりました。大会がコロナウイルスで中止となっていますが、こちらも大会が開催されるようになったら挑戦したいと思います。



東日本電信電話株式会社 埼玉西支店 支店長

宅間 由美子

わたしのロータリー活用術

医療の発達により、私たちは100年の寿命を手に入れた。技術の進歩により、私たちは時間や空間に捕らわれない柔軟な暮らしや働き方を手に入れつつある。多様性の時代。選択肢が広がり、自由度が増す反面、自ら考え、選択し、行動する難しさにも直面する。そんな時代を楽しくも逞しく生きていく秘訣とは何か。私は様々な方々とお話し、刺激を受け、視野を広げ内面を磨く事のように思う。

そう！それこそが私にとってのロータリーに参加する意義であり、喜びなのだ。



立原電機株式会社 代表取締役社長

立原 雅夫

川越RC・70周年に寄せて

川越RC 70周年、おめでとうございます。
東京RCを親クラブとして国内で68番目、県内で最初に創立した川越RC。

先輩方と共に、常に当地区のリーダーRCとして活動してきました。その歴史を顧みると、日本のRC活動の精神論、模範的なボランティア活動を着実に重ねてきた賜物と思います。

川越市は歴史と街並み、文化にあふれている素敵なまちです。今年は、「TOKYO2020オリンピックゴルフ競技」が開催され、「KAWAGOE」が発信されました。

世界は今、科学技術の発展により新たな変化をしております。KRCは、いつの時代もチャレンジしています。希望に輝く、創立100周年をめざそう！



株式会社 ワンウェイ 代表取締役社長

蓼沼 光夫

私とロータリー

私は入会して9年になります。最初は先輩の紹介で入会しましたがロータリーは社会活動とボランティア団体と思っていました。ところが例会に参加し、委員会に参加していく内にロータリーは社会貢献だけではなく、自分への自己啓発、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕等素晴らしい方針がある事に気づきました。ロータリーを通じて大勢の友人が出来、同じ思想を持つ仲間が目的に向かって団結する事のすばらしさを体験させて頂きました。又、地区の財団委員会に出向させて頂き、グローバルなロータリー活動を勉強させて頂きました。特にグローバル補助金を使用した奨学生達が、のちに世界で活躍していることの素晴らしを知る事となりました。私も元気でいる限り何か出来る事をして行きたいと思えます。



第一生命保険株式会社
川越支店 支店長

谷池 正弘

私とロータリー

川越ロータリークラブに入会させていただき3年目、前住地での山形南RCと通算で6年目となります。転勤族である私にとって例会、委員会活動、炉辺会合、ロータリアンとしての学びの他、地域の歴史や情報を教えて頂き、新しい友人と出逢える貴重な時間となっています。

川越RCは歴史と伝統を重んじる文化がある事に加え、伝統を守るため変化を受け入れる活気あるクラブです。70周年の節目の年に在籍できた事に感謝し、思い出に残る記念式典になることを祈念致します。



株式会社共和エレクトロニクス
代表取締役

永島 明

ロータリーに入会して

入会の目的は、まちづくり、人脈づくり、ボランティア、経営者としての勉強をしようと思入会を希望しました。

川越、川越ロータリークラブの長い歴史を勉強して、引き継いでいかななくてはならないと思います。

また、全世界にメンバーがいる団体なので、広い視野で物事を考えられるようにたくさんの経験をしたいと思います。



有限会社幸すし
代表取締役

長島 威

私とロータリー

牛窪栄吉、原正次氏紹介者にて、昭和59年3月入会、37年になりました。ただ馬齢を重ねただけです。80近くになりますと終活の事のみ頭によぎります。

ロータリーの中で30年程の無欠勤だけが思い出です。

この間亡くなられた横川氏が目標です。退会の前日まで会費を納入されて逝去退会されました。

5年前に娘に託して隠居しました。毎日が日曜日です。



和興建材株式会社
代表取締役

中田 庸司

入会式にて

2015年2月、笛木弘治会長年度に入会しました。推薦者は岩堀和久会員。例会での入会式は大変緊張しておりました。皆様の足手まといにならないよう頑張りたいと思います。





中野 英幸

有限会社くらくり本舗 代表取締役社長

私とロータリー

ロータリーとの出会いは地域の先輩方のお誘いによるものでした。

ロータリーの活動も例会も何も知らないままの入会でしたが、毎週の例会に出席することで精一杯でした。今も欠席が多いですが心はロータリーです。

70周年という節目の年にメンバーとして喜ばしく思うと共に誇りに感じます。この70年にわたる歴史と伝統を次の世代につなげるこそ私たちの世代の役割となります。これからも出来る限り頑張りたいと思います。



西川 孝博

公認会計士西川孝博事務所 代表

私とロータリー

現在、地区ロータリー財団の監査委員をお引き受けしております。

監事って何をしたらいいのかわからないという話を耳にしますが、監事という役職は幸いにも自分の仕事の延長にあることから、あまり考えることなく様々な団体の監事をお引き受けしておりました。ある時、ロータリーの職業奉仕を考える機会があり、これこそ社会奉仕そのものであり、それを自然体で実践している自分はまさにロータリアンなんだという事を悟りました。



株式会社 エムアイメイズ 代表取締役

西澤 堅

特別な火曜日

川越ロータリークラブに入会してから、火曜日は特別の日となった。例会出席の為早めに仕事をまとめ、東京から川越に逆出勤。7年間続けた。その後は仕事を（最近はコロナ禍もあり）地元でもやりやすい様に選択、集中し、例会会場のプリンスホテルでお茶をしながら行う。

現役時代出張が多く「仕事は現場」「社長室不要」論者の私には、ホテルは格好な事務所である。思わぬ人との出会いも多く、刺激があり、情報収集に最適で活性化される。これからも多くの人との出会いを大切に、人から学ぶことを基本としたい。ロータリーもその一つの機会である。火曜日は特別な楽しい日だ。



社会福祉法人 崇徳会 理事長

野溝 守

私とロータリー

上福岡ロータリークラブ認証状伝達式(1970年4月26日)のお手伝いが、ロータリークラブとの初めての出会いです。

幾多の時を経て、J C 時代にお世話になりました阿部会員、小谷野会員、立原会員のご紹介で入会させて頂きました。ロータリー歴の浅い私ですが、法人の事業であります、高齢者介護や生活困窮者自立支援、子どもたちの学習支援事業を通じて、職業奉仕を実践しロータリアンとして研鑽して参ります。創立70周年の年度に在籍できた事を光栄に思います。



医療法人 埼玉病院 理事長
橋本 定寛

私とロータリー

川越ロータリー 70周年おめでとうございます。父の代より川越ロータリーには大変お世話になり、多職種の皆様とふれ合い、貴重な経験をさせて頂き心より感謝申し上げます。

昨今のコロナ禍の状況では、世界中の人が苦しんでいる中、ロータリアンとして、また一医療人として少しでも何か貢献できる様に努力したいと思っています。

ロータリーのあり方も時代に即した新しきものと古き伝統を合わせ、川越ロータリーの益々の発展を祈念申し上げます。



株式会社 ルーセント 代表取締役
長谷川 均

私とロータリー

ロータリークラブといえば奉仕活動であるが、特に私が注目しているのが川越RCをはじめ市内のRCと協働して青少年育成に係る支援を行っていることである。川越市では少年の翼事業を中学生対象に、自然とのふれあいや多くの人との交流を通して次代を担う青少年の育成を目的に中札内村で実施している。

令和元年には生徒44名が参加し、最高の仲間と出会い、全てが大きな財産となったなど生徒たちは人生にとって貴重な経験を積んでいる。



馬場食品工業株式会社 取締役会長
馬場 常正

例会の出席

石川秀夫さん、牛窪栄吉さんの紹介でロータリーに入会し健康にも恵まれ38年。多くの諸先輩と出会い、御指導いただき、ロータリーの基本とするクラブ例会に出席する事の大切さを知り、いろいろの事を学びここで得た多くの教えが身につき今の私があります。



共和木材株式会社 代表取締役社長
馬場 弘

私とロータリー

1982年6月に川越ロータリークラブに入会をさせていただきました。年齢は、61才と6ヶ月余りでした。今年2021年は、足掛け40年になり年齢も今年で80才になります。残りのロータリーライフを考えると、いままでの時間に、何を学び何を活動してきたのかを思うと会費というか授業料に見合った勉強をしてきたとは思われませんが、これからの若い人の為には私たちが楽しく、格好よく活動することしたいと思います





武州ガス株式会社 代表取締役社長
原 敏成

私とロータリー

川越ロータリークラブ創立70周年記念誌に寄稿できることは大変有難いことです。私は活動には、それほど積極的に参加しているものではありませんが、様々なロータリークラブの活動に敬意を表します。これからも世の中は変わっていきますが、世の中を良くしていきたい、世界中の人々が幸せになってほしいという精神、行動は必要です。川越ロータリークラブが今後も世界の中で大きな役割を果たしていくことを祈念いたします。



広沢医院 院長
廣澤 光昭

私の楽しいこと（卓話より）

祖父輝雄はチャーターメンバー、父静吾は昭和55年入会、私で3代目、皆様にお世話になっています。父の後を継いで内科医をしておりますが、趣味は園芸で野菜作りが今の私の楽しみです。中学時代から始めた大好きなバスケットボールも35歳で現役は引退し、今は協賛者として運営に携わっているくらいです。息子3人ももう家を出ており、今では猫と妻と私で息子達の帰りを待っている。これも楽しみの一つかなと思っております。



福岡歯科医院 院長
福岡 央

私とロータリー

2018年にエジンバラでスコットランド人と結婚した姪っ子が、去年ニュージーランドで第一子を出産したので、早くお祝いを言いに行きたいのだが、コロナ禍で外国からの入国が禁止されているニュージーランドに行く術がありません。一刻も早く、誰もが何処へでも自由に渡航出来る日が来る事を願うばかりです。



カネフク製薬株式会社 代表取締役社長
福島 一嘉

私とロータリー

70周年おめでとうございます。
13年前までは、積極的に例会にも参加していましたが、腰の手術をしてからは殆ど出席しておりません。現在頑張ってリハビリをしております。早く元気になって、又皆様と一緒にロータリー活動をしたいと思っております。コロナで夜間例会もなくさみしく感じております。復活出来るのを待っていて下さい。
会員の皆様今後とも宜しく申し上げます。



税理士法人 藤井会計 会長 税理士

藤井 潔

「職業奉仕」の一考察

ロータリーの五大奉仕の一つ「職業奉仕」は皆さんのようにお考えでしょうか。ロータリー文献に記述されている文言は少々抽象的です。

私は「職業奉仕」の理念は『自身の事業の公平さ、高潔性、正しい職業倫理、そして高い道德水準をもって、正々堂々と職務・経営に尽力すること。それによって利益をもたらし、企業の社会的責任を認識し、社員・社員の家族・取引先・同業者等、自信と自身の企業を取り巻くすべての人や、社会に還元し幸せをもたらすこと』だと考えます。

付け加えるならば、「四つのテスト」に従って誠実に一所懸命働けば「職業奉仕」に繋がり、社会に大きく貢献できるものと考えます。



エムエス観光バス株式会社 代表取締役

藤倉 省一

私とロータリー

1951年サンフランシスコ平和条約調印の年に創立され、その間、1964東京オリンピック、1972沖縄返還、1973オイルショック、1995阪神大震災、2011東日本大震災等多くの出来事がある中70周年を迎えることが出来おめでとうございます。

歴史と伝統の川越ロータリークラブに入会して早22年。多くのメンバーと親睦を深め楽しい時間を過ごして参りましたが、コロナ禍で中々親睦を深めることが出来ませんが、一日も早くコロナが終息し日常生活に戻る事を願います。



医療法人 藤田会 西武川越病院 理事長・院長

藤田 龍一

私とロータリー

川越ロータリークラブ創立70周年、誠におめでとうございます。私はロータリークラブの会員としての活動は、十分にできておりませんが、クラブの礎である「つながり」を大切にすることは、常日頃心がけております。地域社会への貢献としては、市からの依頼を受け、病院として、また一医師として新型コロナワクチンの接種を行っております。自分の仕事の範疇ではありますが、この世界的な危機に微力ながら貢献したいと思っております。



日本生命保険相互会社 川越支社 支社長

星 忠利

一生の宝物

私のような転勤族にとりましてロータリークラブは公私ともに有難い存在です。これまでの転勤でもロータリークラブのお陰で家族ともども新しい環境に早く溶け込むことが出来ました。ロータリークラブを通じて知り合うことが出来た方とは今でも仲良くさせて頂いており、一生の宝を授けてもらっていると云っても過言ではありません。今後も出来る限りの参加を通じてロータリークラブと地域の皆様に少しでもご恩返しさせて頂きたいと思っております。





堀尾建設株式会社
代表取締役
堀尾 泰崇

私とロータリー

歴史と伝統のある川越ロータリークラブに入会させて頂きまして、ありがとうございます。皆さまに少しでも近づけるよう学ばせて頂きます。

私はコロナ禍で閉塞感のある今だからこそ前向きに、ロータリーでの学びや新しい出会いによって自分の世界を広げたいと思っています。学べば則ち固ならず。いつか久しぶりに友人たちと会った時には、少しだけ深みのある言葉を紡げるのではないかと淡い期待をしています。



銀座シティ法律事務所
堀越 孝

私とロータリー

今から12年前の平成21年、55歳になるのを機に川越RCに入会いたしました。川越で生まれ育ちましたが、仕事で東京のため、川越にかかわることが少ないので、少しはかかわりたいとの思いでした。沢山の先輩から多くのことを学び、また貴重な経験をすることができました。川越RCの70年の歴史の一部にかかわりを持つことができたこと、大変喜ばしく思います。心より感謝いたします。ありがとうございました。



有限会社山屋
代表取締役
松山 潤

新しい挑戦

流されるままに入会から7年経ちました。コロナ禍になって2年弱、失う物も多い中、何か得るものもあって欲しいとの思いから、新たな挑戦として、仕事ではWiFi完備の個室をテレワーク用に貸し出すサービス等を始めました。プライベートでは、クラブ仲間の企業のドローンパイロットのスクールに申し込みました。10月中に卒業予定ですが、今後何が起きるかわからない中、他人とは違った武器を持ちたいと思いました。ブライダルなど仕事にどう繋げるかも検討中です。



株式会社さんじゅ
取締役
水村 圭司

これからは

数年前から年賀状に“オリンピックまでは元気でいよう”と書いている。コロナ禍の中、無事閉幕したが、新種目のスケボーや自転車BMXレース等には驚いた。激変する社会情勢、新しい世界への潮流を確とこの眼で見届けた。アナログ育ちの私は、“もはや化石人間”と言われないよう智慧と感覚を磨く必要がある。

川越ロータリー70周年は目出度いが、会員がしっかりしなければと老骨に鞭を打つ今日この頃です。



学校法人三室戸学園 東邦音楽大学
理事長・学長
三室戸 東光

私とロータリー

創立70周年、お祝い申し上げます。

私は川越RCに入会させて頂いたのは平成2年7月3日で、紹介者は先代の相原茂吉さん、井上實さん、近藤功さんでした。例会場は蔵造りの建物の街並みと明治・大正時代の洋風建築も残り、旧国立八十五銀行本店として建てられ、埼玉県で初めて設立された銀行の埼玉銀行（現在の埼玉りそな銀行）川越支店で例会が行なわれていた当時が目に浮かびます。多くの会員の方とお会いでき多くの事を学びました。

近年は体調を整えながら、入会順では8番目ですが後2年間の目標にしています。



三共木工株式会社
専務取締役
森田 研司

私とロータリー

入会は2年前の73歳のときでした。当初、私の息子へ入会のお誘いがありましたが、本人多忙の為父親でも良いからとのことで入会させていただきました。年齢に関係なく、例会、炉辺会合、ゴルフコンペ等と色々楽しく過ごすことができました。また、当初1年間ニコニコボックスに配属され多くの方と楽しく会話できました。70歳を過ぎてから多数の立派な方や素敵な方と親しくさせて頂き有難く思っております。これからも一層の親睦を図って行けたらと願っております。



株式会社 エーススタッフ 代表取締役

八木 拓也

私とロータリー

ロータリーは出会いと友情を深める場、次の10年で、また多くの友人と出会える事が楽しみです。人と人を繋ぎ合わせるのが私の喜び、楽しく過ごして行きましょう。



香港駐在時
右端が私

株式会社 三菱UFJ銀行 川越支店 支店長

藪 正浩

豊かな人生を送るために

「豊かな人生を送ってください」この言葉は、私が香港から帰任する際に、送別会で、ある企業の経営者から贈られた言葉です。以来、仕事やプライベート、出会う人たち、そして見聞きする全ての事柄に自身の人生の豊さを感じるようになりました。また、私の近くにいる人たちの人生も豊かになればと願うようになりました。そして今、川越RCでのロータリー活動もまた、私の人生を豊かなものにしてきています。





みずほ銀行
埼玉西法人部 部長

山口 崇

ロータリアン1年生

歴史と伝統の川越ロータリークラブに入会させていただき早4カ月。毎週火曜日にロータリーの徽章をつけ、川越プリンスに向かうのも慣れてきた気がする。出席の都度、色々な刺激を受けており、自宅に戻るとロータリーでの出来事を家内に報告をしているのだから、中々自分も可愛いところがあるものだ。年齢をそれなりに重ねた大きなロータリアン1年生が、出席委員メンバーとして、皆様の出席を今後も確認させていただきます。



株式会社 電成社 代表取締役

山口 裕

ロータリーと共に

川越ロータリークラブに入会させて頂き約5年程、各会長のもと委員会活動を通じて様々な活動機会の経験を得、今までの自分の行動範囲が変化していくのを実感しています。一番の思い出としてはドイツのハンブルクで開催された国際大会への参加が出来た事です。各々の国より参加された会員方々の会話の中に、強烈な個性とポリシーの主張が明瞭にあり、日々の日常の中では決して結びつかないインパクトがありました。これからもロータリーライフで自分が出来た事を模索し、自己研鑽を重ねて参る所存であります。



医療法人 山口病院 理事長

山口 滝太

私とロータリー

2010年7月に35歳で川越RCに入会し、11年が過ぎた。父・現朗とは約3ヶ月と短い期間ではあったが（共に例会出席したのは私の入会初日の1日のみ）、同時期を過ごした。祖父・秋も20周年記念誌の寄稿文にて会員としての在籍を発見。時期は違うが、70年を迎える川越RCの歴史の中で、親子三代にわたりあの鐘の音を聞いて過ごしたことに感慨深く思う。寡黙の祖父、愚直な父と3人が時を超えて同じ例会に出席していたらどんな話をしていたらだろうか。



株式会社 龜屋 代表取締役

山崎 共子

私とロータリー

私は、ロータリークラブの会員の夫からバトンを渡され会員になりました。そして記念すべき70周年に会員として参加することになりました。祖父・父・夫と3代同時に入会していたこともありました。このバトン息子に渡すまで、少しでも伝統のある川越ロータリークラブの一員として微力ではございますが頑張ります。私は毎週火曜日正午からロータリークラブの例会に出席せねばならない。午後2時頃までには帰ります。いつからあったかわからない宣言文を見ながら思っています。



有限会社 山田塗装工業所 代表取締役

山田 和宏

川越ロータリークラブに入会して

私は本年7月に入会させて頂きましたが、最初感じたのは世代、業種他多岐にわたるすごい方々の集団だと思いました。その中で私のやる事は、まず人と人との接し方の習得だと直感し、初心を忘れず、沢山の方々から、色々な事を吸収させて頂き、弊社初代社長であり、亡父の築き上げてきた「有限会社山田塗装工業所」を通して、少しでも世の中のお役に立てるような活動をさせて頂ければと考えております。今後とも宜しくお願い致します。



芋掘り観光 山田園 代表

山田 哲也

ロータリーライフ

私が、歴史と伝統と威厳の有る、川越ロータリークラブに入会して、約2年が経ちます。

当初はロータリーの雰囲気に馴染めるか不安でしたが、会員の皆さん気さくに接して下さり、すぐに馴染むことが出来ました。

これからも、ロータリアンとして恥ずかしくないよう、四つのテストを肝に銘じ活動していきたいと思っております。



神社の衣装に着替へ研修に臨む参加者たち

氷川神社 宮司

山田 禎久

私とロータリー

RCを通じて得たご縁で今春、新たな取組みを行なうことができました。会員企業五社の若手社員合同研修を養寿院と氷川神社で受け入れたのです。川越で社会人生活を始め出会った若者たちは、その後も会社の垣根を越えて交流を続けているそうです。ともすると社内のつき合いのみで赴任期間を過ごしてしまう人も多くなか、彼らはきっと、この川越で生涯忘れえぬ青年の日々を送ってくれることでしょう。



長喜院 住職

山本 元隆

私とロータリー

小谷野和博会員・守屋英之会員・石井成人会員から有難き「仏縁」を賜り、歴史と伝統ある川越RCに入ってはや3年あまりが経ちました。入会以来、志高き会員諸兄から多くの薫陶を受けてきました。此間の活動を振り返ってみますと、脳裏にふと次の一句が浮かんできます。

「聴君一席話、勝読十年書」

何十年も読んできたテキストよりも、「一席の話」を聴くほうが学び得るモノは多い——、まさに例会のたびに拝聴する会員の卓話こそ、私にとって貴重な“学び”となりました。昨今のコロナ禍によって「一席の話」をじかに聴く機会は少なくなりましたが、斯様な時だからこそ「聴君一席話」を具現したRCでの卓話の意義は深まっていくように感じます。

この先も川越RCの有意義な「君一席話」を楽しみに、私なりのRC理念の体現に努めていきたいと切に願っています。





吉崎 秀夫

有限会社吉寅
代表取締役社長

私とロータリー

川越RCに入会して31年位になると思います。入会の動機は父が当クラブのチャーターメンバーであり、創立には特に熱心に小川長さん（親友）と努力したようです。人間性について、本業は勿論、社会的にも奉仕の精神を尊重し、「四つのテスト」を日常の模範とし、川越地方裁判所初の調停委員を拝命し叙勲の栄誉をいただきました。故に短い人生の師と仰ぎ、せめて皆出席ぐらいなら私にもできようかと頑張っ、ロータリアン2代目です。牛窪ガバナーより西川ガバナー迄8年間地区で奉仕部門に没頭し、多くの友人に恵まれ幸せなロータリー生活を送っております。



吉澤 徳安

株式会社徳英
代表取締役社長

拝啓 六十五の君へ

コロナ禍、アンジェラ・アキ作詞作曲の「手紙 拝啓十五の君へ」を何故か飽きもせず聴いている。Nコン金賞受賞の郡山第二中の合唱しか聴けない。プロの東混合合唱団でもじっくりこない。十五歳の君が未来の君に宛てた手紙と、未来の君からの伝言。自分が自分に宛てて書くわけなので、素直に包み隠さずに書けるであろうという歌詞に共感する。六十五歳となった私は、未来の私に何を書き、未来の私は今の私に何を応えるのであろうか？



芳野 忠司

株式会社JTB
川越支店 支店長

私とロータリー

新型コロナウイルスはワクチン普及効果によって、徐々に収束に向かい、ニューノーマルの日常に戻る明るいイメージが膨らみつつある。

一方、社会全体の積年の課題である少子高齢化は避けられない問題であり、解決策の一つである地域の活性化には今以上に取り組まなければならない。歴史と伝統のある川越ロータリークラブの様々な業種の皆様との協業によって、川越の安心した未来創りを主体的に実践していきたい。



米原 恭淳

株式会社秀拓
代表取締役

私とロータリー

私は、父より幼少期から“感謝の気持ちを忘れずに感謝の気持ちを形に変えるように、そして受けた恩は未来を担う子どもたちや恵まれない人への奉仕を忘れないように”と教育を受けてきました。

ロータリー活動は多くの同志と実現できる場と考えております。



埼玉りそな銀行
川越支店
支店長

若林 圭

私とロータリー

今年の7月、川越ロータリークラブに入会させていただき、程なくして創立70周年記念誌の作成に関わることができました。旧国立八十五銀行本店貴賓室での会員諸先輩方の座談会に立ち会うことができ、たいへん光栄です。建物は今後、耐震補強工事を経て、外観を維持したまま利活用される予定です。長年川越ロータリークラブの象徴として親しまれたこの建物のように、私も地域社会のお役に立てるよう努力して参る所存です。



株式会社丸紅食品設備
専務取締役

和田 尚也

一年を振り返り

相原ガバナーのもと、地区副幹事を仰せつかり、2570地区全クラブガバナー公式訪問にも随行して、各クラブの例会及び協議会に参加することができました。また、多くのメンバーと名刺交換から友好を温めることができ、大変良い経験をさせて頂いた一年だったとおもいます。

このコロナ禍の中、各クラブとも活動において工夫と対策を考慮され、皆様が元気で明るく活躍されて、私自身も元気をどれほどいただいたことでしょうか。



武蔵野銀行
川越支店
支店長

渡辺 幸紀

祝70周年

川越ロータリークラブ創立70周年誠におめでとうございます。私が川越ロータリークラブに入会したのは2019年11月でしたが、皆様にあたたかく迎えていただき、すぐに馴染むことができました。今は感染症のため十分な活動ができておりませんが、これからもロータリーを通じて川越のため尽力して参りたいと思います。

伝統と格式のある川越ロータリークラブの繁栄が、この先も80年、90年、100年と続くことを祈念いたします。

70周年
おめでとうございます。



川越ロータリークラブ事務局

栗原 里美

石田 功味子

吉田 祐子



川越ロータリー創立70周年記念式典 組織表

70周年準備委員会	
西澤 堅(委員長)	小高 章
片山 幸雄	吉澤 徳安
藤井 潔	石井 成人
岩堀 和久	野溝 守
鈴木 健二	栗原 雄一
坂口 孝	

式典委員長
西澤 堅

実行委員長
石井 成人

実行副委員長
野溝 守

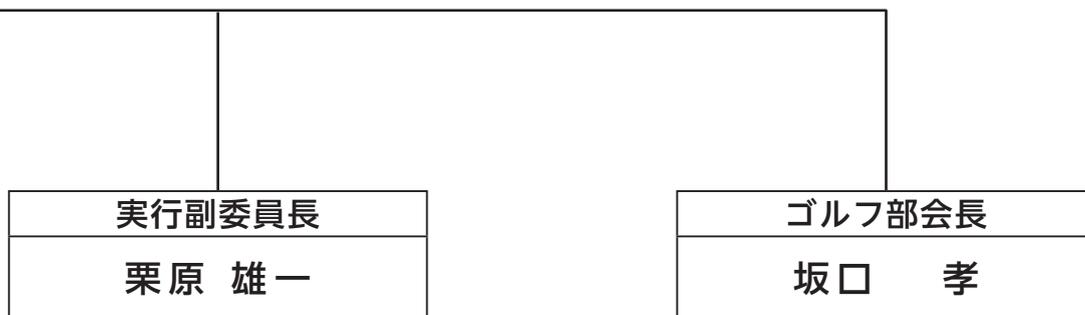
	司会・進行	サポート		記念誌作成
座談会1	片山幸雄	西澤 堅	坂口 孝	小杉國武 三室戸東光
座談会2	岩堀和久	石井成人	野溝 守	若林 圭 糸原恒久
座談会3	栗原雄一	高橋哲彦		松山 潤

式典企画委員会	祝賀会委員会	会場設営委員会	記念誌作成委員会
委員長 小田麻夕美	委員長 高橋 哲彦	委員長 山田 哲也	委員長 八木 拓也
小城 直樹	齋藤 充	水村 圭司	小杉 國武
佐藤 文彦	京野 弘一	福岡 央	三室戸東光
森田 研司	住谷 治男	高橋 徹治	糸原 恒久
小林勇次郎	谷池 正弘	塩野 貴一	山田 禎久
星 忠利	千賀 恒広	小川修一郎	松山 潤
宅間由美子	山崎 共子	天野 博章	須賀 昭夫
藪 正浩	渡辺 幸紀	沢田 通	佐藤 道晴
五十嵐昭洋	柏倉 猛	山口 崇	若林 圭
芳野 忠司	片倉 正樹	堀尾 泰崇	小橋 誠
山田 和宏	石崎 篤史		

2021-22年度	
会長	小高 章
幹事	吉澤 徳安

式典副委員長	
	片山 幸雄
	藤井 潔
	岩堀 和久
	鈴木 健二

相談役	
今泉 清詞	今泉 博
伊藤 禎二	西澤 堅
馬場 弘	相原 茂吉
馬場 常正	石井 照典
井上 實	片山 幸雄
阿部 好弘	岩堀 和久
立原 雅夫	藤井 潔
大久保敏三	鈴木 健二
小谷野和博	



※会場設営委員会が担当する

登録通信委員会	接待委員会	姉妹クラブ委員会	財務・会計委員会	救護委員会
委員長 齊藤 智	委員長 蓼沼 光夫	委員長 山口 裕	委員長 西川 孝博	委員長 廣澤 光昭
小原祥三郎	落合 正治	長島 威	藤倉 省一	橋本 定寛
和田 尚也	吉崎 秀夫	高口 邦輔	原 敏成	池袋 賢一
中田 庸司	福島 一嘉	栗林 茂	堀越 孝	藤田 龍一
山本 元隆	石川 恭也	山口 滝太	長谷川 均	関本 幹雄
青柳 英史	中野 英幸	佐藤 秀旺		
木澤 薫	鈴木 壮夫	金剛 清輝		
	米原 恭淳	高山 大輔		
	島村 拓史	永島 明		



会員数の推移



※2021年11月1日現在

RIテーマ・川越RC指針

2012-13年度

RIテーマ ■ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を (RI会長 田中 作次)
川越RC指針 ■ 不易流行の新たな出発 (川越RC会長 山崎嘉正)

2013-14年度

RIテーマ ■ Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を
(RI会長 ロンD.バートン)
川越RC指針 ■ 歴史に学び人に学ぶ (川越RC会長 西澤 堅)

2014-15年度

RIテーマ ■ Light Up Rotary ロータリーに輝きを (RI会長 ゲイリー C.K. ホアン黄其光)
川越RC指針 ■ 会員増強と親睦 (川越RC会長 笹木弘治)

2015-16年度

RIテーマ ■ Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう (RI会長 K.R. ラビンドラン)
川越RC指針 ■ 4つのテストの实践 (川越RC会長 相原茂吉)

2016-17年度

RIテーマ ■ Rotary Serving Humanity 人類に奉仕するロータリー (RI会長 ジョンF.ジャーム)
川越RC指針 ■ 感謝をかたちに (川越RC会長 石井照典)

2017-18年度

RIテーマ ■ ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす
(RI会長 イアン H.S. ライズリー)
川越RC指針 ■ ロータリー情報に親しむ (川越RC会長 片山幸雄)

2018-19年度

RIテーマ ■ Be the Inspiration インスピレーションになろう (RI会長 バリー・ラシン)
川越RC指針 ■ お互いに刺激し合えるロータリーメンバーであらう! (川越RC会長 岩堀和久)

2019-20年度

RIテーマ ■ Rotary Connects the World ロータリーは世界をつなぐ
(RI会長 マーク・ダニエル・マローニー)
川越RC指針 ■ 人と人、組織と組織の輪をひろげ、世のため、人のためになることをしよう!
(川越RC会長 藤井 潔)

2020-21年度

RIテーマ ■ Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く
(RI会長 ホルガー・クナーク)
川越RC指針 ■ 楽しもう ロータリーのつながりを! (川越RC会長 鈴木健二)

2021-22年度

RIテーマ ■ SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
(RI会長 シェカール・メータ)
川越RC指針 ■ Go! One Step Further! (川越RC会長 小高 章)



物故会員 2016(平成28)年～現在 (敬称略)

川越RC創立70周年に当たり、亡くなられた諸先輩会員の遺徳を偲び
今日のクラブの発展と栄光の礎となった労苦を想起し
我ら会員の胸中の永遠に生き続けることを誓い
クラブの将来を未長く見守られんことを誓い
安らかならんことを祈りつつ、改めて茲に顕彰致します



笛木 弘治

2017(平成29)年8月30日没
享年69



牛窪 佐太郎

2018(平成30)年1月4日没
享年84



小川 正夫

2018(平成30)年2月2日没
享年94



可児 一男

2019(平成31)年2月7日没
享年82



横川 勇

2021(令和3)年6月29日没
享年89

70周年記念バッジデザインについて



川越RCは、東京RCをスポンサークラブとして、1951年（昭和26年）11月27日（火曜日）に創立。発会式は、旧埼玉銀行川越支店（旧第八十五国立銀行）にて挙行。2021年で70周年を迎える。

表紙説明

実行委員長 石井成人



川越ロータリークラブの発会式を行い、長く（1990年まで）例会場として使用させていただきました。旧埼玉銀行川越支店と、小高章会長の70周年記念誌タイトル「次世代へ紡いだ70年」の文字をデザインさせていただきました。裏表紙には川越のシンボル「時の鐘」のオリジナル70周年記念マークを配置しました。

編集後記

関係者各位の皆様のお力添えを頂き、委員会スタッフの努力と情熱に支えられて無事に、創立70周年記念誌「次世代へ紡いだ70周年」を刊行することが出来ました。多くの皆様とスタッフに御礼申し上げます。

「歴史と伝統」の一言がクラブの枕詞のように使われております。この70周年の記念誌の編集を終えて、改めてその意味を理解し、その重みを実感しているところです。

皆様から寄せられた美しい言葉による「紡がれた糸＝文章」が、川越ロータリークラブの次世代へのバイブルとなりますことを念じて筆を置きます。

「ありがとうございました、感謝申し上げます。」

（野溝守 記）

実行副委員長 野溝 守

記念誌作成委員会

委員長 八木拓也

委員 小杉國武

山田禎久

佐藤道晴

三室戸東光

松山 潤

若林 圭

糸原恒久

須賀昭夫

小橋 誠

■ 写真撮影/映像制作 八木拓也・須賀昭夫

川越ロータリークラブ創立70周年記念誌

Kawagoe Rotary Club The 70th Anniversary

■ 発行日 2021年11月19日

■ 編集 川越ロータリークラブ
創立70周年記念式典 記念誌作成委員会

■ 発行 川越ロータリークラブ
〒350-8501 埼玉県川越市新富町1-22 川越プリンス3F
TEL 049-224-5100

■ 制作・印刷 六三四堂印刷株式会社
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町25-14
TEL 049-242-0329

非売品